

令和4年度 アーツカウンシル・ネットワーク

加盟団体・オブザーバー年鑑

2023年3月

アーツカウンシル・ネットワーク

目次

掲載団体所在地図	-----	4
----------	-------	---

掲載団体の令和3年度決算

加盟団体・収入の部	-----	6
加盟団体・支出の部	-----	7
オブザーバー・収入の部	-----	8
オブザーバー・支出の部	-----	9

団体個票

加盟団体

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）	-----	12
公益財団法人神奈川芸術文化財団 社会連携ポータル課	-----	16
アーツカウンシルしずおか（公益財団法人静岡県文化財団）	-----	18
京都府文化スポーツ部文化芸術課	-----	22
大阪アーツカウンシル（大阪府市文化振興会議 アーツカウンシル部会）	-----	26
おかやま文化芸術アソシエイツ（公益社団法人岡山県文化連盟）	-----	30
アーツ・コンソーシアム大分（公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団）	-----	34
アーツカウンシルみやざき（公益財団法人宮崎県芸術文化協会）	-----	36
沖縄アーツカウンシル（公益財団法人沖縄県文化振興会）	-----	38
アーツカウンシル前橋（前橋市文化国際課）	-----	40
アーツカウンシルさいたま（公益財団法人さいたま市文化振興事業団）	-----	44
アーツコミッション・ヨコハマ（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）	-----	48
公益財団法人川崎市文化財団	-----	52
アーツカウンシル新潟（公益財団法人新潟市芸術文化振興財団）	-----	56
浜松アーツ&クリエイション（公益財団法人浜松市文化振興財団）	-----	60
堺アーツカウンシル（堺市文化観光局文化部文化課）	-----	62

※本年鑑には、加盟団体およびオブザーバーのうち、年鑑作成にあたり情報提供いただいた団体のみを掲載しています。

オブザーバー

岩手県文化スポーツ部文化振興課	—————	67
公益財団法人いばらき文化振興財団	—————	68
埼玉県県民生活部文化振興課	—————	70
信州アーツカウンスル（一般財団法人長野県文化振興事業団）	—————	72
公益財団法人三重県文化振興事業団	—————	76
宮崎県総合政策部みやざき文化振興課	—————	77
アーツカウンスル鹿児島設立準備機構	—————	78
川崎市市民文化局市民文化振興室	—————	79
アーツカウンスル金沢（公益財団法人金沢芸術創造財団）	—————	80
浜松市市民部創造都市・文化振興課	—————	84
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課	—————	85
公益財団法人宝塚市文化財団	—————	86
公益財団法人広島市文化財団	—————	88

※本年鑑には、加盟団体およびオブザーバーのうち、年鑑作成にあたり情報提供いただいた団体のみを掲載しています。

掲載団体所在地図

● 加盟団体の所在地

● オブザーバー団体の所在地



掲載団体の令和3年度決算

掲載団体の令和3年度決算（加盟団体・収入の部） 単位：円

	団体概要		収入の部												
	創立年	事務局職員数	公的支援				民間支援・寄付		助成団体		事業収入		その他		収入合計
			国	地方自治体		内訳（額）	内訳（額）	内訳（額）	内訳（額）	内訳（額）	内訳（額）	内訳（額）			
（独）日本芸術文化振興会															
アーツカウンシル東京	2012	63	—	—	4,394,000,000	出捐金、負担金、補助金	—	—	—	—	—	—	—	—	4,394,000,000
（公財）神奈川芸術文化財団 社会連携ポータル課	2018	7	—	—	70,000,000	県委託費（国庫補助金あり）	—	—	—	—	2,873,000	参加費 (2,873,000)	—	—	72,873,000
アーツカウンシルしずおか	2021	11	0	0	131,775,363	県補助金 (131,775,363)	0	0	0	0	0	0	418,140	雑収入（418,140）	132,193,503
京都府文化スポーツ部文化芸術課	2017	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大阪アーツカウンシル (大阪府市文化振興会議 アーツカウンシル部会)	2013	3	0	—	7,543,021	大阪府：3,655,662 大阪市：3,887,359	0	—	0	—	0	—	0	—	7,543,021
おかやま文化芸術アソシエイツ	2017	6	0	0	20,364,000	県負担金 (6,271,000) 県共催分担金 (8,475,000) 県コロナ受託 (5,618,000)	—	—	0	0	0	0	260,000	文化連盟一般会計 (260,000)	20,624,000
アーツ・コンソーシアム大分	2016	1	—	—	141,100	財団基金取崩金	—	—	—	—	—	—	—	—	141,100
アーツカウンシルみやざき	2019	2	4,444,000	創造拠点形成事業 (2,794,000) 地域文化クラブ (1,650,000)	20,313,000	県委託（7,313,000） 県民芸術祭事業委託 (13,000,000)	0	0	0	0	0	0	0	0	42,757,000
沖縄アーツカウンシル	2012	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アーツカウンシル前橋	2018	4	0	0	450,900	市財政（450,900）	0	0	0	0	0	0	0	0	450,900
アーツカウンシルさいたま	2022	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アーツコミッション・ヨコハマ	2007	3	0	0	48,171,000	市補助金 (48,171,000)	66,409	寄付金(66,409)	4,210,132	財団自主財源 (4,210,132)	—	—	40,000	事業協力金収入等 (40,000)	52,487,541
（公財）川崎市文化財団	1985	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アーツカウンシル新潟	2016	7	0	0	30,950,219	市補助金 (28,773,693) 市コロナ受託 (2,176,526)	881,750	WAON（881,750）	0	0	3,646,708	芸文振 AC-net (3,094,806) 県コロナ受託 (551,902)	22,200	雑収益（22,200）	35,500,877
浜松アーツ&クリエイション	2018	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
堺アーツカウンシル	2021	4	2,508,000	文化庁補助金 (2,508,000)	—	—	490,000	クラウドファンディング (490,000)	0	0	0	0	0	0	2,998,000

掲載団体の令和3年度決算（加盟団体・支出の部） 単位：円

	支出の部													備考	
	助成事業 (採択件数)		調査研究事業		制作事業		運営事業		他機関との連携事業		事務局運営管理費 (人件費含む)	その他	支出合計		
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	内訳(額)	内訳(額)	内訳(額)						
(独) 日本芸術文化振興会															
アーツカウンシル東京	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,397,000,000	
(公財) 神奈川芸術文化財団 社会連携ポータル課	—	—	475,550	20件	6,241,783	3件	25,174,404	シニアダンス、シニア劇団運営 (25,174,404)	1,563,678	東京2020オリンピック・パラリンピック関連啓発企画事業	33,812,994	5,604,591	広報費 (5,604,591)	72,873,000	
アーツカウンシルしずおか	42,456,096	22件	3,585,120	1件	7,793,878	2件	0	0	9,493,850	視察 (404,460) アートNPOフォーラム (785,150) 地域活性化モデル形成のためのパイロット事業 (8,304,240)	68,446,419	418,140	繰越金 (418,140)	132,193,503	
京都府文化スポーツ部文化芸術課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大阪アーツカウンシル (大阪府市文化振興会議 アーツカウンシル部会)	0	0	1,571,350	1件	632,500	1件	0	—	0	—	5,339,171	0	—	7,543,021	制作事業は、情報発信。事務局運営管理費および収入と支出の合計に大阪府・大阪市職員の人件費は含まない。
おかやま文化芸術アソシエイツ	6,330,000	70件	4,876,000	242件	7,648,000	8件	0	0	0	0	1,770,000	—	—	20,624,000	事務局運営管理費は人件費を含まない。
アーツ・コンソーシアム大分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141,100	—	—	141,100	
アーツカウンシルみやざき	13,000,000	29件	0	0件	0	0件	2,102,742	短歌みやざき事業 (1,186,742) 地域文化倶楽部 (916,000)	0	0	9,654,258	0	0	24,757,000	
沖縄アーツカウンシル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
アーツカウンシル前橋	0	0	226,200	8	0	0	0	0	0	0	224,700	0	0	450,900	
アーツカウンシルさいたま	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	令和3年度活動実績なし
アーツコミッション・ヨコハマ	14,007,664	16	0	0	7,764,156	5	0	0	0	0	30,715,721	0	0	52,487,541	
(公財) 川崎市文化財団	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
アーツカウンシル新潟	1,670,000	7件	288,150	20件	133,500	6件	2,043,599	市コロナ受託 (1,972,470) 県コロナ受託 (71,129)	0	0	34,721,879	1,681,888	芸文振 AC-net (1,681,888)	40,539,016	
浜松アーツ&クリエイション	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
堺アーツカウンシル	14,594,000	38件	—	—	—	—	—	—	—	—	8,360,000	—	—	22,954,000	堺アーツカウンシルは市が直接、所管している団体。市補助金ではなく、文化庁補助金とクラウドファンディングの収入を除いて、市の一般財源より支出。

掲載団体の令和3年度決算（オブザーバー・収入の部） 単位：円

	団体概要		収入の部												
	創立年	事務局職員数	公的支援				民間支援・寄付		助成団体		事業収入		その他		収入合計
			国	内訳	地方自治体	内訳(額)	内訳(額)	内訳(額)	内訳(額)	内訳(額)	内訳(額)				
岩手県文化スポーツ部文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(公財) いばらき文化振興財団	1992	5	0	0	0	0	0	0	0	14,487,687	特定資産からの取崩 (14,487,687)	0	0	14,487,687	
埼玉県県民生活部文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
信州アーツカウンシル (一財)長野県文化振興事業団 アーツ カウンシル推進室)	2022	8	24,609,000	文化庁文化芸術創 造拠点形成事業補 助金	67,043,000	県負担金(長野県 文化振興基金)	0	0	0	0	0	0	0	91,652,000	
(公財)三重県文化振興事業団 (三重県総合文化センター)	1994	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,978,000	基本財産運用益 (15,978,000)	15,978,000	
宮崎県総合政策部みやざき文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アーツカウンシル鹿児島設立準備機構	2021	(11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川崎市市民文化局市民文化振興室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アーツカウンシル金沢 (公財)金沢芸術創造財団)	2022	3	0	0	8,400,000	市受託費 (8,400,000)	0	0	0	0	0	0	0	8,400,000	
浜松市市民部創造都市・文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化芸術企画課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(公財)宝塚市文化財団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(公財)広島市文化財団 アーツカウンシル広島準備チーム	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,096,545	財団他会計からの 繰入金収入 (2,096,545)	2,096,545	

掲載団体の令和3年度決算（オブザーバー・支出の部） 単位：円

	支出の部													備考	
	助成事業 (採択件数)		調査研究事業		制作事業		運営事業		他機関との連携事業		事務局運営管理費 (人件費含む)	その他			支出合計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	内訳(額)	内訳(額)	内訳(額)						
岩手県文化スポーツ部文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8,017,000	いわてアーツコンソーシアム推進事業 支出予算
(公財) いばらき文化振興財団	13,061,000	43件	0	0件	0	0件	0	0	0	0	1,426,687	0	0	14,487,687	事務局運営管理費欄の数字は、助成事業運営費（人件費を除く）
埼玉県県民生活部文化振興課	14,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	助成事業の支出額は、個票記載額の合計
信州アーツカウンシル (一財)長野県文化振興事業団 アーツカウンシル推進室)	20,000,000	15件	0	0	主催事業 23,985,000	2件	0	0	0	0	47,667,000	0	0	91,652,000	収支共に令和4年度予算を記載
(公財)三重県文化振興事業団 (三重県総合文化センター)	3,461,000	11件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	事業団で実施している助成事業について記載
宮崎県総合政策部みやざき文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アーツカウンシル鹿児島設立準備機構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	事務局職員数は民間ボランティアを含めた人数
川崎市民文化局市民文化振興室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アーツカウンシル金沢 (公財)金沢芸術創造財団)	1,500,000	50	100,000	20件	2,500,000	3	2,300,000	相談窓口開設費200千円 情報発信費2,100千円	0	0	2,000,000	0	0	8,400,000	収支共に令和4年度予算を記載
浜松市民部創造都市・文化振興課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化芸術企画課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(公財)宝塚市文化財団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(公財)広島市文化財団 アーツカウンシル広島準備チーム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,096,545	-	-	2,096,545	

団体個票

加盟団体

【組織形態】

公益財団法人東京都歴史文化財団内に「アートカウンシル東京」を設置

【構成員】 令和4年度

- 常勤職員：55名
 - 非常勤専門職員：5名
- 計：60名

【自己紹介】

アートカウンシル東京は世界的な芸術文化都市として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を推進していきます。

<設立趣旨>

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。
2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。
3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

【連絡先】

アートカウンシル東京
TEL 03-6256-8430 / FAX 03-6256-8828

【所在地】

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-28
九段ファーストプレイス5階・8階

【ウェブサイト】

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/>

【ロゴ】



【沿革】

2006年

・東京都において、政策提言を行う知事の附属機関として「東京芸術文化評議会」を設置

<東京文化発信プロジェクト>

2008年

・東京からの文化の創造発信を強化する取組として、「東京文化発信プロジェクト」を開始

2009年

・東京における多様な地域の文化拠点の形成を目指す「東京アートポイント計画」開始

2011年

・国内外の関係者が東京に集う事業を展開し、ネットワークを強化する「ネットワーキング事業」開始

2012年

・4月「アートカウンシル東京準備機構」を設置
・11月「公益財団法人東京都歴史文化財団内に「アートカウンシル東京」を設置（「支援事業」を柱に、「パイロット事業」と「企画戦略事業」の3事業を展開）

2015年

・「東京文化発信プロジェクト室」と「アートカウンシル東京」が事業を再編し、組織統合

< Tokyo Tokyo FESTIVAL の展開 >

2015年

・東京2020大会に向けた文化プログラムを先導する取組として、「東京キャラバン」と「TURN」がスタート

2016年秋～

・2020に向けた東京文化プログラム（2017年に「Tokyo Tokyo FESTIVAL」に改称）事業を本格的に開始

2017年

・斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を国内外から公募し、13件を選定。この13の企画を「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、2021年までに実施

2020年

・東京2020大会の延期により Tokyo Tokyo FESTIVAL の期間も1年延長

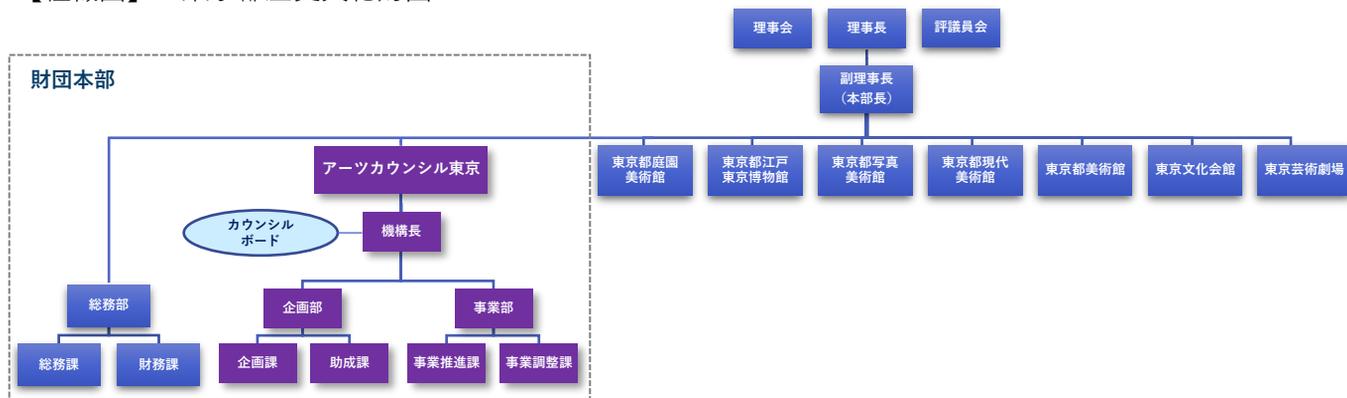
2021年

・感染対策を徹底しながら、9月まで各プログラムを展開し、Tokyo Tokyo FESTIVAL の集大成に

2022年

・「公益財団法人東京都歴史文化財団事務局」と「アートカウンシル東京」を財団本部として一体化し、企画戦略機能を「アートカウンシル東京」に移管

【組織図】 東京都歴史文化財団



【芸術文化支援事業（助成・活動支援）】

■東京芸術文化創造発信助成（令和4年度 助成予定総額：162,817,000円）

・助成の趣旨・目的

東京における多様な創造活動や、国際的な創造活動・発信活動を助成。若手からベテランまでキャリアごとに助成のポイントを設け、特に、若手・中堅を重点的に支援。

・対象分野

音楽、演劇、舞踊、美術・映像、伝統芸能、複合（核となる分野を特定できない芸術活動）

・評価体制および相談体制

アーツカウンシル東京PO

< カテゴリーⅠ 単年助成 >

・助成件数

申請件数：362件、採択件数：99件

・助成事業対象期間

第1期：令和4年7月1日～令和5年6月30日／第2期：令和5年1月1日～12月31日

< カテゴリーⅡ 長期助成 >

・助成件数

申請件数：24件、採択件数：2件

・助成事業対象期間

令和4年7月1日～令和6年6月30日、または令和4年7月1日～令和7年6月30日

< カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業 >

・助成件数

申請件数：44件、採択件数：6件

・助成事業対象期間

（長期助成）令和4年7月1日～令和6年6月30日または令和4年7月1日～令和7年6月30日

（単年助成）第1期：令和4年7月1日～令和5年6月30日／第2期：令和5年1月1日～12月31日

■芸術文化による社会支援助成（令和4年度 助成予定総額：29,574,000円）

・助成の趣旨・目的

さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動を支援。

・対象分野

芸術の分野は問わない

・助成件数

申請件数：72件、採択件数：23件

・助成事業対象期間

第1期：令和4年7月1日～令和5年6月30日／第2期：令和5年1月1日～12月31日

・評価体制および相談体制

アーツカウンシル東京PO

■東京地域芸術文化助成（令和4年度 助成予定総額：8,395,000円）

・助成の趣旨・目的

東京における各地域の多彩な文化的特徴をかたちづくり国内外に広く発信する事業を対象とし、各地域の魅力を上向きさせ地域振興に寄与する活動を支援。

・対象分野

区分1：無形民俗文化財活用事業

国又は地方公共団体が指定した無形民俗文化財及び記録作成等の措置を講ずべき無形の民族文化財（民族芸能・風俗慣習）

区分2：地域文化資源活用事業

芸術の分野は問わない

・助成件数

申請件数：31件、採択件数：18件

・助成事業対象期間

1次：令和4年4月1日～令和5年3月31日／2次：令和4年7月1日～令和5年3月31日／

3次：令和4年10月1日～令和5年3月31日

・評価体制および相談体制

アーツカウンシル東京PO

■スタートアップ助成（令和3年度 交付決定額：64,654,000円）※令和4年度は現在実施中

・助成の趣旨・目的

東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新人芸術家や新進の芸術団体による、新たな芸術活動へのチャレンジを支援。

・対象分野

音楽、演劇、舞踊、美術・映像、伝統芸能、複合（核となる分野を特定できない芸術活動）

・助成件数

申請件数：1,146件、採択件数：103件

・助成事業対象期間

第1回：令和3年9月1日～令和4年5月31日／第2回：令和4年1月1日～令和4年9月30日／

第3回：令和4年4月1日～令和4年12月31日

・評価体制および相談体制

アーツカウンシル東京PO

■伝統芸能体験活動助成（令和4年度 助成予定総額：10,000,000円）

・助成の趣旨・目的

伝統芸能のさまざまなジャンルにおいて、初めての人でも入り易く、かつ継続的に実技の体験ができる事業を支援。

・対象分野

日本の伝統芸能（音楽・演劇・舞踊）

[箏曲・地歌、尺八、長唄、各種浄瑠璃、邦楽囃子、雅楽、能楽、日本舞踊等]

・助成件数

申請件数：30件、採択件数：14件

・助成事業対象期間

令和4年7月1日～令和5年8月31日

・評価体制および相談体制

アーツカウンシル東京PO

■ライフウィズアート助成（令和4年度 助成予定総額：40,000,000円）

・助成の趣旨・目的

芸術文化の多様な楽しみ方を提案し、都民が芸術文化に親しむ機会を創出する取組、基盤整備を助成する。本助成を通じ、芸術文化を日常の中に根付かせ、一層都民に身近なものとするとともに、アーティストの支援にもつなげていくことを目指す。

・対象分野

視覚芸術（ビジュアルアート）全般 ※異分野との協働も可

・助成件数

申請件数：10件、採択件数：5件

・助成事業対象期間

令和4年9月1日～令和5年8月31日

・評価体制および相談体制

審査会

■芸術文化魅力創出助成（令和4年度 助成予定総額：506,000,000円）

・助成の趣旨・目的

より多くのアーティストやスタッフの支援につなげるため、複数の団体や多くのアーティストが参加する持続力・波及力のある革新的な創造活動、フェスティバルやアートプロジェクトを対象とし、東京の芸術文化の魅力向上を目指す。

・対象分野

音楽・演劇・舞踊・美術・写真・文学・メディア芸術（映像・映画、マンガ、アニメ、ゲームなど）・伝統芸能・芸能・生活文化（茶道、華道、書道、食文化など）・ファッション・建築・特定のジャンルにとられない芸術活動（複合）等

・助成件数

申請件数：206件（第1期：127件、第2期：79件）、採択件数：68件（第1期：41件、第2期：27件）

・助成事業対象期間

第1期 令和4年7月16日～令和5年7月15日／第2期 令和4年12月10日～令和5年7月15日

・評価体制および相談体制

審査会

【芸術文化創造・発信事業（参加・体験型プログラム）】

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信する。

※令和4年度の芸術文化創造・発信事業は以下のとおり

<フェスティバルや参加・体験型プログラムの開催>

◇フェスティバル型

- 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり
- 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル～
- 東京大茶会
- 東京芸術祭
- Shibuya StreetDance Week
- 六本木アートナイト
- 東京キャラバン The 2nd

◇参加・体験プログラム

- 大人のための伝統文化・芸能体験事業
- 子供のための伝統文化・芸能体験事業
- キッズ伝統芸能体験
- パフォーマンスキッズ・トーキョー
- TURN LAND プログラム

<文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）>

- HAPPY TURN / 神津島
- ファンタジア！ファンタジア！
ー生き方がかたちになったまちー
- Artist Collective Fuchu [ACF]
- 移動する中心 | GAYA
- ACKT（アクト/アートセンタークニタチ）

- 多摩の未来の地勢図
Cleaving Art Meeting
- めとてラボ
- KINOミーティング
- カロクリサイクル



神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2022
毘沙門天・夜会



東京大茶会 野点 浜離宮恩賜庭園



Shibuya StreetDance Week 2021 SSSD CONTEST



HAPPY TURN/神津島 アーティストプログラム
in 神津島/大西健太郎「くると盆栽づくり」

【人材育成事業】

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成。

- タレント・トーキョー
- アーツアカデミー
- ・芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座
- ・東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修
- ・芸術創造活動の担い手のための会計・税務講座
- Tokyo Art Research Lab (TARL)



タレント・トーキョー



アーツアカデミー 芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座



Tokyo Art Research Lab アートプロジェクトの担い手のための手話講座

【国際ネットワーク事業・企画戦略事業】

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、共同プログラムの開発や芸術活動の発信力向上のきっかけ作りを行う。また、当財団全体を視野に入れた企画調整機能を活用しながら、新たな芸術文化の鑑賞や参加の機会創出を図る。

- アーツカウンシル・フォーラム
- 助成報告会
- クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー
- TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト
- シビック・クリエイティブ・ベース東京



2021年度アーツカウンシル・フォーラム



シビック・クリエイティブ・ベース東京 15

【組織形態】（法人格など）

神奈川県の「神奈川県共生共創事業」を公益財団法人神奈川芸術文化財団が受託し、社会連携ポータル課が所轄する。

【構成員】令和4年度

事業統括者
社会連携ポータル課課長補佐 駒井由理子

プログラムディレクター（常勤）
社会連携ポータル課主査 佐藤泰紀

プログラムオフィサー（常勤）
社会連携ポータル課主任 千葉乃梨子

プログラムオフィサー
井尻有美
津内口淑香
小野寺里穂

広報担当 前島真弓

【沿革】

2018年～

神奈川県より共生共創事業を受託
(KAAT神奈川芸術劇場制作課地域・国際グループが担当)

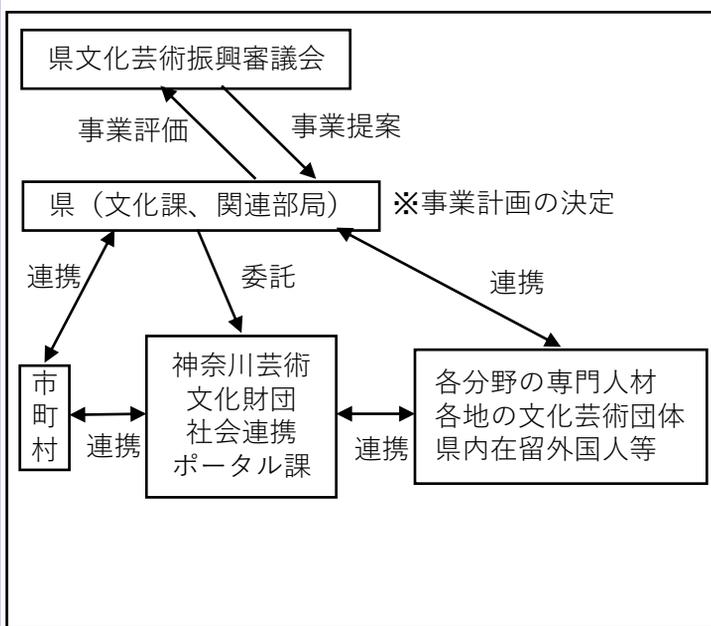
2019年

KAAT神奈川芸術劇場に共生共創課を設置し、担当

2022年

財団本部に社会連携ポータル課を設置し、担当

【組織図】



【事業理念】

神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きるともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施しています。

【連絡先】

公益財団法人神奈川芸術文化財団
社会連携ポータル課
電話 045-633-6513

【所在地】

横浜市中区山下町3-1 神奈川県民ホール内

【担当者】佐藤泰紀

【ロゴ】



チャレンジ・オブ・ザ・シルバー
2021年度成果作品 “TERMINAL” ©川島彩水



神奈川県あそび歌プロジェクト「世界の歌とあそぼう」

【調査研究事業】

- ・神奈川県文化芸術活動団体事業補助金実施調査
- ・共生社会の実現又は未病改善への寄与が可能と思われるコンテンツについての現地調査

【情報発信】

- ・ <https://kyosei-kyoso.jp/>
- ・ YouTube 共生共創事業
- ・ Twitter @kyosei_kyoso
- ・ 発行物
共生共創通信



【制作事業】（令和4年度）

- ・神奈川県あそび歌プロジェクト「あそんでみよう！世界のあそび歌」（仮）
- ・やまゆり園×劇団かかし座「シャドウ・ファンタジー」（仮）＜映像作品＞
- ・地域活動支援センターほわほわ×山本卓卓ワークショップドキュメンタリー（タイトル未定）＜映像作品＞
- ・チャレンジ・オブ・ザ・シルバー ダンスワークショップ

【運営事業】（令和4年度）

- ・シニアダンス企画「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」運営
- ・横須賀シニア劇団運営
- ・綾瀬シニア劇団運営
- ・小田原シニア劇団運営

【他機関との連携】（令和4年度）

行政機関

- ・神奈川県
- ・横須賀市 綾瀬市 小田原市
- ・その他県内市町村

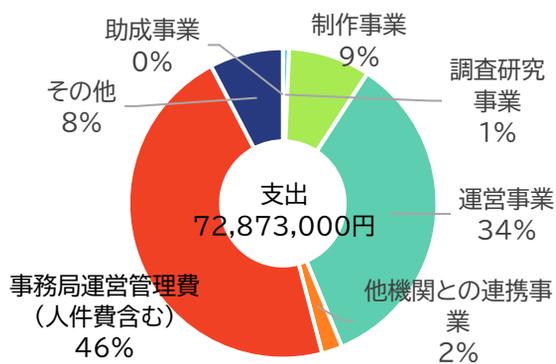
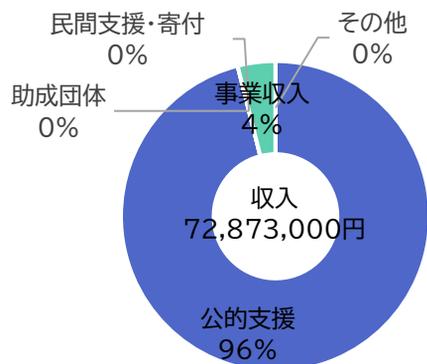
文化芸術団体

- ・株式会社風と音
- ・小田原芸術文化実行委員会
- ・有限会社アップタウンプロダクション
- ・劇団かかし座

その他

- ・津久井やまゆり園
- ・芹が谷やまゆり園
- ・地域活動センターほわほわ
- ・NPO法人カプカプ

【収支】（令和3年度決算額）



【組織形態】（法人格など）
 公益財団法人静岡県文化財団内に
 「アーツカウンシルしずおか」として設置

【構成員】 令和4年度
 （非常勤）
 アーツカウンシル長（副理事長） 加藤種男

 （常勤）
 アーツカウンシル課長（参事） 松田有紀
 チーフプログラム・ディレクター 榎野展正
 プログラム・ディレクター 北本麻理
 プログラム・ディレクター 鈴木一郎太
 プログラム・コーディネーター 立石沙織
 アシスタント・コーディネーター 若菜ひとみ
 マネージャー 滝口信太郎
 チーフ・スタッフ 小松由貴子
 スタッフ 船元 優
 スタッフ 横山 央

【自己紹介】
 「視点をかえる 発想をひらく」をキャッチフレーズに、住民主体のアートプロジェクトの支援を中心として、物事の見方に変化を促し、発想を広げるお手伝いをする組織です。“すべての県民が表現者（つくり手）”となることを目指して、誰もが持っている創造力が活かされる道をひらき、まちづくりや観光、福祉、教育など社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる、創造的な地域づくりに貢献します。

<アーツカウンシルしずおかの機能>

- 1 住民主体の創造活動の推進エンジン
 住民主体のアートプロジェクトの活性化に向けた助言や助成等の支援を行うとともに、住民プロデューサーの発掘や、先導的な事業の試行等を行う。
- 2 多分野協働のプラットフォーム
 クリエイティブ人材と企業や団体等とのマッチングやネットワークづくり、相談対応などのコーディネート業務を行う。
- 3 文化政策シンクタンク
 地域資源・文化活動等の調査研究、自治体や文化団体等への助言・提言を行う。

【沿革】

2016年

- ・静岡県文化プログラム推進委員会発足（2021年12月解散）

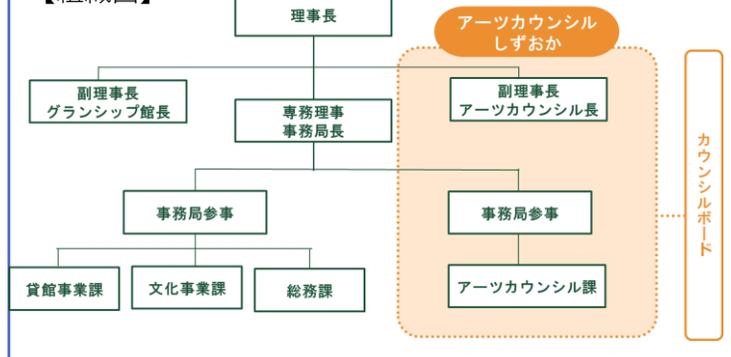
2021年

- ・（公財）静岡県文化財団内に「アーツカウンシルしずおか」設置（1月）
- ・「文化芸術による地域振興プログラム」開始（～現在）
- ・相談窓口の設置（～現在）
- ・「マイクロ・アート・ワーケーション」開始（～現在）
- ・「オンラインセミナー」、「オンライン寄合」実施
- ・「超老芸術」取材開始（～現在）

2022年

- ・「文化芸術による地域活性化モデル形成のためのパイロット事業」実施
- ・クリエイティブデータベース開設（～現在）
- ・先進事例視察実施
- ・「クリエイティブ人材の副業意向調査」、「地場産業とクリエイティブ人材マッチングモデル事業」実施
- ・「アーツカウンシルしずおかアソシエイト」制度創設、委嘱
- ・全県移住促進組織「ふじのくにに住みかえる推進本部」への参画（～現在）
- ・「クリエイティブ人材派遣制度」創設（～現在）
- ・実践型講座（かきかたきかく）開催
- ・地域づくりフォーラム「クリエイティビティと地域のイノベーション」開催

【組織図】



【ミッション】

住民主体の創造的活動を促進するプラットフォームとして、社会の様々な分野の担い手による地域の活性化や社会課題への対応を目指す創造的な取組を支援する。

【ビジョン】

“すべての県民が表現者（つくり手）”となることを目指し、誰もが有する創造力が活かされる道をひらき、社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる創造的な地域づくりに貢献する。

【連絡先】

アーツカウンシルしずおか
 電話 054-204-0059
 メールアドレス
 info@artscouncil-shizuoka.jp



【所在地】 静岡市駿河区東静岡二丁目
 3番1号 グランシップ1F
【担当者】 滝口信太郎（マネージャー）

【助成事業】令和4年度予算45,600,000円

- ・助成目的
文化芸術の力を活用して地域社会の活性化を目指す県民主体の創造的な活動を支援し、すべての県民が
つくり手となる地域社会の形成を促進
- ・対象分野
まちづくりや観光、国際交流、福祉、教育及び産業などの様々な分野と文化芸術が協働する取組
- ・内容（助成事業費）
報償費、制作費、委託費、使用料、運搬費、賃金、保険料、旅費、通信費、著作権料、広告・印刷費、
消耗品費
- ・助成件数

助成区分	対象	助成件数
地域クリエイティブ支援	先駆的事業	19件
地域はじまり支援	先駆的事業の実施に向けた試行的取り組み	12件

- ・助成期間
交付決定通知で指定した期間（会計年度内で設定）
- ・評価体制及び助成制度の相談体制
アーツカウンシルしずおかPD、PC

【制作事業】令和4年度予算14,300,000円

マイクロ・アート・ワーケーション

- ・まちづくり団体等がホストとなり、約1週間、ワーケーションを行うクリエイティブ人材と住民との交
流をコーディネート
- ・クリエイティブ人材が地域の魅力をWebサイトで発信、成果物は求めない

地域づくりフォーラム

- ・「クリエイティビティと地域のイノベーション」と題し、3人の企業経営者を講師として招聘
- ・参加者の中心は、企業、金融機関、行政（商工、農業）など経済関係者

実践型講座「かきかたきかく」

- ・アートライティング講座を開催

クリエイティブ人材派遣制度

- ・自治体の政策形成や、ビジネス分野における顧客との関係づくり、商品開発等への寄与

地場産業とクリエイティブ人材マッチングモデル事業

- ・クリエイティブ人材の持つ能力をビジネスと紐づけ活用する仕組みを開発・試行

おもしろい人に会いたい!!2023-アートプロジェクト見本市-

- ・アートプロジェクトの周知を図るため、アートプロジェクト実践者によるトークやワークショップ等
を実施

【そのほかの事業】令和4年度予算1,463,000円

アーツカウンシルしずおかアソシエイト

- ・まちづくりや観光、福祉、教育など、社会の様々な分野の識見に基づき、当該分野と文化芸術との連携
等について意見・提言等を行う人をアソシエイトとして委嘱

相談窓口の運営

- ・アーツカウンシルしずおかPD、PCに加え、弁護士、税理士、中小企業診断士等が相談対応

超老芸術

- ・高齢になってからもユニークな表現活動をしている方々を「超老芸術」と名付け取材、紹介 ほか



2022年度文化芸術による地域振興プログラム キックオフ・ミーティング

マイクロ・アート・ワーケーション

micro

ART work-ACTION



実施期間：2021年11月～2022年3月

ARTS COUNCIL SHIZUOKA



2022年度マイクロ・アート・ワーケーション（地域住民との交流の様子）



企業経営者を招いた地域づくりフォーラム「クリエイティビティと地域のイノベーション」



実践型講座「かきかたきかく」

アソシエイト（起業家等）との意見交換会

【調査研究事業】 令和4年度予算2,000,000円

令和3年度

- ・「文化芸術による地域振興プログラム」伴走評価（一般財団法人CSOネットワークに委託）

令和4年度

- ・クリエイティブ人材の副業に係る意向調査（合同会社うさぎ企画に委託）

【情報発信】 令和4年度予算5,000,000円

- ・ <https://artscouncil-shizuoka.jp>
- ・ Facebook
<https://www.facebook.com/artshizuoka>
- ・ YouTube アーツカウンシルしずおか
- ・ Twitter @artshizuoka
- ・ Instagram @artshizuoka
- ・ 発行物
アーツカウンシルしずおか紹介リーフレット
地域振興プログラム紹介リーフレット
2021アニュアルレポート



紹介リーフレット



アニュアルレポート

【他機関との連携】

行政機関

- ・ 静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課（所管課）
- ・ マイクロ・アート・ワーケーションのホスト（松崎町、下田市）
- ・ クリエイティブ人材派遣制度（2市が検討中）
- ・ 審査会委員等（静岡県、熱海市、沼津市、静岡市）
- ・ 全県移住促進組織「ふじのくにに住みかえる推進本部」

企業

- ・ パイロット事業やフォーラムでの連携
- ・ マイクロ・アート・ワーケーションのホスト
- ・ 金融機関の部活動
- ・ 卸商団地
- ・ 障がい者アート応援プロジェクト
- ・ アーツカウンシルしずおかアソシエイト委嘱

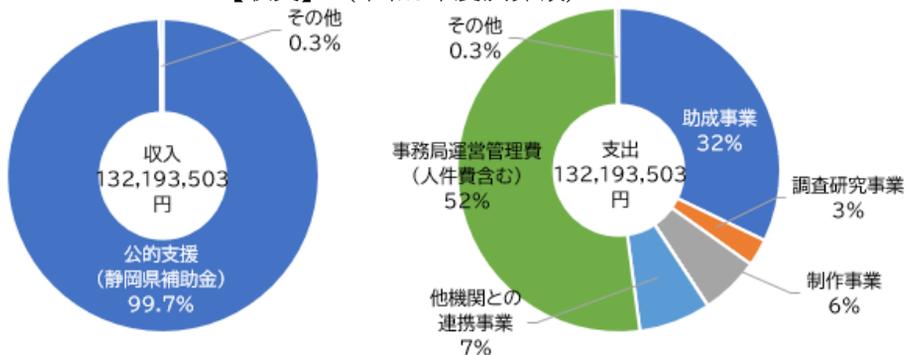
文化芸術団体

- ・ マイクロ・アート・ワーケーションのホスト

その他

- ・ 静岡県社会福祉協議会（新たな地域福祉教育副読本作成）
- ・ 熱海市立桃山小学校（夢先生コーディネート）

【収支】（令和3年度決算額）



京都府文化スポーツ部文化芸術課

2017年4月
広域振興局に専門人材
を配置開始

【組織形態】
京都府本庁及び広域振興局に専門人材を配置

【構成員】 令和4年度
■本庁（常勤：任期付職員）
プログラムオフィサー 堀越芽生子
プログラムコーディネーター 大賀由佳子
■広域振興局（非常勤：会計年度任用職員）
地域アートマネージャー（山城）西尾晶子
地域アートマネージャー（南丹）宮下忠也
地域アートマネージャー（中丹）朝重龍太
地域アートマネージャー（丹後）甲斐少夜子

【自己紹介】
文化力による京都の活性化のため、文化芸術課に、事業統括・企画立案や情報発信を行う2名の専門人材を任期付き職員として配置するとともに、府内地域における文化芸術活動を牽引し、かつ地域住民の自主的な文化活動を指導・助言できる専門性を備えた人材を地域アートマネージャー（会計年度任用職員）として各広域振興局に1名配置。文化芸術活動による個性豊かな地域づくりを推進する。

【ミッション】
専門人材の支援のもと、地域における文化活動が活発になることを目指します。

【ビジョン】
・誰もが文化に親しめる社会
・文化が活力を生み出す社会
・感性豊かで創造的な社会
・暮らしの中に多様な文化が息づく社会

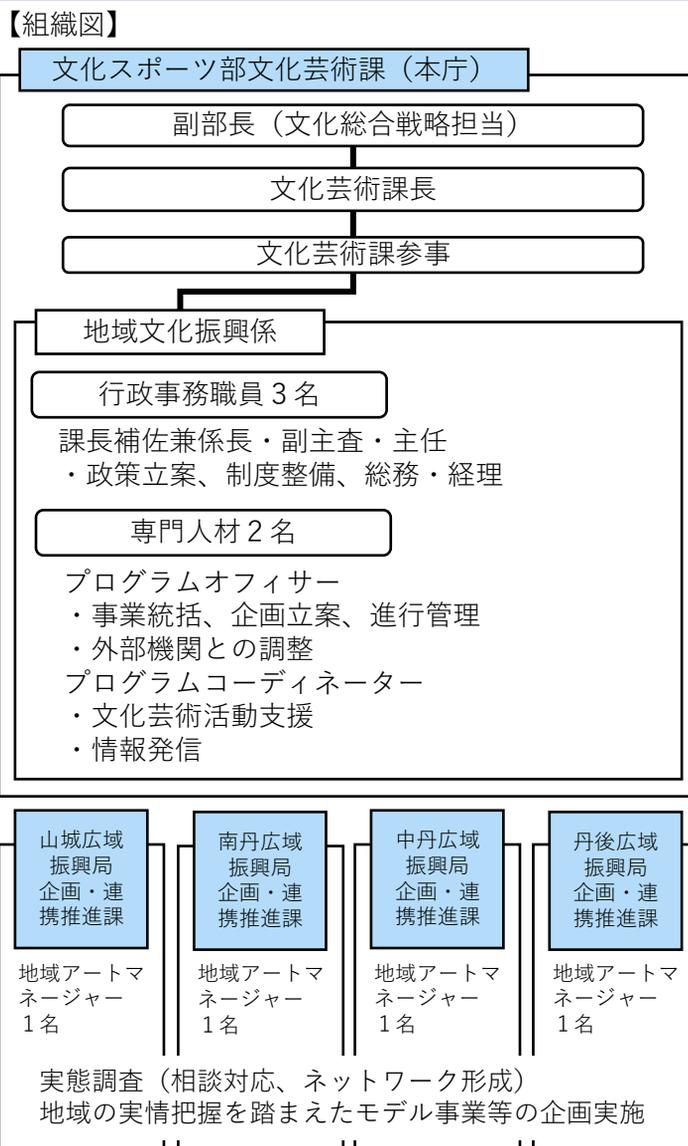
【情報発信】
・Webサイト「KYOTOHOOP」
<https://kyotohoop.jp/>
・Facebook：
<https://www.facebook.com/kyoto.artconsortium/>
・Instagram @kyotohoop

【連絡先】
京都府文化スポーツ部
文化芸術課 地域文化振興係
【所在地】
京都市上京区下立売通
新町西入藪ノ内町
【担当者】
丸山奈津美（課長補佐兼係長）



KYOTOHOOP

【沿革】
2015年6月
文化スポーツ総務課に専門人材1名を採用
2016年4月
文化スポーツ総務課の専門人材1名を文化交流事業課に配置
2017年4月
中丹広域振興局に地域アートマネージャー1名配置
2018年6月
文化交流事業課が文化芸術課へ組織改編。引き続き、専門人材1名を配置
2019年1月
南丹広域振興局に地域アートマネージャー1名配置
2020年4月
山城広域振興局に地域アートマネージャー1名配置
2020年5月
丹後広域振興局に地域アートマネージャー1名配置
2021年6月
文化芸術課に、専門人材1名を追加配置



【助成事業】

文化力チャレンジ補助金（平成11年から実施）令和4年度予算 5,800,000円

・助成目的

京都府内各地域における文化力の向上とともに、地域の個性あふれる文化芸術活動を創出し、国内外へ発信することを支援する

・対象分野

- ① 次代の社会を担う子どもや青少年を対象とした文化に関する公演、展示等の非営利文化活動であって、次世代による文化活動の充実又は次世代の豊かな人間性を育むことに資するもの
- ② 地域文化資源の魅力を高め、その魅力を国内外に発信する非営利文化活動であって、地域の特色ある文化資源が相互に結び付けられ、広域的な観光及びまちづくりにおいて更に活用されることに資するもの
- ③ 広く府民が多様な文化に触れ、及び身近に親しむことができる機会を提供し、又は地域における文化に関する公演、展示等を実施する非営利文化活動であって、地域における文化活動の活性化に資するもの
- ④ 前各号に掲げるもののほか、京都府が目指す「文化力による未来づくり」に資すると認められる非営利文化活動

・内容（助成事業費）

報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料、原材料費その他補助対象事業の実施に要する経費。ただし、次に掲げる経費を除く。

1. 人件費、団体運営費その他の経常的な経費
2. 個人への給付を目的とした経費
3. 食糧費
4. 1から3までに掲げるもののほか、補助対象経費として不適当と知事が認める経費

・助成件数

令和4年度採択件数31件

・助成期間

交付決定日～令和5年2月13日までに実施完了する事業

・評価体制

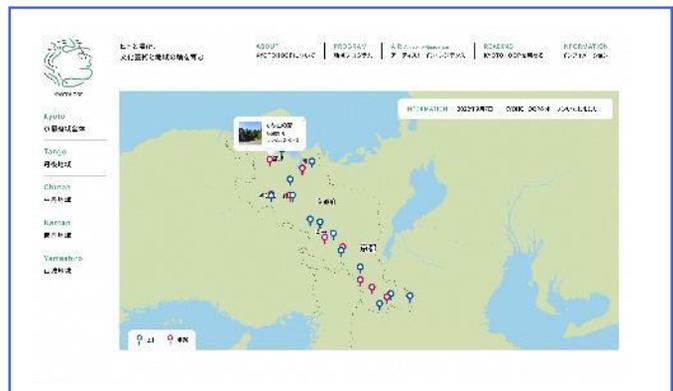
文化力チャレンジ補助金意見聴取会議（有識者会議）

・相談体制

地域文化振興係職員及び地域アートマネージャー



WEBサイト『KYOTOHOOP』マッピング記事・取材の様子



WEBサイト『KYOTOHOOP』マッピングページ



京都南丹・Yagi-JAM実行委員会による商店街でのアート作品展示支援(2022年)



シンマチサイト実行委員会（福知山市）妖怪画ワークショップの実施支援（2022年）

【他機関との連携】

京都府組織内での連携

- ・京都府文化スポーツ部文化芸術課（所管課）
- ・広報課、商工労働観光部、建設交通部、教育委員会文化財保護課 等との連携
- ・山城広域振興局事業『やましろミュージックキャンプ』企画・運営

文化施設（令和4年度）

・京都府内の7劇場にコロナ禍のアーティスト支援事業「京都府文化団体等活動継続支援事業」を委託文化芸術団体等（令和4年度）

- ・Webサイト「KYOTOHOOP」を令和4年9月に開設。地域アートマネージャーが掘り起こした地域の文化芸術に関わる「人・場所」に関する情報を地図上にマッピングして情報発信。取材と記事の執筆も地域アートマネージャーが担当している。（令和5年2月時点で約50件の情報を掲載。各地域アートマネージャーが月1本以上の記事を執筆し順次掲載中）
- ・京都府域の子供達が文化芸術に触れる機会を創出するアウトリーチ事業を文化芸術団体等に委託
- ・「京都南丹・Yagi-JAM実行委員会」伴走支援（南丹地域アートマネージャー）
- ・「丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会」伴走支援（丹後及び南丹地域アートマネージャー）
- ・「三津の灯台アートプロジェクト実行委員会」伴走支援（丹後地域アートマネージャー）
- ・京都府立峰山高校探求授業アートチームに対する助言・指導（丹後地域アートマネージャー）
- ・「シンマチサイト実行委員会」伴走支援（中丹地域アートマネージャー）

市町村及び産業界、大学等と連携してのアートプロジェクトの実施（令和4年度）

- ・京都:Re-Search実行委員会（京都府、綾部市、与謝野町）
- ・「海の京都」天橋立地区協議会（宮津市、宮津商工会議所、DMO、観光事業者、交通事業者、地元まちづくり団体（自治会等で構成）等）※京都府はオブザーバー
- ・福知山イル未来と実行委員会（京都府、福知山市、福知山青年会議所、福知山公立大学）
- ・向日アートプロジェクト実行委員会（京都府、向日市、向日市観光協会、向日市商工会）

市町から依頼を受けての政策立案・企画立案支援（令和4年度）

- ・京丹後市文化芸術振興審議会アドバイザー（丹後地域アートマネージャー）
- ・綾部市冬季ライトアップ事業 企画・運営アドバイス支援（中丹地域アートマネージャー）



『やましろミュージックキャンプ』公募で選ばれた子ども達をプロの演奏家5名が指導。最終日にミニコンサートを開催（2022年）



福知山イル未来と実行委員会「ALTEANATIVE KYOTO in福知山『記憶と立ち上げ』」花岡伸宏作品の展示（2022年）



峰山高校の探求授業でアートプロジェクトを企画運営する高校生への助言。京丹後市で活動する文化団体の活動へのボランティアスタッフとしての参画をコーディネート（2022年）



障害者芸術が専門の南丹地域アートマネージャーと丹後地域アートマネージャーが連携して「丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会」の『TANGOまるっぽ美術館』を伴走支援（2022年）

【制作事業】

京都:Re-Search芸術祭創生事業 令和4年度予算14,000,000円

【アーティスト・イン・レジデンスの実施】

プロのアーティストが3箇月～6箇月程度、フィールドワークや地域住民の協力を得て地域をリサーチし、発見を活かした地域の新しいアートドキュメントを作成し発表する。（令和4年度滞在地域：綾部市、与謝野町）

【住民向け地域プログラムの実施】

各振興局に配置した地域アートマネージャーが中心となり、市町村や地域の文化芸術団体、NPO法人等と連携して、「文化」を活用した地域の活性化に向けた取組を展開

<令和4年度事業>

- 山城：『チェロ&ピアノで贈る参加型コンサート～コンサートホールの“音”をもっと楽しもう！』『リアルコンサートホールで何が出来る？』
次世代向け事業の実施とその振り返りを踏まえた研修プログラム（研修の対象：公共ホール事業担当者、文化団体、文化行政担当者、学生等、コンサートホールの活性化に関心のある方）
- 南丹：アートイベント「Nantan Remix 2022」
商店街の空き店舗を活用した芸術作品や写真の展覧会や、地域住民とアーティストがともに「アートによる地域活性化」について考えるトークイベントやラウンドテーブルディスカッション、アーティストトークの実施
- 中丹：「地域における官民協働でおこなうアートプロジェクトのつくりかた」
行政文化担当と地域文化活動従事者を対象に、それぞれの課題を持ち寄り、協働の形を探すための取り組みを、他地域にて先事例を行なっている団体、行政担当者を講師に招き、ディスカッション形式にて探る研修事業
- 丹後：トークイベント「風景泥棒はどこへ？地域×現代アートを考える」
2018年から2021年のAIR事業「京都:Re-Search」参加アーティストと地域サポーターによるトークイベントでアートによるまちづくりの可能性について考える。



「風景泥棒はどこへ？地域x現代アートを語り合う」
2018年から2021年のAIR事業「京都:Re-Search」参加アーティストと地域サポーターによるアートによるまちづくりの可能性について考えるトークイベントを実施（2022年）



音楽ホールが多数存在する山城地域で音楽ホールの活性化を考える研修事業。次世代の聴衆を開拓するモデル事業として音楽ワークショップを採り入れたコンサートを開催した後に、その振り返りを含むトーク&ディスカッションを実施（2023年）



京都:Re-Search in 与謝野「テキスタイルの境界を越える」草木染めのリサーチを行う滞在アーティストの様子（2022年）



アートイベント「Nantan Remix 2022」ラウンドテーブルディスカッション（2022年）

【組織形態】

大阪府と大阪市が地方自治法第252条の7第1項の規定により共同設置した諮問機関である「大阪府市文化振興会議」の常設部会として設置されたもの。
正式名称は「大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会」であり、「大阪アーツカウンシル」と通称しています。

【構成員】 (令和4年度)

部会長 (統括責任者)
宮崎 優也

部会委員

尾崎 雅久、志村 聖子、塚原 悠也、長川 勝勇、
梶木 典子、畑 律江、原 久子、広瀬 依子、
松尾 美矢子、山納 洋

アーツマネージャー

小倉 千裕、野添 貴恵、花岡 京子、廣川 文、
廣瀬 凧里

【沿革】

- 2011年：当時の大阪市長が、「大阪市戦略会議」において文化芸術団体への運営補助金の見直しを主張し、大阪独自のアーツカウンシルを設置する方針を示す。
- 2012年：大阪府市統合本部の「都市魅力戦略会議」にアーツカウンシルワーキンググループが設けられ、具体的な制度のあり方が検討される。
- 2013年：大阪アーツカウンシル設置
- 2014年：「2015年度の予算編成に向けて大阪アーツカウンシルからの提言」
- 2015年：芸術文化魅力育成プロジェクト (大阪府市共同事業)のサポート (～2017年)
- 2018年：「大阪の文化振興に関する提言」
- 2020年：「新型コロナウイルス感染症拡大に対する大阪の芸術文化への支援に関する提言」

【自己紹介】

大阪府と大阪市は、文化振興計画の策定及び変更に関する事項及び文化の振興に関する重要な施策について調査・審議を行うための諮問機関・審議会である「大阪府市文化振興会議」を共同設置しています。
大阪アーツカウンシル (正式名称：大阪アーツカウンシル部会) は、上記会議の常設部会として大阪府と大阪市が設置した機関であり、大阪の文化行政を推進するために、行政と一定の距離を置き、芸術文化の専門家による評価、審査等を行うことを目的としています。
以下の機能を担い、その活動状況や結果を大阪府市文化振興会議に報告、提案し、同会議の審議を経て知事・市長に提言を行っています。

[大阪アーツカウンシルの機能]

① 評価・審査

(大阪府・大阪市の文化事業の検証、評価、助成事業の審査及び成果の調査) ※

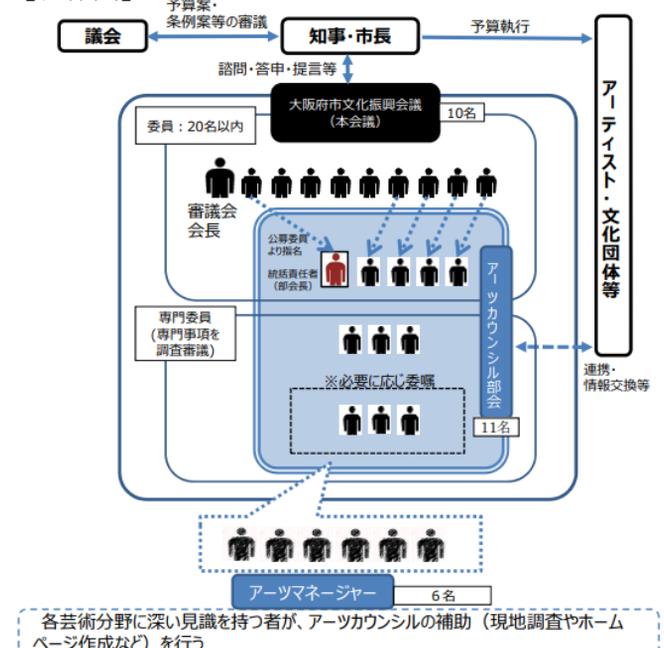
② 調査

(情報の収集、分析、提供など。大阪の文化芸術に関する様々な事象について調査や研究を行うシンクタンク的な役割)

③ 企画

(新たな事業などの企画、立案および提言など。上記①②の活動から導き出された課題に対する講座や意見交換会の開催など)

【組織図】



【連絡先】 大阪アーツカウンシル

Email : info@osaka-artsCouncil.jp

【所在地】 〒550-0006

大阪府大阪市西区江之子島2丁目1番34号
大阪府立江之子島文化芸術創造センター2階



【担当者】 宮崎優也 (統括責任者)

※参考：R4年度の評価対象事業と予算規模は以下の通り。
大阪府文化課による16事業 (約5.9億円)
大阪市文化課による27事業 (約20.9億円)

大阪府と大阪市は、計画的に文化行政を実施するために、「第5次大阪府文化振興計画」及び「第3次大阪市文化振興計画」で以下のビジョンを共有し、文化芸術の振興に取り組んでいます。

目指す将来像

「文化共創都市 大阪」～文化芸術が未来を切り拓く～

基本理念

- ・あらゆる人々が文化を享受できる都市
- ・大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市
- ・あらゆる人々が文化を通じていきいきと活動できる都市

施策の方向性

- ・文化にかかわる環境づくり
- ・文化が都市を変革する
- ・文化が社会を形成する

【評価・審査】

<大阪府・大阪市の文化事業について>

大阪アーツカウンシル委員が大阪府・大阪市の各事業の担当職員と面談を実施し、事業評価と検証を行っています。

<大阪府の補助事業・大阪市の助成事業について>

大阪アーツカウンシル委員またはアーツマネージャーが視察と事業者へのヒアリングを行い、視察レポートを作成。毎月定例で行われるアーツカウンシル部会において、大阪府文化課・大阪市文化課の職員の同席のもと、提出された視察レポートをもとに効果検証などを行っています。



■大阪府の主な文化事業

くわしくはこちら

→<https://www.pref.osaka.lg.jp/bunka/news/>

■大阪府の補助事業

- ・大阪府芸術文化振興補助金
(令和4年度予算 10,031千円)
- ・輝け！子どもパフォーマー事業補助金
(令和4年度予算 4,800千円)

■大阪市の文化事業

くわしくはこちら

→https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/1051/0/0430106/4-2_shi-jigyoku.pdf

■大阪市の助成事業

- ・大阪市芸術活動振興事業助成金
(令和4年度予算 117,000千円)

【調査】

- 2012年 「大阪アーツカウンシル設立に向けた事例調査・フォーラム開催等」事業
- 2013年 芸術文化施設視察・指定管理者等ヒアリング
- 2014年 U40ミーティング
- 2015年 芸術文化魅力育成プロジェクト調査
大阪の演劇状況等に関する調査
- 2016年 他府県のアーツカウンシル状況調査
- 2017年 大阪府内の主な芸術関係施設調査、芸術文化魅力育成プロジェクトの成果等のとりまとめ
- 2018年 大阪府内における公立文化施設等にかかる調査
- 2019年 芸術文化に関する補助金・助成金及び文化事業に関する調査
- 2020年 新型コロナウイルス感染症拡大影響下における50人未満のアート拠点ピックアップヒアリング調査
新型コロナウイルス感染症拡大影響下における大阪府内の公立文化施設のネットワーク状況等調査
- 2021年 大阪の文化芸術に関する調査（インタビュー調査）
- 2022年 大阪における文化芸術関係者の実態調査
大阪市芸術活動振興事業助成金にまつわるアンケート調査

調査事業の一環として、左記とは別に、2018年度から毎年「大阪芸術文化交流シンポジウム」を開催しています。

<過去のテーマ>

- 2018年度：
「世代を超えて『演劇』課題を共有できるのか：現代演劇づくり手の視点から」
- 2019年度：
「大阪から『美術/アート』を拓く」
- 2020年度：
「人と地域を育み・つなげる場：公立文化施設の現場から」
- 2021年度：
「現場の視点から地域アーツカウンシルの〈仕組み〉を紐解く」
- 2022年度：
「『令和4年度 大阪における文化芸術関係者の実態調査』の結果を踏まえて」

【企画】

■2021年度実績：

<大阪市との連携企画>

- 「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査 2021」
- 「大阪市芸術活動振興事業助成金事例報告会[ホスピタルアート編]」
- 「大阪市文化芸術総合相談窓口」

<大学との連携企画>

- 「伝統芸能コーディネーター育成プログラム 講座 [5]
- 「伝統芸能の記憶と記録 ～アーカイブの保全と活用の観点から～」
- (主催：相愛大学伝統芸能魅力検証プロジェクト実行委員会
文化庁「令和3年度 大学における文化芸術推進事業」)

<文化芸術団体との連携企画>

- 「Osaka-Milan Sister City Relations 40th Anniversary-ART2021
- (大阪 - ミラノ姉妹都市提携 40 周年記念おでかけアーツカウンシル)」
- 「おでかけアーツカウンシル with 大阪の公立文化施設」

■2022年度実績：

<大阪アーツカウンシル主催>

- 「文化や芸術をプロデュースするには：
- クラウドファンディングを含む資金調達のための講座」

<大阪市との連携企画>

- 「キャリア万博 & 大阪市助成金説明会」



【他機関との連携】

- 行政機関… 大阪府市文化課「芸術文化魅力育成プロジェクト (Osaka Creative Archipelago、中之島のっと、ONPS)」のサポート (2015年-2017年)
大阪府立江之子島文化芸術創造センター「おおさかアート commons」(2018年-2022年)
大阪市文化課「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」(2021年)
大阪市文化課「大阪市文化芸術総合窓口」(2021年)
- 教育機関… 大阪市立大学 社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「アートの活用形？」(2015年)
大阪市立大学「特別シンポジウム」(2018年-2019年)
相愛大学「伝統芸能コーディネーター育成プロジェクト」(2019年-2021年)
- 企業/民間団体… いずみホール「アートマネジメント講座 広報のイロハ」(2017年)
おおさか創造千島財団「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」(2020年)

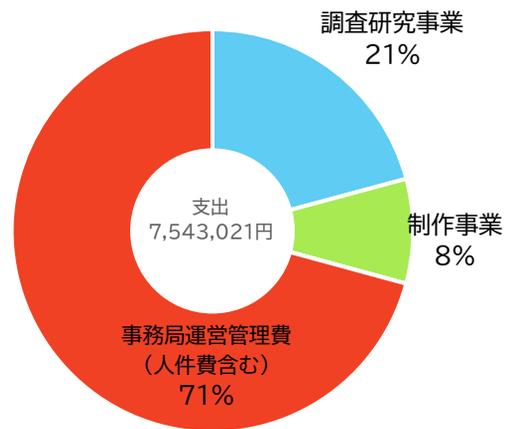
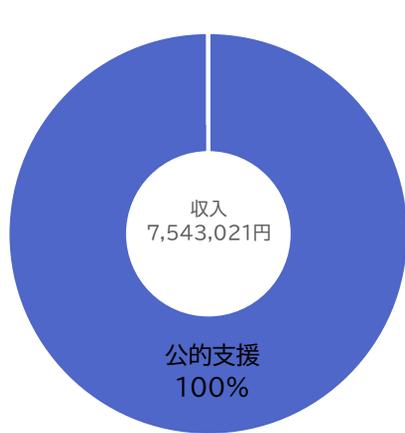
【その他の活動】

<府市文化課が所管する文化事業の審査やサポート>

- ・府内市町村文化行政主管課長会議における基調講演 (大阪府)
- ・なにわの芸術応援募金の採択審査 (大阪市)
- ・府庁本館活用/フェスパ次世代シアター事業の応募審査 (大阪府)
- ・大阪市アーティストサポート窓口事業 中間検証会の実施 (大阪市)
- ・寄附型自販機 (メセナ自販機、次世代育成型メセナ自販機) の設置審査 (大阪府)



【収支】（令和3年度決算額）



※ただし、支出の中に、事務局を担当する大阪府職員と大阪市職員の人件費は含めていない（アーツカウンシル業務のみに要した金額を算出できないため）

【情報発信】

- ・ Web site <http://www.osaka-artsCouncil.jp>
- ・ Facebook @osakaartscouncil
- ・ YouTube @user-tw3go9nx4h
- ・ Twitter @OsakaArts

【組織形態】

公益社団法人岡山県文化連盟（平成17年設立）の機能強化としてスタート

【構成員】令和4年度

プログラム・コーディネーター（非常勤）
大月ヒロ子
プログラム・オフィサー（常勤、文化連盟主任兼務）
高田佳奈
文化連盟事務局長兼務（常勤）
岡野千鶴
文化連盟主事兼務（常勤）
劔持宏子
文化連盟スタッフ兼務（常勤）
谷口洋子
スタッフ（非常勤）
橋本 誠

●アドバイザー

アドバイザー（非常勤） 杉浦幹男
アドバイザー（非常勤） 朝倉由希
アドバイザー（非常勤） 斎藤 努
アドバイザー（非常勤） 森山知己

●外部委託

WEB、システム担当 株式会社LogooDesign
記録・アーカイブ担当
一般社団法人ノマドプロダクション
映像、編集担当 ざっぱうさぎ

【自己紹介】

岡山県文化連盟が持つ既存のネットワークを活かして、私たち自身が生活するその地域の文化を構成する人や資源、歴史についてよく知り、地域の未来を見据えた新しい価値の創造と多様な主体の共生について思考するための取り組みを続けています。

<おかやま文化芸術アソシエイツの機能>

1. 中間支援機能

文化団体等の活動に対する相談対応、助言、伴走支援、パイロット事業、文化活動に係る研究会、勉強会、講演会などの実施

2. シンクタンク機能(調査分析)・政策提言

県内の文化芸術資源を発掘、再評価、活用するための調査事業の実施

3. 助成金の分配

県民文化祭を通じた助成、県や助成財団の助成金審査など

【連絡先】

おかやま文化芸術アソシエイツ
電話 086-234-2626
メールアドレス bunkaren@o-bunren.jp

【所在地】

岡山市北区天神町8-54
岡山県天神山文化プラザ
3階

【担当者】

高田佳奈
(プログラムオフィサー)



【沿革】

2015年

- ・公益社団法人岡山県文化連盟設立10周年、岡山県天神山文化プラザ開館10周年記念講演&リレー・トーク(6/9)にて、地域アーツカウンシル設置の方向性を示唆

2017年

- ・おかやま文化芸術アソシエイツ キックオフシンポジウム「地域で文化を考える～文化プログラムと地域アーツカウンシルの役割」開催(6/27)
- ・公益社団法人岡山県文化連盟の機能強化として、おかやま文化芸術アソシエイツスタート(7/31)
- ・beyond2020認証申請受付開始(～2022年)
- ・文化芸術交流実験室開始(～現在)
- ・県内調査研究事業「ヒト・コト・場所」スタート(～現在)
- ・アートマネジメント研修開始(～現在)
- ・NPO活動官民合同資金調達説明会&相談会開始(～現在)
- ・岡山県文化振興課所管の補助金審査開始(～現在)

2019年

- ・おかやま県民文化祭共催文化パワーアップアクション助成事業審査開始(～現在)

2020年

- ・おかやま文化芸術活動相談窓口設置(～現在)
- ・公式YouTubeチャンネル「OKAYAMA CULTURE V」開設(～現在)
- ・おかやま県民文化祭 これがOKAYAMA!プログラム企画運営(～現在)
- ・みんなの文化活動応援事業(コロナ対策助成金)受託(～2021年度)
- ・YouTubeコンテンツ「訪問実験室!文化芸術が生まれてくる現場」スタート(～現在)

2021年

- ・マイニングおかやまWEBサイト開設(～現在)
- ・おかやま文化芸術コネクト事業「活用実践モデル事業助成金」開始(～現在)

2022年

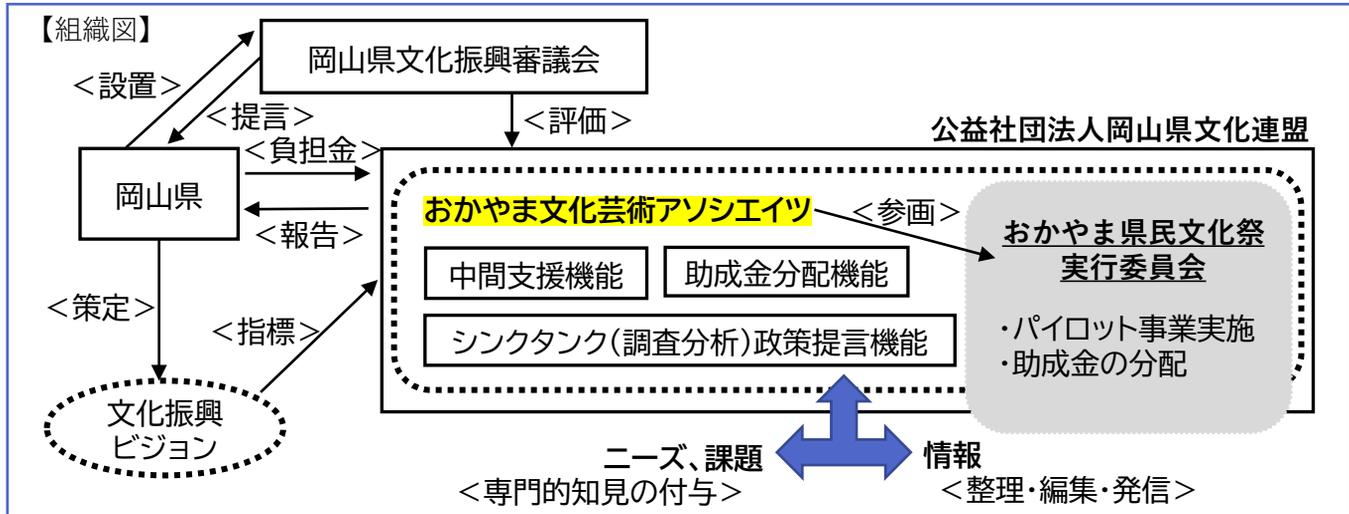
- ・岡山県文化団体調査事業実施(継続中)

【ミッション】

文化芸術を軸として分野を横断する有機的なネットワークを形成し、文化芸術の中間支援機能を担う総合窓口として、県内で文化芸術活動に取り組む多様な主体の相互連携と自主的活動を促進し、豊かな地域社会の実現に努める。

【ビジョン】

- (1) 県民が文化に親しむ環境づくり・文化が育まれる風土づくり
- (2) 県民文化の継承・発展
- (3) 未来を創り、拓いていく担い手育成
- (4) 「文化の力」の充実と活用
- (5) 文化ネットワークの形成



【助成事業】

おかやま県民文化祭共催 文化パワーアップアクション助成事業（文化連盟として平成27年度より実施）
 令和4年度予算 助成額150万円

- ・助成目的
文化・芸術を生かした地域的・社会的課題への対応を通じ、新たな価値の創造を目指す事業で、以下のいずれかにあてはまる事業に助成
- ①ジュニア育成支援事業 子どもたちの文化活動を支援する活動
- ②文化団体育成強化事業 団体のレベルアップを図る活動
- ③地域文化創造支援事業 文化を切り口に地域を元気にする活動
- ・対象分野
②・・・音楽、美術、生活文化、舞台芸術、建築、工芸、デザイン、ファッション、写真、文芸・文学、映像、歴史、伝統芸能、文化財、食など
- ①、③・・・上記に加え、教育、福祉、地域活性化、国際交流、都市計画など
- ・対象者
②・・・岡山県内で文化・芸術活動を行う団体
- ①、③・・・主たる分野が文化・芸術でなくとも、文化・芸術をひとつの切り口として新たな価値を創造する活動を行おうとする団体
- ※いずれも任意団体、法人化していないNPOや実行委員会も可。個人での活動は対象外
- ・内容（助成事業費）・・・上限20万円（助成対象経費の1/2）
会場費、出演費・謝金、文芸・音楽費、舞台費、旅費交通費、印刷宣伝費、通信運搬費、催事保険料、記録費、消耗品費など
- ・助成件数・・・合計10団体程度、令和4年度採択件数10件（①2件、②1件、③7件）
- ・助成期間・・・令和4年4月1日～令和5年3月15日
- ・評価体制・・・有識者による選考委員会
- ・相談体制・・・おかやま文化芸術アソシエイツPC、POなど

マイニングおかやま 活用実践モデル事業助成（令和3年度より実施）

令和4年度予算 128万円

- ・助成目的
岡山県を拠点に活動するアーティストを地域の貴重な文化資源として可視化し、アーティスト活動の活性化に繋げていただくためのプラットフォーム「マイニングおかやま」を活用し、おかやま文化芸術活動相談窓口寄せられた相談の中から、公益性が高く文化芸術の社会的価値を具現化するに相応しい事業をモデル事業として採択し助成
- ・対象分野
音楽、美術、生活文化、舞台芸術、建築、工芸、デザイン、ファッション、写真、文芸・文学、映像、歴史、伝統芸能、文化財、食など
- ・内容（助成事業費）・・・会場費、出演費・謝金、文芸・音楽費、舞台費、旅費交通費、印刷宣伝費、通信運搬費、催事保険料、記録費、消耗品費など
- ・助成件数・・・令和4年度採択件数3件（11月現在）
- ・助成期間・・・令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・評価体制・相談体制・・・おかやま文化芸術アソシエイツPC、POなど

【調査研究事業】

令和4年度予算 316万円

-series-

ヒト・コト・場所

(平成29年度～)

- ・県内の文化芸術資源を発掘、再評価、活用するための調査研究
- ・プログラム・コーディネーターとともに、県内のちょっと気になるヒト・コト・場所を訪ね、コラム形式でWEBにて不定期掲載



ヒト・コト・場所で取り上げた県内の文化資源

公式YouTube OKAYAMA CULTURE V

(令和2年度～)

- ・おかやまの文化芸術の“楽しい”を紹介する映像コンテンツのプラットフォーム
- ・アソシエイツで作成する様々な映像コンテンツのほか、県内で活躍する多様な主体の文化芸術活動の様子を随時公開している。
- ・コンテンツ数45 (令和4年11月現在)



マイニングおかやま

(令和3年度～)

- ・岡山県を拠点に活動するアーティストを地域の貴重な文化資源として可視化し、アーティスト活動の活性化に繋げていただくためのプラットフォーム。次の3つのコンテンツからなる。



①文化芸術マイニングリレー

好きからはじまるリレー形式のインタビュー。紹介者は自らがマイナー（採掘者）となり、今、自分の中で一番紹介したいと思う岡山県ゆかりの文化芸術関係者をジュエル（宝石）として紹介していく。

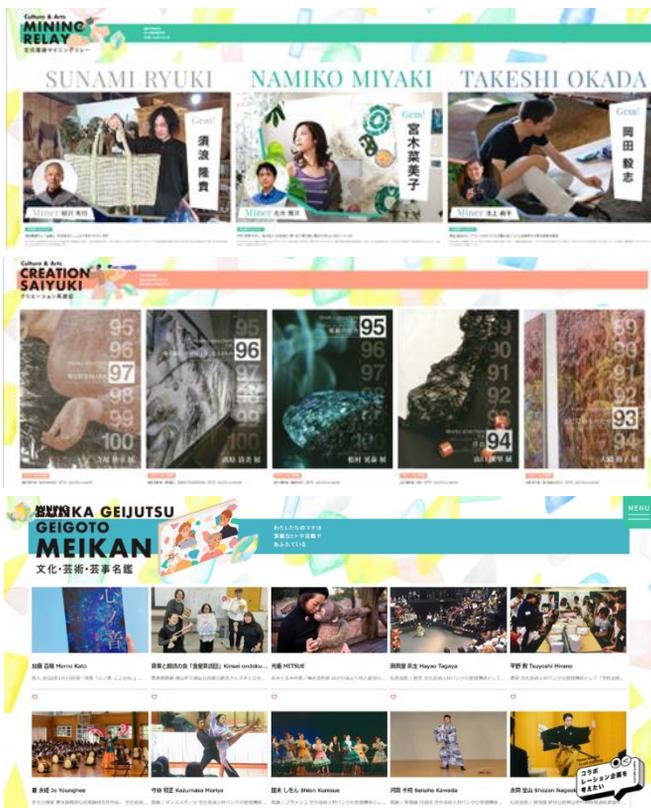
②クリエイション再遊記

アーカイブされた作品と人に再び目を向ける。県内の文化施設が作成し保管している、展覧会図録や展示映像、舞台写真やポスター、チラシなどを見逃し配信のイメージで再掲していく。令和3～4年度は、岡山県天神山文化プラザの主催事業である天プラセレクション第1回展から第100回記念展までの図録を公開。

③文化・芸術・芸事名鑑

県内で文化芸術活動をする方なら誰でも登録できるデータベース。個人のみならず団体も登録可。登録数184件 (令和4年11月現在)

OKAYAMA CULTURE V コンテンツの一部



マイニングおかやまの採掘ツール

【研修事業】

令和4年度予算 16万円

アートマネジメント研修 (平成29年度より実施)

- ・これまでに10回実施
- ・地域の文化芸術を支える側の人材育成を目的として文化関係公益法人や文化施設等の職員を対象とした情報交換会に付随して年2回実施。
- ・対面とオンラインのハイブリッドで実施し、一般の参加も可能

【相談支援事業】

令和4年度予算 36万円

おかやま文化芸術活動相談窓口

(文化連盟では従前より実施)

- ・文化芸術活動を行う個人、団体を対象とした専門の相談窓口。
- 電話、FAX、メール、問合せフォームで受付
- ・令和3年度相談件数 102件



【制作事業】

令和4年度予算 946万円



文化芸術交流実験室

(平成29年度より実施)

- ・これまでにvol.40まで実施
- ・調査研究事業の過程で得られる新たな情報や人材データをもとにして、文化・芸術と他分野との連携による新たな取り組みの提案と、ソーシャルインクルージョンの視点に基づくレクチャーとワークショップを定期的開催し、県内の人材や文化資源の領域横断を誘発する出会いの場の創出とネットワーク構築を目指す

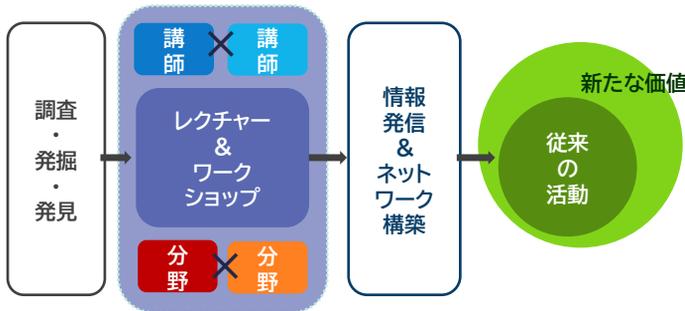
「訪問実験室！文化芸術が生まれてくる現場」

(令和2年度より実施)

- ・これまでに5本をリリース
- ・コロナ禍で対面での実験室開催が難しい状況を受けて生まれた映像配信による取り組み。文化芸術が日々生み出される場所と、そこで創作や生活をしている表現者に会いに出かけ、日頃私たちが足を踏み入れることの出来ないプライベートな現場をレポート

おかやま県民文化祭 **これがOKAYAMA！** プログラム (令和元年度より実施)

- ・おかやま県民文化祭の象徴的事業として、毎年地域(備前、備中、美作)とテーマを変えながら、地域の文化・芸術資源を活用し展開する事業や新たな価値を再発見し楽しみ方を提案する事業を企画運営している。



文化芸術交流実験室のイメージ



文化芸術交流実験室の様子



訪問実験室サムネイル

【情報発信】

- ・ <https://o-bunren.jp/associates/>
- ・ Facebook <https://www.facebook.com/o.bun.ren/>
- ・ YouTube OKAYAMA CULTURE V
- ・ Twitter @o_bunren
- ・ Instagram @okayamabunka

発行物

- ・ おかやま文化芸術アソシエイツ調査研究事業「文化芸術交流実験室」報告書
- ・ おかやま県民文化祭 **これがOKAYAMA！** プログラム冊子



【他機関との連携】

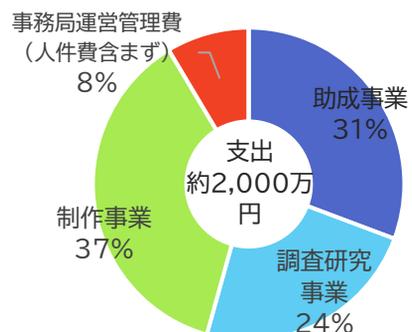
行政機関等

- ・ **NPO活動官民合同資金調達説明会&相談会**
(文化連盟として平成28年度より実施)
行政、福祉、共同募金、NPOセンター、コミュニティ財団など、官民合同、分野横断で年間3～5回実施

公益財団等

- ・ **県内文化関係公益法人等情報交換会**
(文化連盟として平成21年度より実施)
地域の文化力の向上を目的として、文化関係公益法人や文化施設等の職員による情報交換会を年2回実施

【収支】 (令和3年度決算額) 文化連盟予算のうち、アソシエイツ事業に係るものを計上しています。



【組織形態】

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団内に設置

【構成員】 令和4年度

アドバイザー（非常勤） 三浦宏樹

【自己紹介】

- ・ アーツ・コンソーシアム大分は、大分県長期総合計画の柱の一つである「創造県おおいた」政策の推進体制を構築すべく、2016年6月に、大分県、大分県立芸術文化短期大学、（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団（以下、当財団）の3者からなるコンソーシアム（共同事業体）型の組織として発足（事務局を当財団内に設置）。
- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック以降をみすえ、サステナブル（持続可能）な芸術文化体制の確立を図ることを目的に、2016～2018年度にかけて、芸術文化振興施策の調査・研究、アートプロジェクトの評価方法の調査・研究、アートマネジメント人材の育成に関する取り組みを実施。その成果は、3か年の報告書（特に3年目に発行された「文化と評価ハンドブック」）にまとめられている。
- ・ 2019年度からは、アーツ・コンソーシアム大分 事務局長であった三浦宏樹（現・大分経済同友会 調査部長）を当財団のアドバイザーとする体制に移行して、財団が指定管理を行う県立総合文化センター・県立美術館の主催事業や、県内アートプロジェクトの事業評価をサポートする仕組みを構築した。
- ・ なお、アドバイザーが所属する大分経済同友会は2010年度より、大分県内における創造都市実現やカルチャーツーリズム（文化観光）推進をめざした活動を行っている。アドバイザーは当時から同会に所属して、当該テーマに関する調査提言活動を継続。近年では、食文化創造都市をめざす白杵市の取り組みを支援し、2021年11月に白杵市のユネスコ創造都市ネットワーク加盟が実現した。また、2020年10月には、カルチャーツーリズムを核としたDESTINATIONキャンペーン（JRグループと地域が連携した観光誘客キャンペーン）の実施を県に提言し、2024年春の開催が決定（福岡県との共同開催）。

【沿革】

2016年

- ・ 大分県芸術文化スポーツ振興財団（以下、当財団）内に事務局を設置（6月）
- ・ 「平成28年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書～創造県おおいたの推進体制構築に向けて～」発行（3月）

2017年

- ・ 「平成29年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書～クリエイティブな文化と評価へ～」発行（3月）

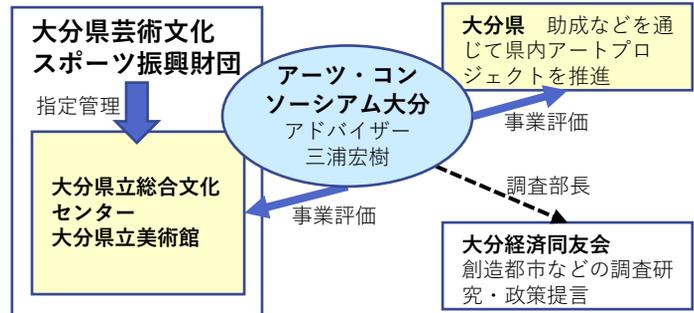
2018年

- ・ 「平成30年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書 文化と評価ハンドブック」発行（3月）

2019年～

- ・ 当財団（県立総合文化センター、県立美術館）事業のファンドレイジングに際して事業評価を担当
- ・ 混浴温泉世界実行委員会事業（別府市内を会場とする芸術祭事業）など、大分県関連のアートプロジェクトの事業評価を担当（当財団の予算とは別枠）
- ・ アーツカウンシル・ネットワーク 初代幹事（2019～2021年度）

【組織図】



【ミッション】 評価機能で「創造県おおいた」を推進

- ・ 芸術文化の持つ創造性を教育・産業・福祉など様々な分野の社会的・経済的課題への対応に活用し、地域活性化を図る県政策「創造県おおいた」の推進を、事業評価機能の面から下支えする。

【ビジョン】 「創造県おおいた」の実現

- ・ 宇佐・国東を中心とする神仏習合、大友宗麟時代の南蛮文化など、異文化を積極的に受け入れる進取の気風に富んだ歴史的土壌の上に立ち、一人ひとりが創造的であるとともに、互いの価値を認め合うさらに幅広い共生風土の醸成と、産業や文化などさまざまな分野で常に活力の溢れる社会を実現する。

【連絡先】（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団
電話 097-533-4011 メールアドレス miura@emo.or.jp

【所在地】 大分市高砂町2番33号 iichiko総合文化センター内

【担当者】 アドバイザー（非常勤） 三浦宏樹

【調査研究事業】

- 「アート・コンソーシアム大分構築計画実績報告書」の作成（「情報発信」欄を参照）



- (左) 「平成30年度アート・コンソーシアム大分構築計画実績報告書 文化と評価ハンドブック」
- (右) 事業評価 普及用パンフレット「アートイベントを継続するために」

【事業評価】

- 大分県芸術文化スポーツ振興財団が採択を受けた「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」などの評価をサポート（2018年度～）
- 「混浴温泉世界実行委員会 事業報告書」の事業評価パートを担当（2016年度～）
- 竹田市の芸術祭事業「TAKETA ART CULTURE」の事業評価を担当（2016～2018年度）（「情報発信」欄を参照）

【他機関との連携】

行政機関

● 県関連

- 大分県関連のアートプロジェクトの事業評価を担当（企画振興部 芸術文化スポーツ振興課）
- 「大分サステナブル・ガストロノミー推進協議会」事務局メンバーに就任（中部振興局）
- 『若者の県内就職促進のためのWEBマガジン「オオイタカテ！」編成会議』委員に就任（商工観光労働部 雇用労働政策課）

● 市町村関連

- 「混浴温泉世界実行委員会」実行委員に就任（別府市）
- 「大分市文化・芸術振興計画推進委員会」委員に就任（大分市）
- 「大分市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」委員に就任（大分市）
- 「臼杵食文化創造都市推進協議会」ワーキンググループ・メンバーに就任（臼杵市）

企業

- 大分経済同友会 調査部長として、大分県内における創造都市実現を目的とする同会クリエイティブ大分委員会の活動などをサポート

文化芸術団体

- NPO法人BEPPU PROJECT（混浴温泉世界実行委員会 事務局）と連携して、バランス・スコアカードによる事業評価・戦略経営支援システムを構築し、定量・定性面での事業効果の把握と事業改善を継続
- 『フォーラム「東アジア文化都市の挑戦」実行委員会』事務局メンバーに就任（2022年）

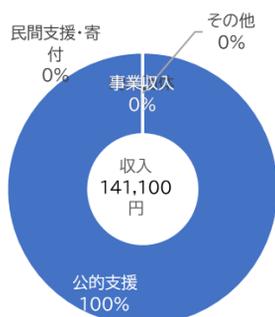
その他

- 上記の委員会活動などを通じて、大分県立芸術文化短期大学をはじめとする大学とのネットワークを継続

【情報発信】

- 「アート・コンソーシアム大分構築計画実績報告書」（大分県サイト掲載）
<https://www.pref.oita.jp/soshiki/10940/artconsortium1.html>
- 大分県芸術文化スポーツ振興財団が採択を受けた「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」などの評価（日本芸術文化振興会サイト掲載）
<https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/hyouka/>
- 「混浴温泉世界実行委員会 事業報告書」事業評価パート（BEPPU PROJECTサイト掲載）
<https://www.beppuproject.com/press>
- 竹田市の芸術祭事業「TAKETA ART CULTURE」評価（上記「アート・コンソーシアム大分構築計画実績報告書」に掲載）
- 国内外の創造都市や芸術祭に関する視察報告書・提言書（大分経済同友会サイト掲載）
<http://www.oita-doyukai.jp/teigen/>
- 日本政策投資銀行編『アートの創造性が地域をひらく 「創造県おおいた」の先進的戦略』（共著・ダイヤモンド社）

【収支】（令和3年度決算額）



【組織形態】

公益財団法人宮崎県芸術文化協会内に設置。

【構成員】令和4年度

プログラムディレクター（常勤） 山森達也
プログラムオフィサー（常勤） 中山真紀

【自己紹介】

みやざきの新しいゆたかさとは、人々の創造性（Creativity）に基づく、自由で自発的な取り組みによる文化芸術活動であり、それが他分野へ相互に刺激を与えあう、社会の触媒としてアーツカウンシルみやざきは機能する。

1. 文化が暮らしの中に息づき、あらゆる人々が文化に親しむために、SDGsに基づく、全ての人を取りこぼさない、他分野への連携によるネットワークを形成する
2. 文化を担う人材が育ち、交流し、連携し合うために、文化芸術に携わる人材育成を行い、これらの人材を県内外に発信し、これらの人材と、文化事業に対する支援を行う
3. 文化の力で地域の個性と魅力を発信し、発展するために、文化多元主義に基づき、県内のそれぞれの独立した文化と歴史を尊重し、それを文化政策に反映していくための、シンクタンク業務を行う

【沿革】

2019年

- ・公益財団法人宮崎県芸術文化協会内に設置。杉浦幹男PD（非常勤）と山森達也PO（常勤）の2人体制でスタート
- ・令和元年度文化庁「障害者による文化芸術活動推進事業」採択事業として「天鈿女命育成講座」を実施

2020年

- ・宮崎県「新型コロナウイルス感染拡大防止対策モデル事業」を実施
- ・令和2年度文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」採択事業として「Reverse Outreaches」を実施

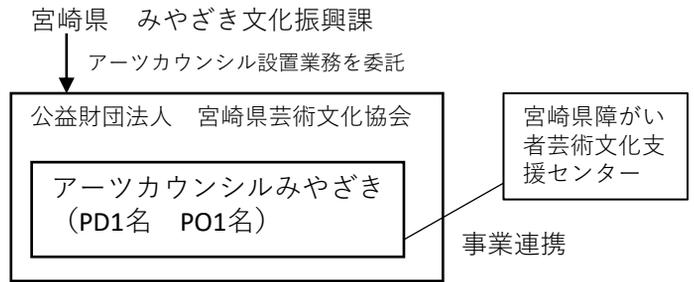
2021年

- ・任期満了により杉浦PDが退任。新PDに山森が着任し、新プログラムオフィサーとして中山真紀を採用
- ・文化庁創造拠点形成事業として「短歌みやざき事業」を実施
- ・「ひなたにこたつ」実施

2022年

- ・宮崎県より新規事業「ひなたの文化活動推進事業」を受託し、助成事業とパイロット事業を実施

【組織図】



【連絡先】

メール：info@miyazakigeibun.jp
電話：0985-38-1150 FAX：0985-31-2782

【所在地】

〒880-0804 宮崎県宮崎市宮田町3番46号
県庁9号館3階

【担当者】中山真紀

【ロゴ】



【ミッション】

- ・文化芸術のよろず相談所

【ビジョン】

- ・社会包摂は文化芸術の最先端である

【助成事業】（総予算）900万円

- ・助成目的：宮崎県内の芸術文化振興のため
- ・対象分野：文化芸術活動全般
- ・内容（助成事業費）900万円
- ・助成件数：29件
- ・助成期間：4月1日から翌年3月31日まで
- ・評価体制：PD、POによる内部評価
- ・相談体制：PD、POの2名

【制作事業】

特になし

【運営事業】

特になし



【調査研究事業】

特になし

【他機関との連携】

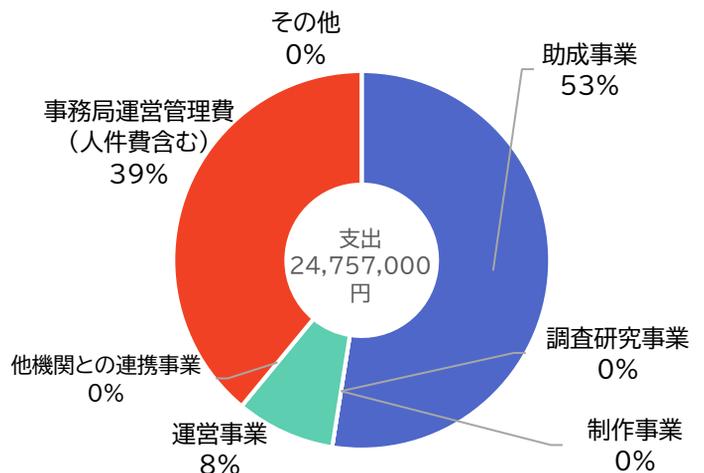
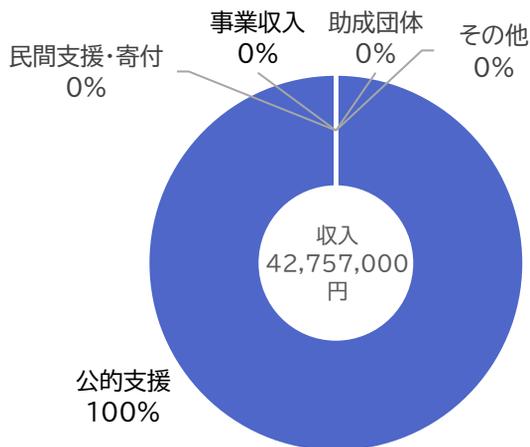
行政機関

- ・宮崎県障がい者芸術文化支援センター

【情報発信】

- ・ <https://www.miyazakigeibun.jp/artscouncil-miyazaki/>
- ・ Facebook
- <https://www.facebook.com/artsmiyazaki/>
- ・ YouTube アーツカウンシルみやざき
- ・ Twitter @tegearts
- ・ Instagram @artsmiyazaki

【収支】（令和3年度決算額）



【組織形態】（法人格など）

公益財団法人沖縄県文化振興会内に「沖縄版アーツカウンシル機能」を導入し、沖縄県の委託事業として、県内の文化芸術団体に補助金を通じて支援を行う。

【構成員】

令和4年度（CPO・POは非常勤）
 チーフプログラムオフィサー： 上地 里佳
 プログラムオフィサー： 小川 恵祐
 具志 幸大
 橋口知佳子
 八巻 真哉
 沖縄県文化振興会 文化専門員（常勤）：
 池畑 陽介

【沿革】

2012年

（公財）沖縄県文化振興会において、文化振興の主要事業として一括交付金を活用した「沖縄文化活性化・創造発信支援事業」が5ヵ年計画でスタート。

2017年

「沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業」が活性化・創造発信支援事業の後継事業として開始され、令和3（2021）年度まで実施した。

2022年

環境形成推進事業の後継事業として、「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」が開始。令和8（2026）年度までの継続を予定している。

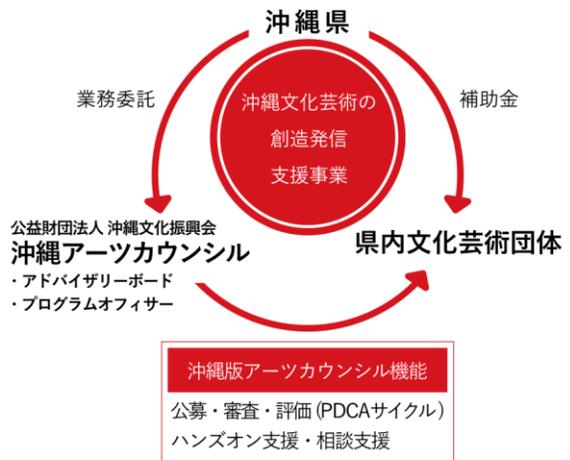
【自己紹介】

沖縄アーツカウンシルは、文化芸術分野の専門家で構成されるアドバイザリーボードを設置し、寄り添い型のハンズオン支援を行うプログラムオフィサーを配置しています。アドバイザリーボードは、事業の選定及び評価・検証、プログラムオフィサーはハンズオン支援や相談業務のほか、県内の文化芸術の活動状況を踏まえた助成制度の構築を行っています。

〈沖縄アーツカウンシルの機能〉*令和4年度

- ・文化芸術事業者への支援：補助事業者へのハンズオン支援、文化芸術をはじめとした事業者向け「ぶんかとおほじょきんそうだん会」の定期的な開催
- ・文化芸術関連事業者や活動調査、担い手育成のためのプログラム構築
- ・情報発信：メールニュース配信、各種助成、沖縄アーツカウンシル支援事業や補助金情報の情報発信、セミナーやシンポジウムの開催
- ・検証・改善：アドバイザリーボードによる提言や助言、PDCAサイクルに基づく補助事業の検証・改善

【組織図】



【ミッション】

沖縄県の多様で豊かな文化芸術を次代に引き継ぐとともに、県民が身近に文化芸術に親しめる環境を創出し、文化芸術活動者に活動の場を提供することで、本県の文化資源等を活用した文化芸術活動の持続的発展を図る。

【ビジョン】

かつて琉球の時代に人と文化の架け橋となった先人の万国津梁（ばんこくしんりょう）の精神を受け継ぎながら、守り育ててきた文化芸術を次代に引き継ぐとともに、これからの時代にふさわしい新たな文化芸術を創造していくこと

【連絡先】 098-987-0926

【所在地】 〒901-0152

沖縄県那覇市字小禄1831-1
 沖縄産業支援センター6階605

【担当者】 小川恵祐

【ロゴ】



【助成事業】（総予算）

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

・目的：本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることを目的とする

・対象事業

区分1：文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取り組み

区分2：文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み

区分3：文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取り組み

・補助対象、補助上限金額

①団体：上限500万円

②団体（スタートアップ支援枠）：上限100万円

③個人事業主：上限100万円

・採択件数

令和4年度採択件数：22件

・補助期間

①団体：交付決定日～令和5年2月28日

②団体（スタートアップ支援枠）：交付決定日～令和5年2月28日

③個人事業主：交付決定日～令和4年12月31日

・評価、審査体制

文化振興会による要件及び資格審査の上、文化振興会が設置するアドバイザリーボードにより実施。アドバイザリーボードは、応募書類の書面審査及び応募者プレゼンテーションを踏まえて合議審査を行う。審査結果を踏まえ、文化振興会が補助対象となる事業を採択する。

・相談体制

沖縄アーツカウンシルプログラムオフィサー

【制作事業】（期間、総予算）

・ぶんかとおぼよきんそうだん会（毎月20日開催）

・セミナー、シンポジウム等の開催（年1～2回）

〈令和4年度開催分〉

・フォーラム「アーツカウンシルってなんだろう？
－沖縄アーツカウンシルの取り組み－」

・フォーラム「地域に向き合い、地域と育む
－文化資源活用とその持続的な取り組み－」

【情報発信】

・公式ホームページ <https://www.okicul-pr.jp/oac/>

・Facebook <https://www.facebook.com/okinawa.arts/>

・Instagram @oki_arts_council

・YouTube 沖縄アーツカウンシル

発行物

・沖縄アーツカウンシル メールニュース（電子発行）

・令和4年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業採択事業一覧

・支援事例集（平成30年度～令和3年度）

【他機関との連携】

行政機関

・沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課（所管課）

▼採択事業一覧リーフレット



▼支援事例集



【組織形態】

前橋市役所内文化国際課内に審議会として設置

【構成員】 令和4年度

(審議会委員)

統括責任者	友岡 邦之
副責任者	中島 信之
委員	奥田 雄一郎
	郡司 明子
	野本 文幸
	藤井 浩

(調査時に適宜依頼)

リサーチャー	新井 浄
	上原 なほ子
	郡司 厚太
	笹木 理恵
	小池 亜紀
	秋元 秀賢
	宇津木信之介
	小林 みどり

事務局
前橋市役所 文化国際課員 4名

【沿革】

2018年

- ・前橋市役所文化国際課内に設置。
- ・年5回の委員会議及び年2回の文化芸術市民会議を開催
- ・市内で開催されている文化事業（財源に市費を活用している事業）に対して調査を実施。

2020年

- ・新型コロナウイルス感染症による影響長期化に伴い、文化芸術団体・個人の継続的な活動を支援するため文化芸術活動奨励金を交付。

2021年

- ・前橋市文化振興条例に基づく「前橋市文化振興基本方針」の策定にあたり、構成内容などについて審議を行う。

2022年

- ・2回目となる文化芸術活動奨励金を交付。
- ・同制度に対してガバメント型クラウドファンディング（ふるさと納税）制度の利用。

【ミッション】

前橋市における文化芸術活動について、市民・芸術家・行政の関係をより良いものにしていくことに貢献する。

【自己紹介】

前橋市の文化行政を推進する新たな仕組みとして、文化行政の専門性、透明性及び公平性を確保することを目的に設立しました。アーツカウンシル前橋は、文化芸術活動に取り組む方々と、文化芸術を楽しむ市民のみならずとの出会いをより魅力的なものにしていくために、行政による支援を改善していくお手伝いをしています。

現在は市内の文化芸術事業を調査、分析、評価すること及び文化芸術について市民が自由かつ率直な意見交換を行う場を提供するため以下のような取り組みを行っています。

- ・文化芸術事業の現場の状況を把握するためのリサーチ業務。
- ・市民と芸術家の声をアーツカウンシル前橋と行政とが受け止めるための市民会議の開催。
- ・上記の業務遂行に関連する調査および他機関との情報交換・連携

【ビジョン】

ミッションを遂行するために、以下の視点を柱に据えた取組の推進

- 「支え・創る」視点
本市の文化芸術活動を支える皆様へ、奨励金の交付や助言などの支援を通じて、新たな分野への挑戦、創造的な活動を支え、活かすことにより前橋の新しい文化を作っていく。
- 「つながる・つなげる」視点
文化芸術事業の調査、分析、評価や文化芸術についての意見交換の場を提供することで、分野（ジャンル）や規模、活動者の多様性を認識し、受け入れることにより生まれるつながりを一人でも多くの市民に広げていく。

【連絡先】

アーツカウンシル前橋
電話 027-898-6522
メールアドレス bunka@city.maebashi.gunma.jp

【所在地】

群馬県前橋市大手町二丁目12-1
前橋市役所 文化国際課内

【担当者】 柰三 美苗



【助成事業】（令和4年度実施）

令和4年度予算 600,000円

●アーツカウンシル前橋文化芸術活動奨励金

・助成目的

前橋市内の文化芸術団体・個人の継続的な活動を支援することで、文化芸術の力を活用して、まちづくりなどの幅広い分野における社会課題の解決につなげるため、前橋市で行う芸術文化活動に対して奨励金を交付する。

・対象分野

文学や音楽、美術、写真、演劇、舞踏などの「芸術」のほか、文化芸術基本法第8条から12条に列挙されている幅広い分野での文化芸術活動

・内容（助成事業費）

出演料、講師謝礼、企画料、調査にかかる経費（宿泊費・交通費など）、作品制作にかかる資材費・機材費、会場使用料、拠点賃料（住居を兼ねる場合を除く）、印刷費、通信費、保険料、著作権料、当日運営費（団体構成員以外の人件費）、機材購入費、その他制作活動にあたって必要な経費として認められるもの。

・助成件数

令和4年度採択件数 5件（令和4年11月25日審査会）

・助成総額

440,000円

・助成期間

交付決定日～令和5年3月15日

・評価体制

審査会：アーツカウンシル前橋委員による審査

交付決定後（事業実施期間中）：アーツカウンシル前橋リサーチャーによる調査

・その他

本事業ではガバメント型クラウドファンディングの制度を活用、財源として市内外から広く寄付を集めて実施。

【事業】

●アーツカウンシル前橋審議会（委員及び事務局による）

・年に5回程度の開催

【主な審議内容】

- 年度のリサーチ業務を実施する事業の選定やリサーチ結果について
- 年2回開催される文化芸術市民会議に関する事前調整及び開催結果の共有
- リサーチャーの選考 等

●文化芸術市民会議（市民・委員・事務局）

・年2回開催（令和4年11月時点で第9回まで開催）

市民と委員との意見交換のほか、ゲストスピーカーを呼んで講演や統括責任者との対談などを行っている。

ゲストスピーカーは、市内で活動している芸術関係者及び先進地区の文化芸術関係者

【これまでの主なテーマ】

- 「アーツカウンシル前橋について」
市民及び委員との意見交換会を実施
- 「ヤーギンズから見た街の景色～やりたいことの続け方～」
- 「アーツカウンシル新潟の取り組みとアーツカウンシル前橋の今後の可能性」
- 「ウィズコロナ時代における文化芸術活動の取り組み」
- 「前橋に再び映画文化を根づかせるために」
- 「横浜市の文化政策を読み解く3つのキーワード」
- 「前橋文学館の改革コンセプト～これまでとこれから～」
- 「文化芸術に必要な支援とは～支援の現状と課題～」



2018.5.25 第1回審議会は屋外を会場に開催。
前橋市長も出席。



2018.7.21 第1回文化芸術市民会議。
初回の意見交換会は、全員が輪になり意見交換



2019.8.10 第3回文化芸術市民会議
市民会議では初めてゲストスピーカーを招く



2022.2.19 第8回文化芸術市民会議。
 コロナ禍では、感染対策を行ったうえでオンライン開催。

【調査研究事業】

2018年度からリサーチャーを募集。アーツカウンシル前橋独自に文化芸術事業の調査を行っている。一つの事業に対し、2~3名程度のリサーチャーが調査に参加。

- 2018年 5件
- 2019年 18件
- 2020年 6件
- 2021年 6件
- 2022年 10件（予定）

【他機関との連携】

行政機関

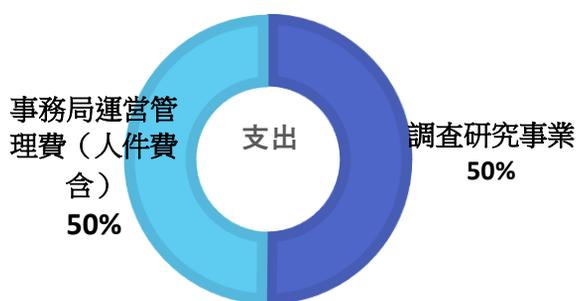
- ・ 前橋市文化スポーツ観光部文化国際課
 （所管課）

【情報発信】

- ・ Facebook

<https://www.facebook.com/%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%84%E3%82%AB%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%82%B7%E3%83%AB%E5%89%8D%E6%A9%8B-1335767086442788/>

【収支】（令和3年度決算額）



【沿革】

2022年

- ・（公財）さいたま市文化振興事業団内にアーツカウンシル課を設置（準備期間4/1～9/30）
- ・アーツカウンシルさいたま開設（10/1～）

【自己紹介】

創設趣旨

さいたま市では、市民が暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会を増やし、市民生活の多様な場面で創造活動が行われる環境を整備するとともに、文化芸術を通じて将来のさいたま市の姿を考えることを目的に「アーツカウンシルさいたま」を創設します。

実施事業

①文化芸術活動に対する支援の充実

市民等が文化芸術に親しみ、あるいは、文化芸術を創造するための環境の整備とその基盤の強化を図るとともに、専門的な観点からの相談、助言、斡旋等を行うことで、多様で特色のある文化芸術活動の創造、継続及び発展を図ることを目的に、以下の事業を行います。

- * 文化芸術活動に対する助成事業
助成金の交付、伴走支援など
- * 生活と文化芸術活動の橋渡し事業
相談窓口、情報スペースなど
- * 文化芸術に関わる人材の育成事業
アートマネジメント講座など

②市民が文化芸術活動に触れる機会の拡大

これまでの取組を通じて創出された市民等による文化芸術活動を継続し、さらなる充実を図ることで、活動の発展につなげます。また、さいたま市の特色ある文化資源を活用した取組により、さいたま市の魅力を国内外に発信し、地域の活性化につなげます。これらを目的として、以下の事業を行います。

- * 国際芸術祭等により創出されたレガシー事業
市民サポーター事業、さいたまアーツセンタープロジェクトなど
- * さいたま文化発信プロジェクト
「盆栽・人形・鉄道・漫画」の魅力発信事業など
- * 創作活動と発表の場の提供事業
アーティスト・イン・レジデンスなど

③文化芸術に関わる調査研究

市内外の最新の動向や、地域の文化芸術資源に関する情報等について調査研究を行うとともに、支援結果の分析、評価及び改善を行うことで、地域の実情に応じた施策の展開を図るとともに、その成果を活かして、さいたま市の政策形成に寄与することを目的に、以下の事業を行います。

- * 文化芸術に関わる調査・研究事業
市内アート資源調査など
- * 文化芸術に関わる提言
さいたま市の文化政策に対する提言

【ビジョン】

あらゆる人に、文化芸術を創造・享受する機会を提供し、心豊かに生活できるまちを創出する

【ミッション】

市民が暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会を増やします

アーツカウンシルさいたまは、文化芸術が常に市民生活と共存する状態を目指します。多様な主体への支援や橋渡し、人材育成などを通じて、あらゆる人が文化芸術にアクセスできる社会を目指します。また、文化芸術が、心豊かな生活を実現するための基盤となり、市民と文化芸術の接点が少しでも増えるよう取組を進めます。

文化芸術の新たな創造環境を創出します

アーツカウンシルさいたまは、鑑賞にとどまらない文化芸術との付き合い方を提案し、市民生活の多様な場面で創造活動が行われる環境を整備することで、さまざまな交流を生み出し、都市の創造性を高めます。

文化芸術を通じて、将来のさいたま市を考えます

アーツカウンシルさいたまは、市内に散在する文化芸術資源を収集し、多様な視座から文脈を見だし、新たな価値創造のきっかけをつくります。そして、市民生活と文化芸術を起点とした、将来のさいたま市の姿を考えていきます。

【ロゴ】

球体と影で「アーツカウンシルさいたま」が、求心的に文化芸術活動を実現させることを表しています。また、市の花「サクラソウ」にヒントを得た緑系以外の市を象徴する色で、文化芸術を支える組織であることを示しています。

そんなアーツカウンシルとしてふさわしい中立的な属性を保つため、ロゴにはニュートラルなゴシックフォントを使用しています。



【組織形態】

公益財団法人さいたま市文化振興事業団内にアーツカウンシル課として事務局設置

【構成員】令和4年度

機構長（常勤）	小暮 哲郎
プログラムディレクター（非常勤）	森 隆一郎
プログラムオフィサー（非常勤）	三浦 匡史
プログラムコーディネーター（常勤）	伊藤 崇 大須賀 有希

【連絡先】

アーツカウンシルさいたま
電話 048-767-5350
FAX 048-767-5351
メールアドレス artscouncil@saitama-culture.jp

【所在地】

埼玉県さいたま市南区根岸1-7-1

【担当者】

伊藤 崇（プログラムコーディネーター）

【プログラムディレクター】

森 隆一郎
合同会社渚と代表

90年代より江東区文化センターや、ティアラこうとうで企画制作を担当、2002年アサヒ・アート・フェスティバル立ち上げに参画。

2007年いわき芸術文化交流館アリオスマーケティングマネージャー、2012年アーツカウンシル東京広報調整担当課長。

2018年独立、東京藝術大学や各地の文化財団・企業などで企画・制作・調査研究・研修・広報など多面的に活動。

2019～20年のさいたま市文化芸術都市創造審議会では副会長を務めた。

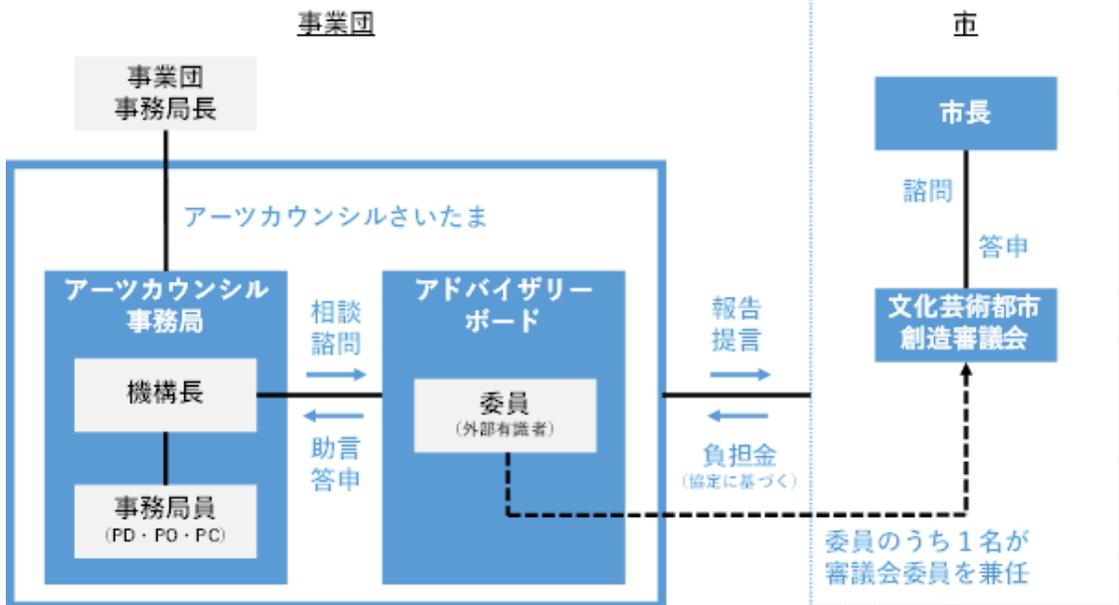
【プログラムオフィサー】

三浦 匡史
特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま
理事・事務局長
個人事務所 地域生活デザイン代表

市民参加を促進するためのワークショップの開催、シンポジウムの企画・運営、さまざまな市民団体や個人とのネットワークを形成するためのつなぎ役として活躍し、市民と行政を仲立ちするまちづくりNPOの活動を行なっている。

さいたまトリエンナーレ2016ではプロジェクトディレクターを、さいたま国際芸術祭2020ではキュレーターを務めた。

【組織図】



アドバイザーボード

- ・運営に関する相談等を行う、有識者組織を設置いたします。
- ・文化芸術活動の支援に関する方向性やアーツカウンシル取組内容のほか、市への政策提言等に対する助言を行っていく予定です。

事務局

- ・さいたま市文化振興事業団に設置。
- ・文化芸術に特に造詣が深く、今後の業務の中核を担うプログラム・ディレクターなどに有識者を迎え、支援方針の具体的な決定など専門性の高い運営を行います。

【アドバイザーボード委員】

・委員長：芹沢 高志 氏

P3 art and environment 統括ディレクター

「横浜トリエンナーレ2005」、「混浴温泉世界」、「さいたまトリエンナーレ2016」、さいたま国際芸術祭実行委員会参与など、地域のアートプロジェクトに関わってきた。2012年からは、デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長、神戸市企画調整局つなぐラボ地域活性化アドバイザーなどを歴任。現在はさいたま国際芸術祭2023プロデューサーを務める。

・石上 城行 氏

埼玉大学教育学部教授

1968年東京生まれ、東京藝術大学大学院修士課程彫刻専攻修了。学生時代より人物や家などをモチーフとする彫刻作品の制作をおこなってきた。2000年代からは、ワークショップやアートプロジェクトの企画運営など社会とアートをつなぐ取り組みに携わっている。

・小沢 剛 氏

東京藝術大学教授、美術家

1965年東京生まれ、埼玉在住。

国内外の国際展での出品や、美術館での個展多数。近年は、歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ね合わせ、物語を構築する「帰って来た」シリーズを制作。

第69回芸術選奨文部科学大臣賞受賞（2019年）。

・若林 朋子 氏

立教大学21世紀社会デザイン研究科 特任教授
プロジェクト・コーディネーター

英国で文化政策とアートマネジメントを学んだのち、企業メセナ協議会でプログラム・オフィサーとして企業が行う文化活動の推進と芸術・文化創造環境の整備に従事（1999～2013）。現在はフリーランスで、各種プログラムの企画やコーディネート、自治体の文化政策やNPO運営の支援などを行いつつ、社会人大学院の教員として、社会デザインの観点から文化や芸術の可能性を探る日々。各地のアーツカウンシルでの経験や学びを、それぞれに橋渡しできたらと願っている。

・小林 桂子 氏

日本工業大学先進工学部情報メディア工学科
准教授

比較的新しい芸術表現であるメディアアートを通じ、技術と社会との関係について研究している。展示会の企画制作や、メディアテクノロジーを理解し体験できるワークショップを展示や教育、医療の現場等で実施してきた。また、テクノロジーを用いた作品鑑賞支援にも取り組んでいる。岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）卒業後、NPO法人デジタルポケット理事、文化庁研究補佐員、日本芸術文化振興会基金部プログラムオフィサー（メディア芸術）を経て現職。

【文化芸術活動支援事業】

文化芸術活動に対する助成

- ・さいたま市文化芸術都市創造補助金
令和5年度実施に向け制度設計中。
- ・さいたま国際芸術祭2023公募プログラム
令和5年度実施に向け制度設計中。

生活と文化芸術活動の橋渡し（リエゾン活動）

- ・相談窓口
市民等の文化芸術活動団体や個人に対して、市内の文化芸術資源に関わる情報提供やマッチング等を行う窓口を開設。

<主な対象者>

市民等の文化芸術活動団体(アート、音楽等)、同活動の企業、商店街、イベントでまち起こしをしたい方、アーティスト、子ども対象の活動団体等

<情報提供例>

- * アート作品の展示スペース、ギャラリー
- * アートを媒介した地域コミュニティ活動、仲間づくり
- * 講座・体験プログラム・演奏会等の企画、参加
- * 商店街や公園広場等を使用したステージイベント企画、参加
- * 出演者のコーディネート(出演希望者、招聘者)

他、文化芸術活動を拡大したい、どこに相談すれば良いかわからない、等

<主な対応の事例>

大宮駅周辺で開催されるアートフルゆめまつりにおける一部企画の制作依頼を受け、さいたま文化発信プロジェクトの一環として盆栽をテーマとしたイベントを実施。



11/6
平成ひろばにて
開催



文化芸術に関わる人材の育成

- ・アートマネジメント講座等
令和5年度実施に向け企画中。

【文化芸術創造事業】

・市民サポーター事業

これまでの国際芸術祭で形成された市民サポーター活動に加えて、アートを媒介とした市民の新たな地域コミュニティ形成や、活動を促進するプロジェクト。



- ・さいたまアートセンタープロジェクト
さいたまゆかりのアーティストと共に文化芸術に親しむ市民参加型プログラム（アート講座、体験プログラム、演奏会等）



さいたま文化発信プロジェクト

- ・さいたま市の魅力発信事業
「盆栽」「漫画」「人形」「鉄道」をはじめとする、さいたま市の魅力ある文化資源を紹介するプロジェクト（講座、ワークショップ、イベント等）
令和4年度の実施事例であるアートフルゆめまつりの様子は、前掲参照。

創作活動と発表の場の提供事業

- ・アーティスト・イン・レジデンス
令和5年度以降の実施に向けて調査中。

【調査研究事業】

- ・アート資源調査市民参加型のリサーチプロジェクト（市内アートカフェ、造形制作所、ギャラリー等の調査及び公開。
公開場所：RaiBoC Hall 5階「情報発信コーナー」にてパネル展示中。



【他機関との連携】

行政機関

- ・さいたま市スポーツ文化局文化政策室（所管課）
- ・さいたま市中央区役所コミュニティ課（イベント連携）

企業

- ・大宮東口商店街連合会（イベント連携）
- ・中央デパート（広報連携）

その他

- ・跡見学園女子大学（インターンシップ受入）

【情報発信】

- ・ <https://saitama-culture.jp/aboutus/>
- ・ Twitter @artscouncilSITM

（さいたま国際芸術祭レガシー事業は下記アカウントにて発信）

- ・ <https://www.city.saitama.jp/004/005/001/004/index.html>
- ・ Facebook <https://www.facebook.com/artsaitama.sk>
- ・ YouTube [さいたま国際芸術祭](#)
- ・ Twitter @art_saitama
- ・ Instagram @artsaitama

【収支】（令和3年度決算額）

活動実績なし

【組織形態】（法人格など）

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団内の事業の一つとして実施。（横浜市文化観光局補助事業）

【構成員】令和4年度

プログラム・オフィサー（常勤）2名
 スタッフ 2名（うちアルバイト1名）
 （ほか財団担当理事1名、兼務管理職1名）

【自己紹介】

アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)は、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が運営する「芸術文化と社会を横断的に繋いでいくための中間支援」のプログラムです。横浜市の掲げる文化芸術創造都市施策の実現に向け、都心臨海部におけるアーティスト、クリエイター、企業、行政、大学、NPO、非営利団体等の創造の担い手が活動しやすい環境づくりを推進しています。

<アーツコミッション・ヨコハマ>

1：相談窓口

市民、行政、企業、クリエイター、アーティストなどの様々な相談に随時対応。マッチング、専門的助言、広報協力、ネットワーキング等、相談内容に沿って支援しています。

2：助成支援

クリエイター、若手アーティスト、文化芸術活動を行う個人や団体に資金支援。人材紹介、広報協力、専門家による助言など、年間通した伴走支援を行っています。

3：ネットワーキング

横浜市内の市民、企業、行政、クリエイター、アーティストなど多分野のネットワーキングにより、クリエイティブな活動を創発することを目指しています。

4：調査・研究

創造産業、助成、文化芸術活動等における調査。必要に応じて調査に基づいた提言を行います。

5：プロモーション

創造都市および創造限界拠点に関する情報発信。市内クリエイター情報の発信をしています。

7：企画・実施

実験的な取組みや先駆的なイベントの立ち上げを企画、立案、実施しています。

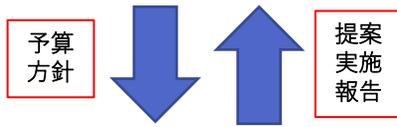
8：その他

社会的な動きによって生じる様々な文化プログラムや支援制度を、横浜市と協働で行っています。

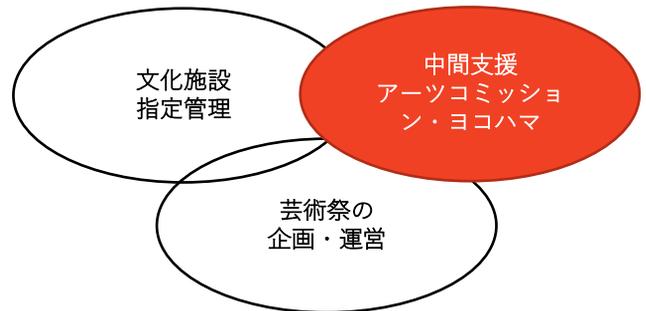
【組織図】

【横浜市文化観光局】

- ・文化振興課
- ・創造都市推進課
- ・文化プログラム推進課 等



【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】



【ミッション】

アートの力を活かすことにより横浜の魅力を高め、心豊かで活力に満ちた市民生活の実現を目指します。(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団の使命より)

【ビジョン】

市民の参加や協働のアート活動により新たな出会いの機会と場が生まれ「創発する都市」横浜が世界に拓かれます。(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団のビジョンより)

【連絡先】

アーツコミッション・ヨコハマ
 電話 045-221-0212
 メールアドレス acy@yaf.or.jp

【所在地】

横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階

【担当者】 杉崎栄介
 （プログラムオフィサー）



【沿革】

2007年7月15日

- ・(公財)横浜市芸術文化振興財団の事業としてスタート
- ・相談窓口「ACYラウンジ」の設置（相談窓口は～現在）
- ・横浜市内のアーティスト、クリエイターの情報登録制度「アートデータバンク」を開始
- ・アーティスト・イン・レジデンス事業開始
- ・リーフレットの発行、ホームページの開設

2008年

- ・助成3制度開始（芸術活動支援、アーティスト支援、事務所開設支援）
- ・「A.C.Y.マップ秋特別号」(日英二か国語)の発行
- ・アーティスト、クリエイターが育つ環境づくりに向けて、実験的なアートフェアの開催、ギャラリー誘致のためのヒアリング調査の実施
- ・若手・学生支援事業の開始

2009年

- ・関内外OPEN!開始（～現在）
- ・アートウェブマガジン「ヨコハマ創造界限」の発信

2010年

- ・芸術不動産リノベーション助成開始（～2016年）
- ・アート&カルチャーヨコハママップ
- ・創造都市横浜Twitterの開始

2011年

- ・TPAM（国際舞台芸術ミーティング）の共同開催
- ・創造活動助成「企業・団体による創造的事業部門」新設

2012年

- ・都市文化創造支援助成の開始
- ・中国・成都市のアーティスト・イン・レジデンス交流事業の開始（日本発）

2013年

- ・WEBマガジン「創造都市横浜」サイトの開設。
- ・附属SNS(Facebook)のスタート
- ・リノベーション推進事業 ドックヤード活用事業
- ・芸術不動産およびリノベーション推進のためのオーナー経営支援事業
- ・創造都市横浜アーティスト・クリエイターリストの作成

2014年

- ・ドックヤード活用事業として「BUKATSUDO」オープン
- ・デザイナー×地元企業 商品開発事業の実施

2016年

- ・クリエイティブ・チルドレンフェロシップ助成開始（2020年度名称変更）
- ・クリエイティブ・インクルージョン活動助成開始（～2021年度）
- ・AIRの情報集約事業の実施
- ・「横浜市クリエイターデータベース」の作成開始

2017年

- ・文化芸術創造都市プラットフォーム
「2059 FUTURE CAMP in YOKOHAMA」、実験事業調査、講座(全3回)の実施
- ・AIR情報ウェブサイトの作成
- ・「横浜市クリエイターデータベース」の開始（～現在）

2018年

- ・企業、行政、クリエイターらが参加するワークショップ「WE BRAND YOKOHAMA」のスタート（～現在）
- ・文化芸術創造都市プラットフォーム 中間報告会の実施
- ・アーツコミッション・ヨコハマ助成評価報告書の作成
- ・英国ホストタウン事業 クリエイティブ・スコットランドによるフォーラムとワークショップの実施

2019年

- ・ヨコハマ創造産業振興助成開始（～2021年）
- ・芸術創造特別支援事業 シンボルプログラム「コンパスヨコハマ」実施
- ・芸術創造特別支援事業 リーディングプログラム「ヨコハマートライフ」実施（～2020年）
- ・『創造都市横浜』特集号の発刊
- ・英国ホストタウン事業 クリエイティブ・ダンディによるフォーラム、ラウンドテーブルの実施

2020年

- ・U39アーティスト・フェロシップ助成（旧クリエイティブ・チルドレンフェロシップ助成）
- ・横浜の経済人・クリエイターとの共同企画「ハマの大喜利」開始（～現在）
- ・英国ホストタウン事業 スコットランド文化交流プログラム
- ・文化芸術創造都市横浜・臨時相談センター（YES!）の設置（～2021）

2021年

- ・YES! による、アーツマネジメント講座の実施（全5講座）
- ・音楽分野、舞台芸術分野の活動実態調査及びフォーラムの実施

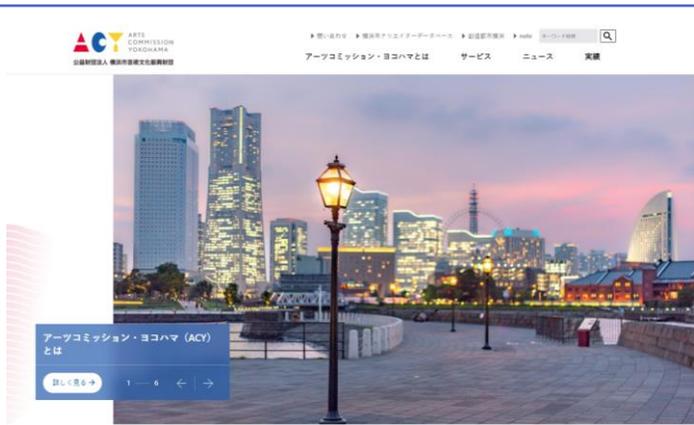
【助成事業】（令和4年度総予算 5,000,000円）

『U39アーティスト・フェローシップ』

- ・助成目的：次世代のアーティストのキャリア形成を支援する
- ・対象分野：美術、舞台芸術
- ・内容（助成事業費）：各人1,000,000円
- ・助成件数：5件 (<https://acy.yafjip.org/grants/2022/67623/#adopted>)
- ・助成期間：2022年4月1日～2023年2月28日
- ・評価体制：外部審査員5名
相馬 千秋（NPO法人芸術公社代表理事、アートプロデューサー）
藤原 徹平（フジワラテッペイアーキテクツラボ代表、横浜国立大学大学院Y-GSA准教授）
山峰 潤也（東京アートアクセラレーション共同代表、ANB Tokyoディレクター）
小野 晋司（横浜赤レンガ倉庫1号館館長、チーフプロデューサー）
木村 絵理子（横浜美術館主任学芸員）
- ・相談体制：プログラム・オフィサー1名、審査員5名による伴走支援
- ・支援内容：資金支援/人的支援/広報支援

【情報発信】

- ・アーツコミッション・ヨコハマサイト <https://acy.yafjip.org/>
- ・ウェブマガジン創造都市横浜 <https://yokohama-sozokaiwai.jp/>
- ・横浜市クリエイターデータベース <https://acy.yafjip.org/creatorsdatabase>
- ・創造都市横浜Facebook <https://www.facebook.com/creative.city.yokohama>
- ・創造都市横浜Twitter https://twitter.com/sozotoshi_YKHM
- ・アーツコミッション・ヨコハマ note https://note.com/arts_c_yokohama



←：アーツコミッション・ヨコハマサイト
<https://acy.yafjip.org/>



ウェブマガジン 創造都市横浜：→
<https://yokohama-sozokaiwai.jp/>



←：横浜市クリエイターデータベース
<https://acy.yafjip.org/creatorsdatabase>

【運営事業】

「関内外OPEN!」

2009年から続く取り組みで、クリエイター等のネットワーキングをしつつ市民が気軽にアートやデザインを楽しむイベント。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症下でも実践できる対話や交流を目指し、屋外空間に期間限定の「創造と実験の場」を実施。アートやデザインにまつわる展示やトーク、“屋外ではたらく”ことを考えるクリエイターのまち「関内外一丁目」をつくり、クリエイターだけでなく、街を行きかう人も気軽に参加でき、互いに交流できる場を創出。令和4年度はそれを発展させクリエイターによるツアープログラムに。

「WE BRAND YOKOHAMA」「ハマの大喜利」(プラットフォーム事業)

WE BRAND YOKOHAMAは、企業、行政、クリエイターらが参加し、横浜から未来を描くイノベーターの創出を目指した学びの場として開催。ハマの大喜利は、地域の中小企業を軸に、人の出会い、業界やセクターを越えた横のつながりを生み出す企画。横浜の経済人、クリエイター、横浜市芸術文化振興財団が共同で開催。

「ミナトノアート」

地域で活躍するディレクターやアーティストらと実行委員会を組み、ギャラリー、ショップ、商業施設などと連携して行うまちなかのアートイベント。横浜都心部の複数会場で実施している。



関内外OPEN!13



WE BRAND YOKOHAMA vol.8

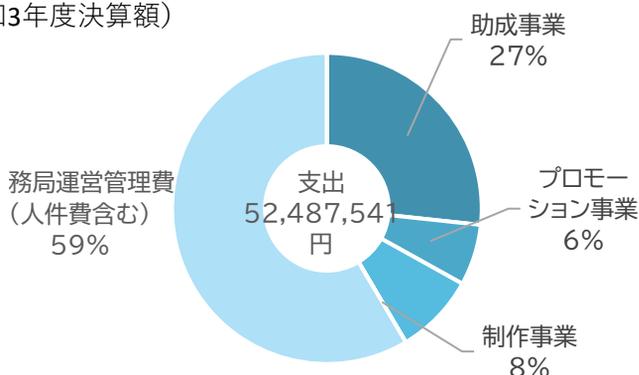
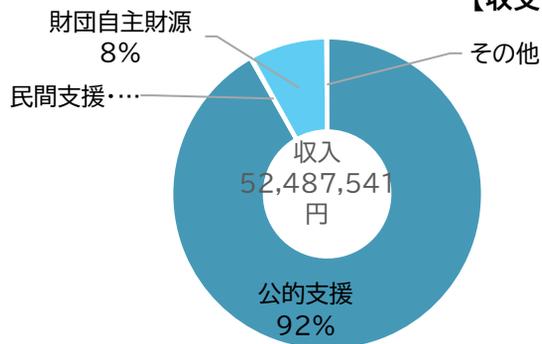


第4回 ハマの大喜利



ミナトノアート2022

【収支】(令和3年度決算額)



【組織形態】（法人格など）

■パラアート推進事業

川崎市文化財団本部事業課が自主事業として実施。

■音楽のまちづくり

川崎市文化財団内に「音楽のまち・かわさき」推進協議会の事務局を設置。

【構成員】

事業課長1名＝常勤嘱託員
 パラアート推進担当1名＝常勤嘱託員
 音楽のまちづくり担当1名＝会計年度任用職員

【自己紹介】

川崎市文化財団は、多様性と社会的包摂に向けた「かわさきパラムーブメント」を推進する市とともに、文化芸術施策を推進するパートナーとして、「パラアート」及び「音楽のまちづくり」における中間支援を中心的に担っています。

■パラアート推進事業

「障がいのある・なしに関わらず親しめる芸術文化活動＝パラアート」と捉え、公募型事業委託や他団体との連携によるパラアートの普及啓発、作品展覧会の開催を行うほか、中間支援として、専用ホームページやSNSを活用した情報発信、交流会等の開催によるネットワークの構築、相談窓口の運営、調査研究等の事業を担います。

■音楽のまちづくり

音楽事業の中間支援として、ホームページの運営や広報誌の発行等を通じた広報支援やコーディネート、相談支援を行います。

【連絡先】

■パラアート推進事業担当

TEL. 044-272-7366 メール para-art@kbz.or.jp

■音楽のまち・かわさき推進協議会事務局

TEL. 044-544-9641

メール kawasaki@ongakunomachi.jp

【所在地】 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージアム川崎セントラルタワー5階

【担当者】 久保田陽子



【沿革】

1985年

設立

2004年

「音楽のまち・かわさき」推進協議会 発足

2012年

公益財団法人へ移行

2017年～

川崎市より「パラアート推進モデル事業」を受託

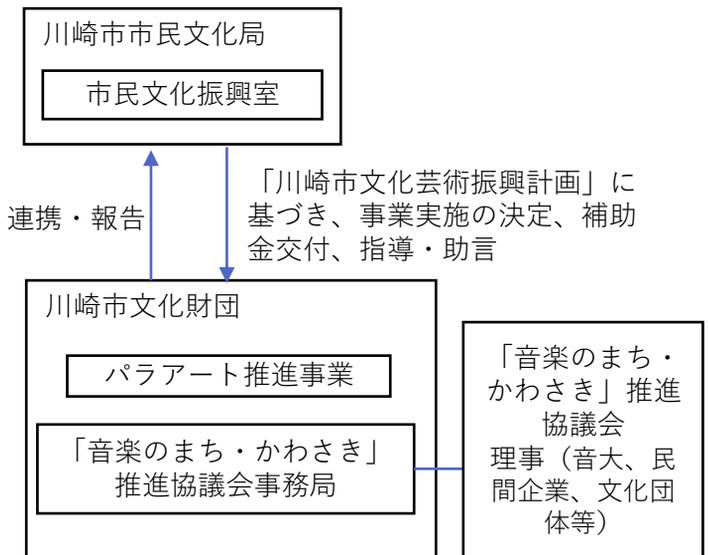
2018年～

「音楽のまち・かわさき」推進協議会の事務局機能を担う

2019年～

「パラアート推進事業」を自主事業として実施

【組織図】



【ミッション】

■パラアート推進事業

市の掲げる「かわさきパラムーブメント」の方針に基づき、「誰もが芸術文化活動に親しんでいるまち」に寄与することを目指す。

■音楽のまちづくり

市民の主体的な活動と連携し合いながら、音楽を中心とした多様な市民の多彩な文化、芸術活動の創造を通じた、活力とうるおいのある地域社会づくりを目指す。

【ビジョン】

■パラアート推進事業

パラアートの活性化につながる中間支援を行っていくことで、全ての人が文化芸術に携わることができ、文化芸術に親しみ、楽しめる環境づくりを進める。

■音楽のまちづくり

(1)基盤づくり（質の高い音楽人材・団体・施設の連携を進め、「音楽のまちづくり」の基盤を形成・整備する）、(2)産業振興（音楽活動を行いやすい環境を整備し、音楽関連産業の振興を進め、市内経済の活性化に貢献する）、(3)裾野拡大（基盤づくり、産業振興を通じて音楽に関わる人の裾野を広げる）、(4)戦略的情報発信（身近な音楽関連情報を発信するとともに首都圏向け「音楽のまち・かわさき」をPRする）

【助成事業】（予算：23,182千円）

■パラアート推進事業

(1) パラアート推進公募型事業委託

※団体の自主活動への補助・助成金ではなく、委託方式。

- ・委託目的：パラアートの観点から、多様性を尊重し合う心豊かな社会の形成に向けた課題解決に取り組むための事業を発掘し、事業の成果を先行事例として広く発信する。
- ・委託分野：(1) 障がい者が主体的に関わる文化芸術活動
(2) 障がい者と健常者が共に関わる文化芸術活動
(3) 障がい者の文化芸術活動環境整備
- ・内容：1事業につき委託料上限30万円
- ・委託件数：5件
- ・委託期間：7月頃～2月末
- ・評価体制：審査委員会を設置（構成員...当財団、市民活動支援団体、障害福祉団体、行政、学識者）
- ・相談体制：パラアート推進事業担当者

(2) パラアート推進事業連携プログラム

※団体の自主活動への補助・助成金ではなく、委託方式。

- ・委託目的：公募になじまない、パラアート推進の趣旨に沿った他の実施主体の取り組みと連携し、パラアートの普及啓発につながる関連企画等を行う。
- ・対象分野：(1) 障がい者が主体的に関わる文化芸術活動
(2) 障がい者と健常者が共に関わる文化芸術活動
(3) 障がい者の文化芸術活動環境整備
- ・内容：1事業につき委託料上限10万円
- ・委託件数：3件程度
- ・委託期間：4月～3月末
- ・評価体制：なし
- ・相談体制：パラアート推進事業担当者

■川崎市文化芸術活動応援事業（会場使用料等助成） ※R3,4年度のみ

- ・助成目的：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、文化芸術に関する公演や展示、上映（以下「文化芸術公演等」という）を実施することが困難な状況が続く中、文化芸術公演等の主催者に対し、会場使用料等の助成を行うことにより、市内の文化芸術活動を支援し、市内文化芸術施設の利用促進を図るとともに、市民の文化芸術を鑑賞する機会を拡充することを目的とする。
- ・対象分野：文化芸術公演等とは、次の①～③のいずれかに該当するもの
①音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、落語、その他の芸術・芸能の公演
②絵画、工芸、彫刻、版画、写真、陶芸、書道、その他の芸術の展示
③映画、アニメーション、その他の芸術の上映
- ・内容（助成事業費）：会場となる施設の使用料及び付帯設備使用料（実費）の2分の1の額（上限1事業30万円）
- ・助成件数：予算上限まで
- ・助成期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日までに実施されるもの
- ・評価体制：なし
- ・相談体制：音楽のまち・かわさき担当者

【制作事業】（予算：2,813千円）

- ・パラアート展覧会「Colorsかわさき展」の開催等

【その他の事業】（予算：16,691千円）

- ・関連団体の交流促進、活動の活性化等を目指す「パラアート・ミーティング」（交流会のほか、著作権や展示方法の勉強会等も実施）の開催
- ・各ホームページ・SNSの運営、音楽情報誌の発行、音楽情報を広く発信するラジオ・テレビ番組制作等
- ・次世代の音楽を担う人材育成を目指し「音楽×子育て」の情報を収集・発信
- ・相談支援事業として、常時相談窓口を設置

【調査研究事業】（予算：26千円）

- ・アーツカウンシルネットワーク参加
- ・各種研修への参加



展覧会を主催することで、関連団体とのつながりづくりや課題把握、展覧会のスキームモデル構築等に寄与



パラアート推進公募型事業委託「子どもたちのためのアートチャレンジ教室」



商業施設から「パラアート作品展示を行いたい」と相談を受け、募集や展示のノウハウを共有



活動団体同士の出会いや相互連携が生まれた「パラアート・ミーティング」



「音楽×子育て」をテーマにした手作り楽器体験ワークショップ

【情報発信】

■パラアート推進事業

- ・情報サイト <https://kbz.or.jp/paraartnet/>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/kawaparanet/>
- ・YouTube なし
- ・Twitter @kbunkazaidan
- ・Instagram @paraartnet
- ・発行物 なし

■音楽のまちづくり

- ・情報サイト <https://www.ongakunomachi.jp/>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/kawasaki.muton/>
- ・YouTube 「ミュートンチャンネル」 <https://www.youtube.com/user/ongakunomachi>
- ・Twitter ミュートン【公式】@ongakunomachi
- ・Instagram @kawasakimuton
- ・発行物 情報誌（隔月30,000部発行）「ミュージックプチマガジン」



音楽のまちかわさき

つながる募集情報

川崎の音楽に関わる人や団体と「つながる」ための募集情報！どなたでも情報登録できます。

演奏したい 出演者募集 音楽仲間募集 イベント関連

月平均200件（通常期）ほどの音楽イベントが登録されるホームページ上に、音楽に関わる人・団体同士が主体的につながることでできる募集情報ページも設置



「音楽×子育て」をテーマにしたテレビCMの放映

【他機関との連携】

行政機関

- ・川崎市市民文化局市民文化振興室、パラムーブメント推進担当
- ・川崎市健康福祉局障害者社会参加・就労支援課 等

企業

- ・地元メディアや企業と連携した情報発信
- ・商業施設と連携した音楽イベントや絵画展 等

文化芸術団体

- ・神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターとの情報交換 等

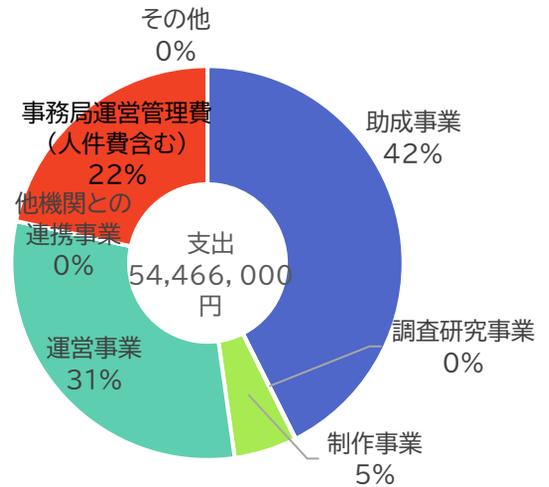
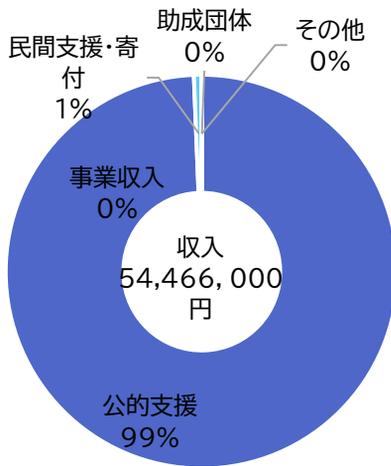
その他

- ・NPO法人川崎市障害福祉施設事業協会
- ・公益財団法人川崎市身体障害者協会
- ・地元音楽大学 等



健康福祉局障害者社会参加・就労支援課と連携し、就労を目指す障がいのある方や引きこもりの方に展覧会の受付業務を依頼

【収支】（令和4年度予算額）



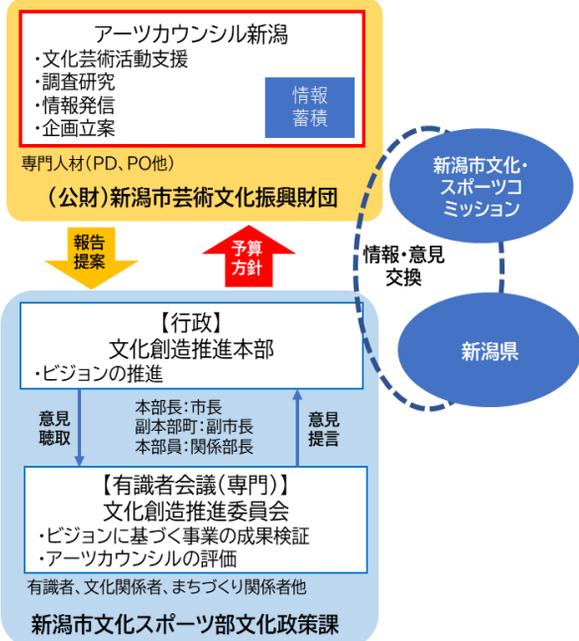
【組織形態】

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団内に
アーツカウンシル部として設置

【構成員】令和4年度

プログラムディレクター（非常勤） 杉浦幹男
プログラムオフィサー（常勤） 石田高浩
大浦亜子
高橋郁乃
中西享
根木一子
スタッフ（常勤） サウスウィック智子

【組織図】



【自己紹介】

「新潟」の文化と文化芸術の力で市民の誰もが輝けるまちをめざして、新潟市をはじめ、経済団体や教育機関などの多様な主体と連携しながら、文化芸術団体を多角的に支援する体制で活動しています。

＜アーツカウンシル新潟の機能＞

1. **市民の文化芸術活動の支援**：文化芸術活動に対するアドバイスや相談、マッチングなどの活動支援。今後の助成事業に関する検討。
2. **調査・研究**：新潟市の文化芸術活動に関するシンクタンク機能（文化芸術関連調査、政策研究、人材育成、啓蒙など）
3. **情報発信**：調査・研究結果、各種助成、アーツカウンシル新潟支援事業などの一体的な情報発信
4. **企画・立案**：新潟市及び新潟市関連機関の文化芸術事業に対する、助言や提案、企画運営支援。支援や調査・研究に基づく政策提言など

【沿革】

2016年

- ・（公財）新潟市芸術文化振興財団内に設立（9/26）
- ・文化芸術活動に関する相談窓口の設置
- ・トークイベント「語りの場」開催（～現在）

2017年

- ・beyond2020認証申請受付開始
- ・財団より文化芸術活動支援助成事業の運用を引継ぐ
- ・文化芸術基盤整備促進支援事業の開始
- ・国際交流事業（NIDF2017）の運営
- ・新潟市と協働した社会包摂事業の開始（～現在）

2018年

- ・新潟市とイオン株式会社の「包括連携協定」締結に基づき、ご当地WAON「にいがたBUNKA WAON」の発行開始

2019年

- ・文化芸術活動の助成金相談会開始

2020年

- ・文化芸術団体ステップアップ助成金の開始（～現在）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に対する調査および提言新潟市と共同で『新潟市文化芸術活動の実施に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン』作成。説明会開催。
- ・文化芸術活動に関する相談窓口の設置（～現在）
- ・新潟県文化芸術専門相談窓口業務（新潟県）の受託（～現在）

2022年

- ・beyond2020プログラム申請受付の終了
- ・テーマ別プロジェクト助成の開始（～現在）

【ミッション】

新潟市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築すること。

【ビジョン】

1. 社会包摂の実現に貢献する、あらゆる市民が主体の文化芸術活動の活性化
2. 新潟文化の形成、発信による北東アジアの文化交流拠点都市の形成
3. 文化芸術の多面的利活用による文化創造交流都市・新潟の基盤強化とブランド発信
4. 持続的・自律的なアーツカウンシル組織の確立

【連絡先】

アーツカウンシル新潟

電話 025-378-4690

メールアドレス artsCouncil@niigata.email.ne.jp

【所在地】新潟市中央区西堀前通六番町894番地1



西堀六番館ビル5階

【担当者】高橋郁乃（プログラムオフィサー）

【助成事業】（令和4年度より実施）

令和4年度予算 4,149,069円

テーマ別プロジェクト助成

- ・助成目的
文化芸術活動をとおして、より豊かな地域社会を実現するため、「地域文化の魅力を創造・発信する取り組み」「文化芸術で子ども・青少年を育成する取り組み」「文化芸術と他分野とが連携する取り組み」の3つのテーマを設定し、それに沿った取り組みを助成
- ・対象分野
文学や音楽、美術、演劇、舞踊などの「芸術」のほか、メディア芸術、伝統芸能、デザイン、工芸、生活文化、歴史文化、食文化、などを含む、幅広い分野の文化芸術活動
- ・内容（助成事業費）
報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、その他理事長が必要と認める経費
- ・助成件数
令和4年度採択件数 4件（令和4年度9月1日時点）
- ・助成期間
交付決定日～令和5年3月31日（年間3回公募）
- ・評価体制および相談体制
アーツカウンシル新潟PD、PO

文化芸術団体ステップアップ助成

- ・助成目的
文化芸術団体が活動していくうえで生じる様々な変化に対応するため、その目的や運営方法などを見直し、更なるステップアップをめざす取り組みや、新たな枠組みへのチャレンジを助成
- ・対象分野
テーマ別プロジェクト助成と同じ
- ・内容（助成事業費）
調査・研究、視察・研修、講師の招へいに必要な旅費等／視察・研修等にかかる参加費／参加者募集や事業成果公表のための印刷製本費／印刷物の発送等にかかる郵送料等の役務費／会場や設備等の使用料／講師等への謝礼
- ・助成期間
交付決定日～令和5年3月31日（随時公募）
- ・助成件数
令和4年度採択件数 0件（令和4年度9月1日時点）
- ・評価体制および相談体制
アーツカウンシル新潟PD、PO

【制作事業】 令和4年度予算 198,000円

トークイベント「語りの場」

- ・年間6回程度の開催を予定
- ・市民が新たな視点や価値観と出会い、知り（学び）、自らの活動を広げていくことで、魅力あふれる活動が、まちに根付いていくことをめざしている。

〈令和3年度語りの場テーマ〉※全てオンラインで開催。

「アートの広報宣伝～情報の発信と受け取り方～」

「二つの世界－精神医療と演劇の現場から－」

「場を開き、まちへ広げる ～旧グッゲンハイム邸の活用を通して～」

持続可能な文化芸術活動を考えるシリーズ（3回）

「周囲を巻き込み、想いを形にしていく～ARTS for HOPEの10年～」

「少しずつ広げ、ゆっくりと続ける取り組み～横浜「カドベヤ」の活動から～」

「草の根でゆるやかにつながる地域～文化による居場所づくりの試み～」

【調査研究事業】

2016年

- 平成28年度文化行政調査研究「全国文化プログラム推進調査」（文化庁委託）

2017年

- 平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業「地域文化の発掘・発信及び社会的課題解決に向けた文化プログラムのモデル企画・フォーラム開催等事業」（文化庁委託）

2018年

- 平成30年度文化芸術創造都市推進事業（文化庁委託）
- 平成30年度伝統音楽普及促進支援事業 合同研究事業（文化庁委託）

2019年

- 2019年度文化芸術創造都市推進事業（文化庁委託）

2020年

- 新型コロナウイルス感染拡大に際しての文化芸術活動についての現況調査および提言（自主事業）
- 公立文化施設におけるダンスを用いたプログラムに対する多角的な評価ガイドラインについての提案（自主事業。（公財）セゾン文化財団令和2年度次世代の芸術創造を活性化させる研究助成）



文化芸術活動に関する相談窓口



新潟市と協働した社会包摂事業：新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）職員を対象とした障害者アクセシビリティ研修（2017年）



新潟県音楽療法士協会：障がい者施設での活動



新潟市農村文化協議会：構成団体によるイメージ写真

【他機関との連携】

行政機関

- 新潟市文化スポーツ部文化政策課（所管課）
- 新潟県文化振興課より「第34回国民文化祭・新潟2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会2019年度新潟・阿賀エリア及び佐渡エリアコア事業コーディネーター業務」及び「新潟県文化芸術専門相談窓口業務」（コロナ対策窓口）受託。
- アーツカウンシル・ネットワークに関する運営業務（日本芸術文化振興会委託）

企業

- 新潟市とイオン株式会社の「包括連携協定」締結に基づき当地WAON「にいがた BUNKA WAON」を発行。支払金額の一部がイオンから、（公財）新潟市芸術文化振興財団へ寄付。寄付金は、【助成事業】に充当（令和4年度）。

文化芸術団体

- 新潟市文化スポーツコミッション（連携）
- アーツ千代田3331（2018年、アートプロジェクトスクールin新潟開催協力）

文化芸術基盤整備促進支援事業による支援団体

- 新潟県音楽療法士協会
- 新潟市農村文化協議会
- にいがたユニバーサルまち歩き

【情報発信】

- ウェブサイト : <https://artscouncil-niigata.jp/>
- Facebook : <https://www.facebook.com/arts.niigata/>
- YouTube アーツカウンシル新潟
- Twitter @arts_niigata
- Instagram @arts.niigata

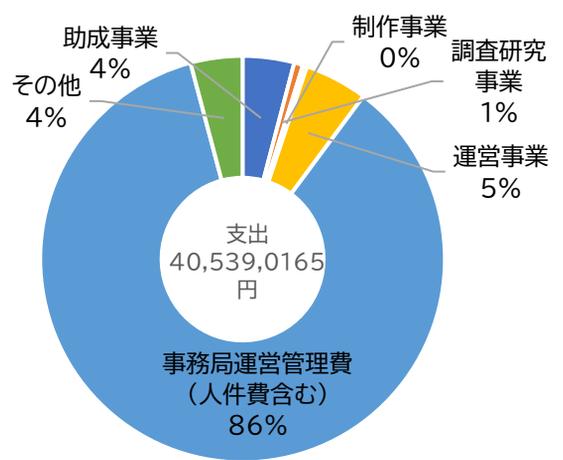
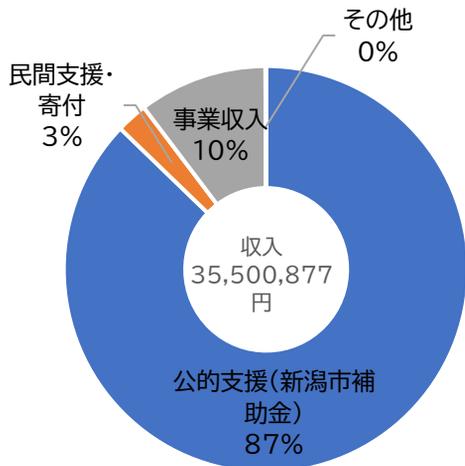
発行物

- 『基盤助成取り組みレポート』（平成29年度～令和元年度）
- 『公立文化施設におけるダンスを用いたプログラムに対する多角的な評価 ガイドラインについての提案』（（公財）セゾン文化財団令和2年度次世代の芸術創造を活性化する研究成）



平成30年度伝統音楽普及促進支援事業 合同研究事業（文化庁委託）：技術研修

【収支】（令和3年度決算額）



新潟市と協働した社会包摂事業：「ともにアートプロジェクト」。障がい者の兵家活動調査を実施するとともに、イオン新潟南店及び新潟市美術館において展示を行った（2021年度）



人材育成：必要に応じて、POによる視察調査を実施している。
 （写真上）英国における音楽による社会包摂事業の調査（2018年）
 （写真中）National Arts Council, Singaporeへのヒアリング（2019年）
 （写真下）欧州文化都市フランス・リール市の調査（2019年）

【組織形態】

公益財団法人浜松市文化振興財団内に『浜松アーツ&クリエイション』として設置

【構成員】 令和4年度

ディレクター（常勤） 島田 篤志
 オフィサー（常勤） 大谷 和正
 （非常勤） 縣 美勇士
 （非常勤） 矢川 理乃

【自己紹介】

浜松アーツ&クリエイションは市民が主体となった文化芸術活動の活性化を図り、文化芸術の力をまちづくり、観光振興、教育、産業、福祉などに波及させ、地域の課題解決や新しい価値観の創造に向けた浜松の未来を創る活動が活発になることを目指してまいります。
 アーティスト・クリエイターの支援・発掘から、助成制度、伴走支援、調査研究、情報発信などを通し、既存の概念にとらわれない市民の「創造的な活動」を活性化し、そこから生まれる様々な効果を都市の発展に結び付けてまいります。

【連絡先】

浜松アーツ&クリエイション
 Tel:053-458-1158
 Mail:aandc@hcf.or.jp

【所在地】

〒430-7790
 静岡県浜松市中区板屋町111-1
 【担当者】 大谷 和正



【沿革】

2018年

(公財)浜松市文化振興財団内に設立
 市内活動団体等を中心に150件のヒアリングを実施

2019年

創造都市推進事業補助金の事務局・伴走支援の開始
 補助金事業のグッドデザインアワード受賞

2020年

事務所移転
 立ち上げ時のPDの退任に伴い、ディレクター業務を財団内部で担う
 浜松医療センターと協同でコロナ禍における文化芸術活動についての支援事業の実施

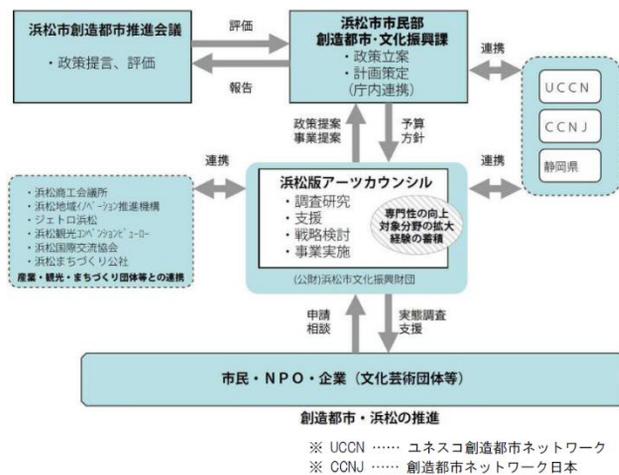
News Letter Vol.1発行(季刊誌)

2022年

メールマガジンVol.1発行(月一)



【組織図】



【ミッション】

創造性にあふれた真に豊かな地域の実現

【ビジョン】

- 市民が文化の担い手の主体となる仕組みづくり
- 市民、市民団体、企業等が創造的な活動を行うことができる土壌づくり
- 文化の多様性を活力としたまちづくり
- 新しい価値観の創出
- 文化芸術による社会的・経済的課題の解決



【助成事業】（総予算）
創造都市推進事業補助金

- 助成目的
本市では、地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われ、その活動が市民の暮らしの質を高めていく都市「創造都市」の取り組みを推進しています。
当補助金は、「創造都市・浜松」推進に寄与する、市民活動団体やアーティスト、企業などが企画・実施する創造的な取り組みに対し、その経費を一部補助することで、それらの取り組みがより活発化し、継続して市内で行われるようになることを目的としています。
- 対象分野
創造都市の実現に資する事業
- 内容（助成事業費）
賃金/補助対象者構成員の(一部)賃金、事業のために臨時に雇用した者の賃金
謝礼/構成員以外の招待者に対する謝礼
旅費/構成員、招待者の交通費・宿泊費
委託料/事業実施にあたり不可欠な業務を委託する経費
使用料/会場費・運搬車両の借り上げ料、機器の使用料
需用費/消耗品の購入、チラシ・ポスター冊子の印刷費
役務費/はがき切手、郵便、広告掲載、保険、その他手数料
備品等経費/単価2万円以上の物品購入に要する経費※要理由書
- 助成件数
令和4年度採択件数 16件
- 助成期間
令和4年7月1日～令和5年2月15日
- 評価体制及び相談体制
審査委員による評価
浜松アーツ&クリエイション及びアドバイザーによる相談体制

【情報発信】

- ・ <https://www.hamamatsu-artscreation.jp/>
- ・ Facebook HamamatsuArtsAndCreation
- ・ YouTube 浜松アーツ&クリエイション
- ・ Twitter @hamamatsu_a_c
- ・ Instagram @hamamatsu_a_c

・ 発行物

News Letter Vol.1～10



【他機関との連携】

行政機関

- ・ 創造都市文化振興課(所管課)
- ・ 浜松市教育委員会

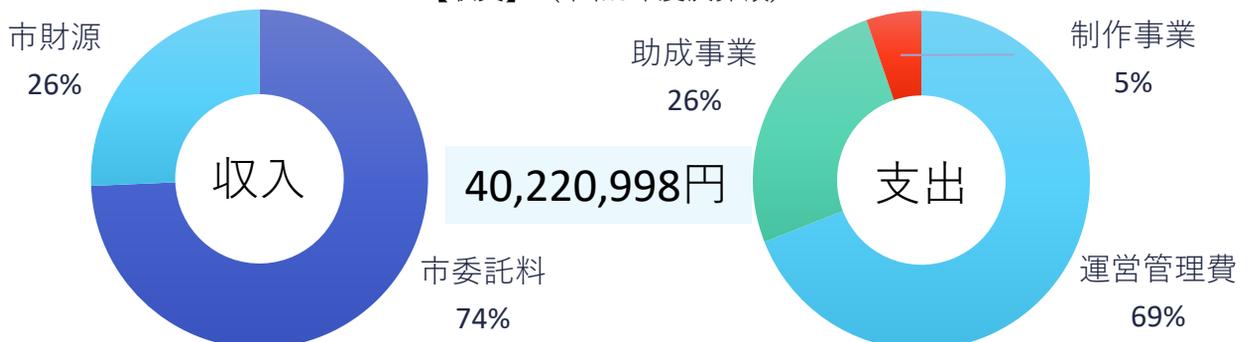
企業

- ・ ヤマハ(株)
- ・ (株)河合楽器製作所
- ・ ローランド(株)
- ・ (株)天竜浜名湖鉄道
- ・ 浜松いわた信用金庫(SDGs推進部・地域貢献課)

その他

- ・ 静岡文化芸術大学
- ・ 浜松NPOネットワークセンター
- ・ はまつ起業家カフェ
- ・ 浜松商工会議所
- ・ 浜松国際コンベンションビューロー
- ・ 浜松国際交流協会
- ・ 浜松まちづくり公社

【収支】（令和3年度決算額）



【組織形態】（法人格など）
堺市 文化観光局 文化部 文化課内

【構成員】令和4年度
プログラム・ディレクター（非常勤）
上田假奈代
プログラム・オフィサー（非常勤）
大澤 寅雄
柿塚 拓真
川那辺 香乃
中脇 健児
宮浦 宜子

【自己紹介】
【堺アーツカウンシルの機能】

文化芸術活動の支援

- ・ 関連分野との有機的な連携のためのコーディネート機能
- ・ 文化芸術活動の推進における諸問題の解決のための相談機能
- ・ 公募型補助金の対象事業の事業効果を最大化するための助言

文化芸術施策の推進

- ・ 推進計画の方向性を踏まえた本市の文化芸術施策の進捗状況の確認
- ・ 進捗状況の確認を元にした事業効果を最大化するための改善提案
- ・ 地域における市民文化活動を下支えする市内文化施設の機能向上に係る支援

調査研究・情報発信

- ・ 他市や海外の先進事例の情報収集
- ・ 優れた文化芸術活動に関する取組事例の紹介
- ・ 研究成果の発信、共有
- ・ 文化芸術の推進に係る講演会、シンポジウム、ワークショップ等の開催

公募型補助金制度の運用

【沿革】

（2020年度）

- 2021.1 堺アーツカウンシル設立
- 2021.2 第2期堺文化芸術推進計画を策定
- 2021.3 堺市文化芸術活動応援補助金制度の創設

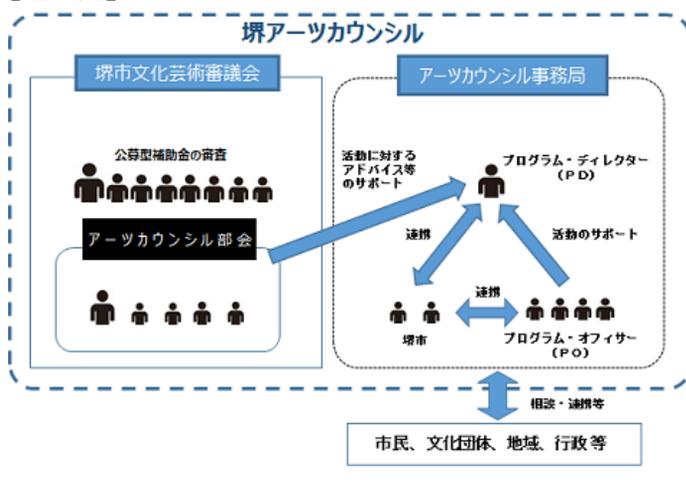
（2021年度）

- 公募型補助金の補助対象者への伴走支援
- 公募型補助金の申請に係る相談対応
- 公募型補助金制度の運用
- 相談支援
- 勉強会・研修の実施
- 文化芸術・社会的課題の現状調査
- 情報発信
- 公募型補助金の全体説明会及び個別相談会

（2022年度）

- 公募型補助金の補助対象者への伴走支援
- 公募型補助金の申請に係る相談対応
- 公募型補助金制度の運用
- 相談支援
- 勉強会・交流会・研修の実施
- 文化芸術・社会的課題の現状調査
- 情報発信

【組織図】



【ミッション】

専門知識を有する人材が文化芸術に携わる人々たちを支援することで、文化芸術の振興を図り、文化芸術を活用して、子育て・教育・福祉・観光・都市の活性化といった様々な分野の社会的課題の解決をめざす。

【ビジョン】

堺のあちこちで
文化芸術を通じた出会いや
場作りの営みに寄りそう
アーツカウンシルに

【連絡先】 堺アーツカウンシル
電話 072-228-7143
メールアドレス bunka@city.sakai.lg.jp
【所在地】 堺市堺区南瓦町3-1
【担当者】 楠亀裕二（堺市文化課職員）



【助成事業】 堺市文化芸術活動応援補助金（令和3年創設）

・助成目的

堺市文化芸術活動応援補助金は、歴史ある堺の文化を継承し、市民の文化活動の振興を図り、地域文化の創造に努め、また、文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉、観光、都市の活性化等の幅広い分野における社会的課題の解決に資する事業の実施に要する経費を市が補助することにより、自由で心豊かな市民生活の実現及び都市魅力の創造に寄与することを目的としています。

・対象分野

補助対象となる分野は、自由都市堺文化芸術まちづくり条例第2条第1号に定める文化芸術です。この分野に該当する事業のうち、他分野との連携や新たな工夫を試み、創造性があること、また地域や社会の様々な課題に取り組む事業等を対象とします。

○自由都市堺文化芸術まちづくり条例

第2条この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1)文化芸術 音楽、美術、写真、演劇、舞踊、文学、映画等のメディア芸術、芸能、伝統芸能(能、狂言その他の我が国古来の伝統的な芸能をいう。)、茶道、華道、書道その他これらに類するものをいう。

・区分

一般補助：スタートアップ支援、地域文化力向上

特別補助：市民文化活動推進、共生社会推進、舞台芸術創造発信

・採択件数

令和3年度：41件

令和4年度：35件

・助成期間

令和3年度：令和3年6月1日～令和4年3月31日

令和4年度：令和4年4月1日～令和5年3月31日

・相談体制

堺アーツカウンシルPD,POによる申請・事業実施の相談受付

堺市
堺市で文化芸術活動を始めませんか？

令和4年度 堺市文化芸術活動 応援補助金

「堺市文化芸術活動応援補助金」は、市民と芸術、地域と芸術を結び、個人・団体の活動・事業を応援する補助金です。

募集案内

申請期間
令和3年 10月28日(木)～令和3年 12月24日(金)

事業実施期間
令和4年 4月1日(金)～令和5年 3月31日(金)

ホームページ
https://www.city.sakai.lg.jp/kankou/bunka/art_ketsudoshien/bunka_kenhojyo/index.html

募集要項の入手法
ホームページからダウンロードした資料のほか、文化課、市民生活センター、区役所市民協働センター、西隣の各文化施設(フェニクス館、番場城文化会館、文化館)等で配布しています。

申請方法
堺市文化課まで郵送または窓口にご来館ください。

【制作事業】

勉強会・交流会

堺アーツカウンシルでは、堺市で文化芸術活動をする方、興味のある方向けに、学びと出会いの場として、月に1回程度、勉強会・交流会を開催しています。

・令和3年度 勉強会

第1回「地域とアート」の可能性（オンライン開催）

第2回「地域とアート」実践への学び合い

・令和4年度 「地域でのアート活動を学ぶ勉強会」

第1回 活動のつながりかた・ひろげかた

第2回 集まる場から作る仲間の増やしかた

・令和4年度交流会「さかいとあーと井戸端かいぎ」

第1回～ゆるく話そう。地域とアート、つながりづくり～

第2回～ゆるく話そう。地域とアート、つながりづくり～



【情報発信】

- ホームページ
https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/art_katsudoshien/sakai_artscouncil/index.html
- Twitter @SAC_sakaibunka

【発行物】

- 堺アートカウンシルリーフレット
- 堺アートカウンシルニュースレターNo.1~4
- プログラム・ディレクターのつれづれコラム
(コラムは堺市ホームページ内で連載)



Twitter



堺市HP



堺のあちこちで文化芸術を通じた出会いや場作りの営みに寄り添うアートカウンシルに

■文化芸術活動に關する相談・対話

文化芸術活動に關するお問い合わせは、お気軽にアートカウンシルまでご連絡ください。お電話でも、メールでも、お申し込みいただけます。お申し込みいただいた後、お電話またはメールにてお問い合わせください。お申し込みいただいた後、お電話またはメールにてお問い合わせください。

■補助金申請・活動サポート

堺市文化芸術活動助成金申請サポートは、お電話またはメールにてお問い合わせください。お電話またはメールにてお問い合わせください。お電話またはメールにてお問い合わせください。

■お問い合わせ先

堺アートカウンシル 文化芸術 文化振興課

〒590-0272 堺市東区高井町1-1-1
TEL:072-228-1414 FAX:072-228-1414
MAIL:sakai-artscouncil@sakai.lg.jp
堺市ホームページ: <https://www.city.sakai.lg.jp>
堺アートカウンシル: https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/art_katsudoshien/sakai_artscouncil/index.html

【調査研究事業】

相談事例の分析や勉強会のアンケート、「堺市文化芸術活動応援補助金」採択事業で実施いただいたアンケート結果等を基に、堺市における文化芸術の現状とよりよいあり方を研究しています。

【他機関との連携】

- 行政機関：堺市文化振興財団
「企画担当者のためのワークショップ実践研修」

主旨

堺アートカウンシルのモデル事業として、(公財)堺市文化振興財団事業課の協力を得て、本市内の文化施設の企画担当者等を対象としたワークショップ実践研修を実施

目的

- 文化施設の企画担当者等がワークショップについて学び、その後グループに分かれて実際にワークショップを企画運営し、相互に参加・フィードバックすることで、企画担当者が実際にアーティストと連携してワークショップを企画実施するうえでの要点を体得する。
- 本研修を通して企画担当者がアーティストや他の参加者と交流することで、「文化芸術を通じた社会包摂」とはどういったものかについて理解を深める。



堺アーツカウンシルのメンバーを紹介します

堺市で繰り広げられる文化芸術を通じた出会いを大切に
それぞれの専門性をいかした活動をこころがけています

プログラム・ディレクター

専門分野：ことば、存在の表現

1969年奈良県吉野生まれ。「ことばを人生の味方に」、2003年大阪・新世界で喫茶店のふりをしたアートNPO「ココローム」を立ち上げ、2008年西成・釜ヶ崎に移動、2012年まちを大学に見立てた「釜ヶ崎芸術大学」、2016年ゲストハウス開業。



上田 假奈代
【事務局 総務課長】

古墳時代から人々の営みがつくつ街として、堺市への興味は尽きません。大和川を越えて訪れた堺市は広く、歴史の積み重ねを感じます。現在の堺市で文化芸術のネットワークがさらに活発になり、多様なセクターが関わりあい綱の目のようなつながりが生まれることを願います。市民のみならずとの対話を通じていっしょに考えていきたいと思えます。

プログラム・オフィサー

専門分野：音楽マネジメント、芸術団体運営
日本センチュリー交響楽団等で音楽事業制作に従事。国際交流基金アジアフェロシップ、アジア各地や英国の団体との共同事業など海外団体との事業も手掛ける。現在、(公財)神戸市民文化振興財団演奏担当副長として神戸市室内管弦楽団/混声合唱団に勤務。



柿塚 拓真
【アートマネージャー】

堺市の文化芸術推進計画や補助金募集要項には「社会的課題の解決」、「文化力の向上」のような言葉が並びます。芸術活動でそんなことができるのだろうかと思われるかもしれませんが、これらの言葉の先にある具体的な未来を想像できれば、自身の活動とその未来の繋がりが見えてくるのでは。

プログラム・オフィサー

専門分野：アートプロジェクト、ファシリテーション、身体表現

普段は教育現場でアートのワークショップコーディネートを行う。高校を活用したアートプロジェクト、社会課題をテーマにしたワークショップ、障がい者とともに表現を模索する研究会などにも携わる。アートプロジェクトの全国ネットワークづくりにも奔走中。



川那 辺香乃
【アートコーディネーター】

堺には、子どもたちの感性を育ててきたアトリエや、地域の方々々が文化芸術を通して交流する活動などが数多くあり、さまざまな課題があっても草の根で繋がっておられることがわかってきました。もちろん、今から始めたいと思っている方もおられます。私は、1つ1つの活動と同じ歩幅で歩き続けるプログラム・オフィサーでありたいと思います。

プログラム・オフィサー

専門分野：コミュニティデザイン、ワークショップ、ソーシャル・エンゲイジド・アート
“その場にいる人とその場だからできるコトを考える”「場とコトLAB」を立ち上げる。伊丹市文化振興財団に14年間所属。領域はアート、コミュニティプログラム、地域産業支援、教育、福祉、ファシリテーションやワークショップの専門家育成など。NPO法人こととぶら 理事、大阪芸術大学 芸術計画学科 准教授。



中 舘 健児
【ワークショップ】

市民一人の文化芸術活動で尊重されるべきは自己選択・自己決定です。公的な機関から補助を受ける場合は、他者や社会に目を向けることが求められます。自分目線と他者目線。自分がやりたいこと・できること(SEEDS/シーズ)と社会がやってほしいこと(NEEDS/ニーズ)の「かさなり」を見つける複眼的視点のお手伝いをしていきたいと思えます。

プログラム・オフィサー

専門分野：教育、地域コミュニティ、食
教育現場や地域コミュニティでのアートマネジメントに携わった後、出会いと交流の場としての「食卓」にアートとの共通性を感じ、ワークショップの企画や執筆活動などを行う。近年、北海道から関西に移住。特定非営利活動法人芸術家と子どもたち理事。



宮 浦 宣子
【食卓コーディネーター】

文化芸術の活動は、まず自分たちが表現したり、誰かの表現を受けとめたりする場をつくりたいという想いで始めると思えます。試行錯誤して想いが満たされるようになり、ふと周りを見回すと、そんな場に出会えない人に気づいたりします。そこで活動をちょっと工夫すると、また仲間が広がっていきます。そんな試行錯誤や工夫のお手伝いのできたらと思っています。

プログラム・オフィサー

専門分野：文化政策、アートマネジメント
1970年滋賀県生まれ。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。地域文化を生産系として観察する「文化生態観察」を実践中。株式会社ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事長。



大 澤 実 雄
【文化生態観察】

文化や芸術と社会の関わりを、生態系として日々観察しています。例えば「茶文化」では、茶葉を育て、茶碗を作り、お茶を点て、お茶を味わい、お茶について語り、お茶を通して出会いが生まれ、茶文化という生態系があります。堺市の文化の生態系が、より多様で、より豊かに、そして持続可能になるための関わりを観察したいと思えます。

団体個票

オブザーバー

岩手県 文化スポーツ部 文化振興課

【アートカウンシル設置の背景・目的】

所要の議論・検討を行いつつ、発展的に「岩手版アートカウンシル」設置を実現するため、まずは「いわてアートコンソーシアム」とした体制を設けることとし、取組を進めているもの。

【アートカウンシルとの連携状況】

アートカウンシルまたはその前段階として実施している助成制度等は無し。

【連絡先】

電話 019-629-6288

【所在地】

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1 12階

【担当者】

三輪 尚史

【組織形態】

公益財団法人いばらき文化振興財団内に、県内の文化活動団体等に活動成果発表事業の事業費の一部を助成する担当課（事業推進課）を設置

【構成員】 令和4年度

課長（常勤） 岩上 明弘
 係長（常勤） 鈴木 崇
 主任（常勤） 飛田 真依子
 主任（常勤） 大黒 敬子
 主任（常勤） 山田 俊輔

【自己紹介】

県内各地における県民の自主的で個性的な文化活動行うとともに文化芸術の継承、発展及び創造的な取り組みを行っている団体または個人に対して発表活動等の事業費の一部を助成し、本県の文化水準の向上に寄与する活動を行っています。

<助成事業の概要>

- 1 **活動成果発表事業（事業継続支援事業）**
文化活動団体等の活動成果発表事業への支援
- 2 **活動成果発表事業（活性化支援事業）**
活動成果発表をとおし、活動の拡大、担い手の育成、県民に広く文化芸術に接する機会の提供を図った事業への支援
- 3 **各種大会等参加事業**
全国大会・関東大会等で県代表もしくはこれに準じた資格で参加する旅費・宿泊費等の支援
- 4 **文化活動団体備品整備事業**
文化活動団体がその文化活動に必要な楽器等備品の購入・修理費用等への支援
- 5 **刊行物発刊事業**
地域の特色ある文化を取り上げ、地域の文化・学術の発展に寄与する刊行物を発刊する事業への支援
- 6 **県民参加創造事業**
多くの県民が参加参画し地域づくりに寄与する事業等への支援

【連絡先】

公益財団法人いばらき文化振興財団 事業推進課
 電話 029-305-016
 メール icf-ps12@icf4717.or.jp

【所在地】

茨城県水戸市千波町東久保697

【担当者】

岩上 明弘（事業推進課長）

【沿革】

1992年

・県内文化活動団体等への助成事業を主とした文化振興事業を行うため財団を設立

1999年

・茨城県立県民文化センター及び大洗水族館を社会福祉法人茨城県文化福祉事業団から継承し、管理運営を行う

2013年

・財団法人から公益財団法人に移行する

2021年

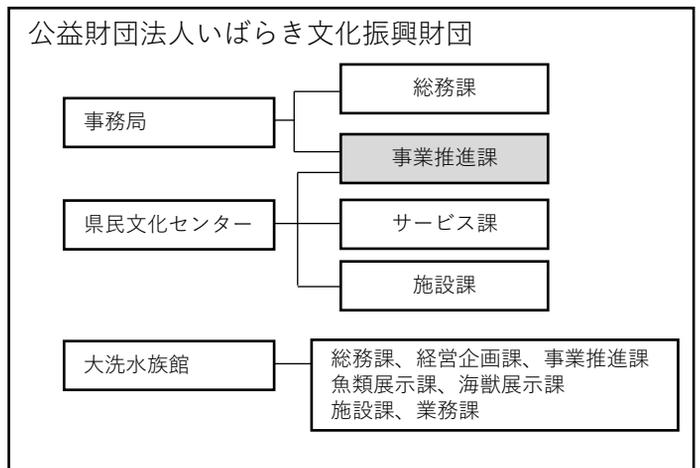
・コロナ禍で停滞しかけている文化活動を活性化させる施策として全国のトレンドを調査し、制度の再設計を行う

※活動成果発表事業を2区分に

事業継続支援事業、活性化支援事業

※県民参加創造事業を新規追加

【組織図】



【ミッション】

支援をとおし、県内の文化活動団体等の活動活性化と団体等の発展

【ビジョン】

県民との協働による文化の創造・発信・提供をとおした豊かな県づくり

【助成事業】

令和4年度予算 15,421,000円

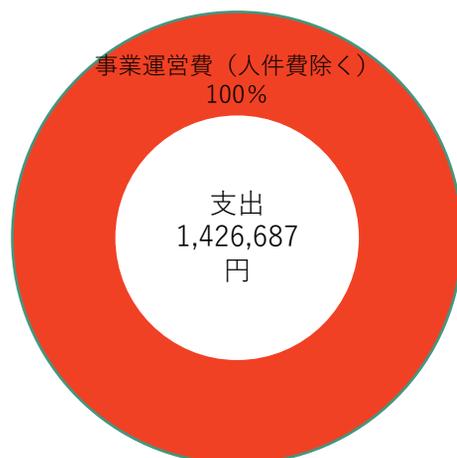
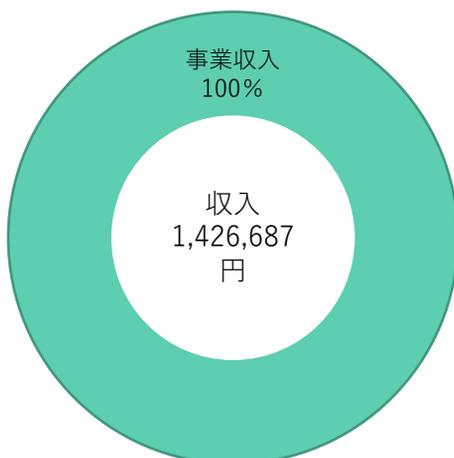
1 文化活動団体等事業助成

- ・助成目的
自ら主体となつて行う常日頃の文化活動の成果等を発表する事業への事業費の一部を助成
- ・対象分野
美術展、音楽会、演劇、舞踊、茶道、華道、メディア芸術
- ・内容（助成事業費）
指導演出費、舞台設営費、広告宣伝費、印刷製本費、手数料、使用料、交通費及び宿泊費
- ・助成件数
令和4年度採択件数55件（令和4年4月1日時点）
- ・助成期間
令和4年4月1日～令和5年3月31日（年間1回公募）

2 県民参加創造事業助成

- ・助成目的
活動成果発表をとおり、活動の拡大、担い手の育成、県民に広く文化芸術に接する機会の提供を図つた事業の一部を助成
- ・対象分野
 - ・多くの県民の特色ある文化事業の参加参画を通じた地域づくりに寄与する事業
 - ・次世代を担う子どもや若者に特色ある文化を継承し、文化に親しむ環境を促進する事業
- ・内容（助成事業費）
指導演出費、舞台設営費、広告宣伝費、印刷製本費、手数料、使用料、交通費及び宿泊費
- ・助成件数
令和4年度採択件数2件（令和4年4月1日時点）
- ・助成期間
令和4年4月1日～令和5年3月31日（年間1回公募）

【収支】（令和3年度決算額）



埼玉県県民生活部文化振興課

【アートカウンシル設置の背景・目的】
アートカウンシルの設置、アートカウンシル機能の導入について検討中。

【現在実施している助成制度、支出予算等】
埼玉県文化振興基金を活用した助成制度

①アマチュア文化団体等の活動成果発表等への助成

補助限度額：200千円（対象経費の1/2以内）

R4予算額：200千円×35件＝7,000千円

②伝統・郷土芸能団体が行う後継者育成や備品整備等への助成

補助限度額：200千円（対象経費について
200千円以内）

R4予算額：200千円×10件＝2,000千円

③子どもを対象とした文化芸術の体験事業等への助成

補助限度額：200千円（対象経費について
200千円以内）

R4予算額：200千円×10件＝2,000千円

④観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業など様々な分野と連携して行う文化芸術事業等への助成

補助限度額：300千円（対象経費の2/3以内）

R4予算額：300千円×10件＝3,000千円

【連絡先】

電話 048-830-2887

【所在地】

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号 第3庁舎1階

【担当者】

埼玉県文化振興課文化振興担当 小暮祥子

【組織形態】

一般財団法人長野県文化振興事業団内に運営主体となるアーツカウンシル推進室を設置。長野県や大学、公的機関、民間団体、市町村などとの連携協働により中間支援の体制を構築。

【構成員】

令和4年度
 アーツカウンシル長 津村卓 ※
 アーツカウンシル推進室長 峯村高広
 <専門スタッフ>
 ゼネラルコーディネーター 野村政之
 チーフコーディネーター 伊藤羊子
 コーディネーター 佐久間圭子 ※
 コーディネーター 藤澤智徳
 <事務スタッフ>
 次長 宮本隆希
 主事 保谷有美
 ※非常勤

【自己紹介】

信州アーツカウンシルは、長野県内の文化芸術活動の担い手を支援しています。長野県の自然豊かな風土や歴史文化、学びを大切にしている精神などから育まれる、多様な地域文化や文化芸術の創造性を持続的に発展させていくことを目的として、令和4年に設立されました。多様な主体がゆるやかに連携しながら、地域・県民主体で行う文化事業の助成、相談・助言等の寄り添い型支援を行っています。

<信州アーツカウンシルの基軸事業>

- 1 活動基盤強化プログラム
文化芸術団体の持続的な活動への助成
- 2 連携・協働プログラム
文化芸術の環境づくりの連携、協働、共創
- 3 社会包摂・インクルーシブプログラム
福祉・多文化共生等の取組との協働
- 4 地域創造・交流プログラム
専門人材育成に繋がる主催事業の実施
- 5 情報発信・認知度向上
広報活動、相談会 等

【連絡先】

(一財)長野県文化振興事業団 アーツカウンシル推進室
 電話：026-223-2111
 E-mail：artscouncil@naganobunka.or.jp

【所在地】

長野市若里1-1-4 県立長野図書館1階

【担当者】

野村 政之、宮本 隆希

【沿革】

2015年度

・「文化振興元年」とし、長野県文化振興基金を創設

2016～2021年度

・基金を活用した長野県芸術監督団事業を実施

2019～2021年度

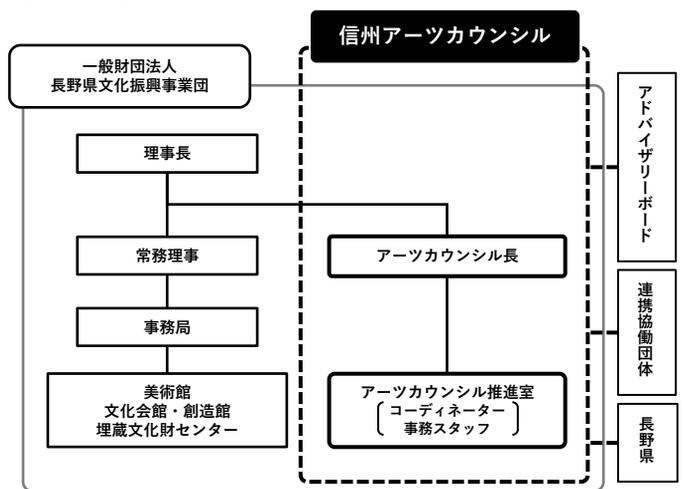
・アーツカウンシル設立に向けた有識者懇談会

2022年度

・(一財)長野県文化振興事業団内にアーツカウンシル推進室を設置 (4/1)

・信州アーツカウンシル・キックオフイベント開催 (6/11)

【組織図】



【ミッション】

- 1 長野県全域において文化芸術活動の創造力・発信力を高める。
- 2 文化芸術活動のポテンシャルを社会の様々な領域に広げる。
- 3 長野県内の文化芸術活動が持続的に発展する環境を醸成する。

【ビジョン】

信州・長野県に永く受け継がれてきた、自然豊かな風土から紡がれる地域文化や、学びを大切にしている精神から醸成される文化芸術の創造性を、未来の地域へ持続的に発展させていく。広い県土に多様な地域性を有する信州の文化芸術を、長野県、公的機関、大学、市町村、民間団体などの多様な主体が連携し、地域や県民が主体となって行う文化芸術活動を支える環境づくりに取り組む。

【活動の特長】

- 1 文化芸術活動の「担い手」を支援する。
表現者、参加者、企画・運営者、支援者など、様々な人たちを支援します。
- 2 信州の多様な文化芸術を、多様な主体で支える。
様々な主体が連携し、多様な地域文化を支援する環境づくりを行います。

【活動基盤強化プログラム（助成事業）】

「文化芸術活動の創造性を生かす環境づくり支援プログラム」

<事業概要>

長野県の文化芸術の持続的な発展に資する可能性があり、チャレンジ精神や創意工夫の見られる活動で、自らの問題意識に基づいて、社会における課題を設定し、様々な人や組織との連携・協働を行いながら取り組む活動を支援

<令和4年度予算> 20,000,000円

<助成プログラム>

A 活動推進支援プログラム

- ・地域における文化芸術活動の定着や新たな実施に取り組むもの。
- ・収益性に馴染まないが他分野への波及が期待できる活動の立ち上げを支援

①助成額

上限額500,000円（助成率：10/10以内）

②助成団体数（実績）

14団体

③助成期間

交付決定日～令和5年2月28日まで（最大3年間の支援可能。継続審査有り）

④評価体制

信州アーツカウンシルが設置するアドバイザーボード委員（外部有識者）による評価

⑤相談体制

信州アーツカウンシルのコーディネーターによる伴走支援

B 活動基盤強化支援プログラム

- ・文化芸術活動の力を他の地域に展開し、県内での新たな活力創出に取り組むもの。
- ・定着や自走の可能性のある活動を寄り添い型で支援

①助成額

上限額3,000,000円

（助成率：1/2以内。一般管理費15%以内）

②助成団体数（実績）

7団体

※助成期間、評価体制、相談体制はAプログラムと同じ。

【連携・協働プログラム】

■ 信州大学人文学部との連携事業

- ・信州大学人文学部のACに関する講義
- ・主催事業への信州大学生の受け入れ、研修プログラムへの参加 など

■（公財）八十二文化財団との協働

- ・同財団主催の助成事業についての情報交換
- ・民俗芸能の保存継承に向けた連携事業を検討

【社会包摂・インクルーシブプログラム】

■ 長野県障がい者芸術文化活動支援センター「ザワメキサポートセンター」（長野県社会福祉事業団）との連携

- ・連携定例会議での情報共有
- ・コーディネーターによる展覧会サポート など



助成事業 Aプログラム
NPO法人リベルテ（上田市）
「路地の開き」



助成事業 Bプログラム
まつもとフィルムコモンズ
「まつもと地域映画プロジェクト」



助成事業 Aプログラム
向方芸能部（天龍村）
「向方掛け踊り復活事業／お盆行事の伝承」



社会包摂・インクルーシブプログラム
長野県社会福祉事業団・長野県みらい基金
との連携ミーティング

【地域創造・交流プログラム】

1 「NAGANO ORGANIC AIR」

(1) 事業概要

様々なジャンルで活躍するアーティストが、長野県内の各地域に滞在し、創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の取組。

「ORGANIC=有機的」をキーワードに、公立文化施設や地域の文化芸術団体、教育委員会などがホストとなり、地域での創作プロセスをコーディネートしながら、アーティストとの双方向的な協働を試みる事業

(2) 令和4年度予算

15,985,000円

(3) 実施地域

実施地域（ホスト）	滞在アーティスト
小海町 (小海町高原美術館)	蓮沼執太（音楽家）
阿南町 (新野だら実行委員会)	山田百次（劇作家）
茅野市 (茅野市民館)	森下真樹（ダンサー） 石川直樹（写真家）
木曽郡 (木曽AIRネットワーク)	私道かび（劇作家） 舒達（美術家）
安曇野市 (安曇野市教育委員会)	...1[アマリイチ] (ダンサー)
大町市 (北アルプス国際芸術祭実行委員会)	横山彰乃（ダンサー）
長野市 (R-DEPOT CAMPプロジェクト)	額田大志（作曲家）
栄村 (栄村公民館)	行橋智彦 旅する服屋さんメイドイン (服飾デザイナー)
短期滞在型研修プログラム 「生きることとアートの呼吸」	公募参加者+信州大学生 NOA実施地域等の視察



「ふしぎうぶすなレジデンシー@信濃大町
STRANGER THAN PHENOMENON」
横山彰乃@大町市



「雪に染まる冬の支度」
行橋智彦@栄村



短期滞在型研修プログラム
「生きることとアートの呼吸」

2 「シンビズム」

(1) 事業概要

- ・長野県の公立、私立、様々な学芸員がネットワークを構築し、長野県ゆかりの作家を取り上げた現代美術展を共同企画
- ・美術展において、対話を通じた作品鑑賞（対話型鑑賞）のプログラムを実施
 - 美術展「シンビズム2022 Re-SHINBISM 1 そして未来へ」の開催
 - ・開催期間：令和4年10月6日～10月23日
 - ・開催場所：ギャラリー82（長野市）

(2) 令和4年度予算

8,000,000円



【情報発信・認知度向上】

○ 信州アーツカウンシル事業全般の発信

[Web・SNS等]

- ・note <https://note.com/acnaganobunka>
- ・Facebook acnaganobunka
- ・Twitter acnaganobunka
- ・Instagram acnaganobunka
- ・メールマガジン配信（月数回程度）

[発行物]

- ・信州アーツカウンシルガイドブック 発行

○ **NAGANO ORGANIC AIR**

- ・Webサイト <https://noa.nagano.jp/>
- ・Facebook naganoair2022
- ・Twitter nagano_air2022
- ・Instagram nagano_organic_air

○ **シンビズム**

- ・Webサイト <https://shinbism.jp/>
- ・Facebook shinbism



○ 信州アーツカウンシル・キックオフイベント
(令和4年6月11日／ホクト文化ホール)



撮影：安德希仁

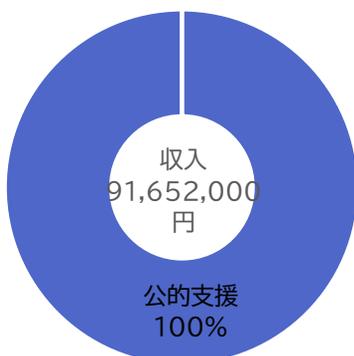
○ AC説明会・相談会
(令和4年10～11月/県内各地域)



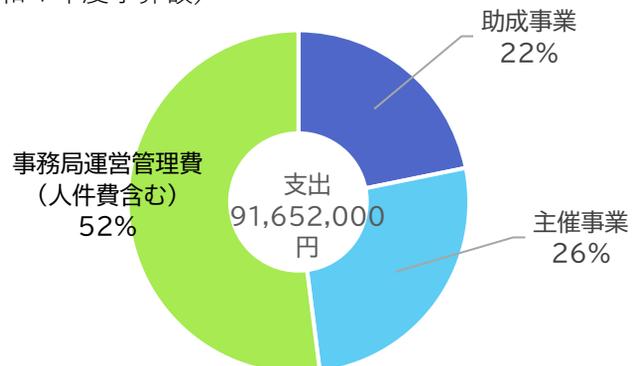
○ 芸能・文化×移住定住・関係人口の取組紹介&相談会
(令和4年12月10日／東京・銀座NAGANO)



【収支】（令和4年度予算額）



文化庁・長野県文化振興基金



【自己紹介】

三重県の文化の振興、生涯学習社会の推進、男女共同参画社会の実現を目的に設置された事業団です。

現在、5期目の指定を受けています。三重県では、未だ地域アーツカウンシル機能について公式な見解や方向性は示されていません。

令和4年度、三重県では文化審議会において、「文化振興条例」の制定に向けた審議が行われています。

当事業団は、審議会には加わっておりませんので、詳細については推し量ることしかできかねますが、アーツカウンシル機能等の必要性について明言はされていません。

（推進体制の整備）（文化活動の支援）という条項が機能設置の根拠に該当するのではと考えます。

また、条例制定後の令和5年度に中期目標や具体的な内容を記した「文化振興ビジョン（仮称）」が策定される予定です。

【沿革】

平成4年3月

三重県文化振興事業団設立(25日)

平成6年10月

三重県総合文化センター開館

平成16年10月

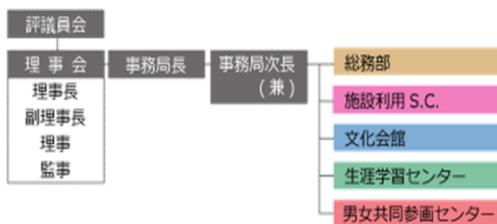
三重県総合文化センターの管理運営に指定管理者制度が導入され、当事業団が平成19年3月31日までの2カ年半の指定管理者に指定（1期）

平成29年

当事業団が三重県総合博物館、三重県立美術館、三重県立図書館の一部指定管理者として、平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間の指定管理者に指定令和元年

当事業団が、「文化交流ゾーンを構成する県立文化施設（三重県総合文化センター、三重県総合博物館、三重県立美術館）」の指定管理者（三重県総合博物館、三重県立美術館、三重県立図書館は一部指定管理者）として、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間の指定管理者に指定（5期目）

【組織図】



【助成事業】（15,978,000円）

※資本金の運用益による事業団独自の助成事業です

- ・助成目的
県内における文化振興、生涯学習、男女共同参画の推進
- ・対象分野
文化振興、生涯学習、男女共同参画の視点を持った団体・グループ
- ・内容（3,461,000円）
- ・助成件数 11件
内訳
芸術文化振興育成事業 5件（2,154,000円）
生涯学習社会づくり支援事業 3件（582,000円）
男女共同参画社会づくり支援事業 3件（725,000円）
- ・助成期間 1年
- ・評価体制
各事業部門が、評価委員会を設置（内部）
- ・相談体制
各事業部門の業務執行職員が担当（通年）

【連絡先】 TEL 059-233-1118
FAX 059-233-1115

【所在地】 三重県津市一身田上津部田1234

【担当者】 施設利用サービスセンター
施設運営課 生田 隆明

【ロゴ】



宮崎県 総合政策部 みやざき文化振興課

【アーツカウンシル設置の背景・目的】

昨年度に宮崎県で開催された国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催決定を契機として、県民の文化活動の活性化に向けた体制を強化することとなった。

そこで、県内文化団体や県外とのネットワークを強化しながら、国文祭・芸文祭を契機に盛り上がった文化振興の機運を継続・発展させる要となる組織であるとともに、福祉・観光・まちづくり・産業などの施策との有機的な連携によって、地域の歴史・風土等を反映した特色ある文化芸術の発展を図り、県内で文化芸術を軸とした、経済価値によらない「新しいゆたかさ」の実現を目指すことを目的として、「アーツカウンシルみやざき」を設置するに至った。

【アーツカウンシルとの連携状況】

「アーツカウンシルみやざき」機能拡充事業として、アーツカウンシルみやざきの継続的な設置と県内文化団体への支援等を目的として、設置団体と委託契約を締結している。また、先導的なパイロット事業の実施や助成事業等もアーツカウンシルみやざきへ委託することで、県内文化振興について連携して取り組んでいる状況である。

→アーツカウンシルみやざき 36ページ

【連絡先】

電話 0985-26-7117

【所在地】

〒880-8501

宮崎市橘通東2丁目10番1号

【担当者】

宮崎県 総合政策部 みやざき文化振興課 文化企画担当

アーツカウンシル鹿児島設立準備機構

2021年2月設立

【組織形態】（法人格など）
民間の任意団体

【ミッション】
「設立準備機構」としての当面のミッションは、県にさまざまな情報提供をし、協調路線を歩みながら、本来の「アーツカウンシル鹿児島」の設置を働きかけていく。

【構成員】 令和4年度
会 長 宮永祥子
事務長 塩津洋一
ほか9名

【ビジョン】
文化芸術の振興発展を通して、全ての県民が潤いを感じ、暮らしやすさを実感する「文化立県・鹿児島」を目指す。

【自己紹介】
アーツカウンシル鹿児島設立準備機構は、2019年2月に発足した「鹿児島県立美術館設立を考える会」を母体に、2021年2月に設立いたしました。
県立美術館設置の学びや活動を重ねるにつれ、鹿児島県にも美術を含む文化芸術全般を統括し、専門性、中立性、公平性を保ちながら人や情報の流れをスムーズにする必要性を感じて本団体の設立に至ったものです。
民間の任意団体であり、助成事業等の実績は全くありませんが、全国ミーティング等参加させていただきながら、県外の有益な情報を収集し、県にお知らせするというスタンスで活動を続けています。
2023年の鹿児島国体期間中、競技場や目抜き通りにおいて鹿児島所縁の現代アート作品展を行う予定です。

【連絡先】
事務局
〒892-0842
鹿児島市東千石町3-45（アートホール内）

【担当者】
会 長 宮永祥子 090-3413-4115
事務長 塩津洋一 090-5080-4047

川崎市

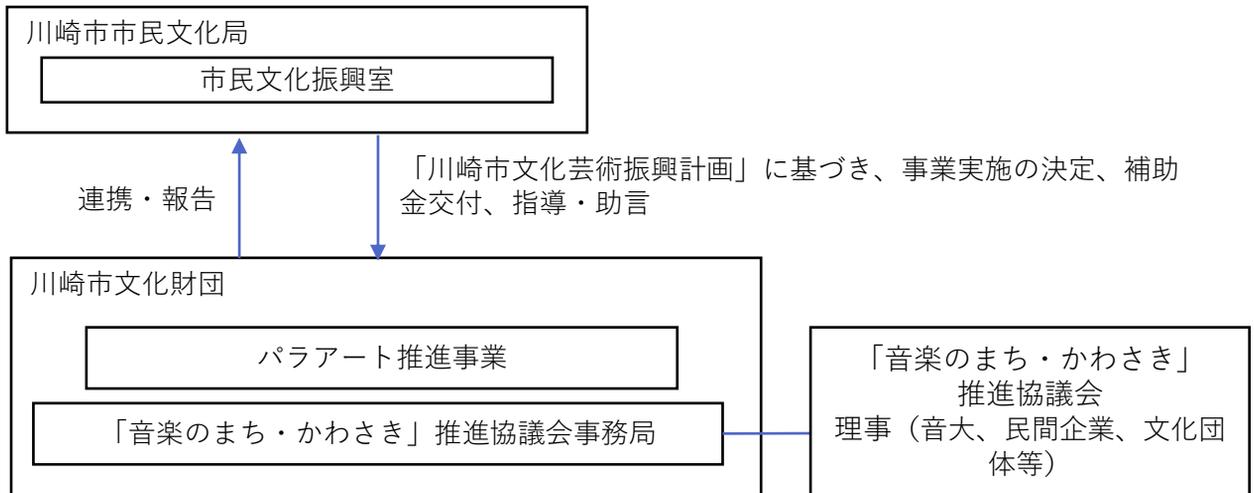
【川崎市の取組について】

川崎市においては、総合計画の基本政策の一つに「活力と魅力あふれる力強い都市づくり」を掲げ、施策の一つに「市民の文化芸術活動の振興」が位置づけられています。そのことから、東京2020大会を契機として、市政100周年（2024）以降を見据え、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくため、様々な分野において大会後の未来へと遺していくレガシーの形成に向けた取組を進めており、2018年3月に策定した「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」では、レガシーの一つとして「誰もが文化芸術に親しんでいるまち」を位置づけています。

一方で、川崎市では従来から市内の文化芸術資源を基に、「音楽のまちづくり」「映像のまちづくり」「アートของまちづくり」を推進してきており、2019年3月の「川崎市文化芸術振興計画」改訂時では新たな取組として、高齢者や障害のある方など誰もが文化芸術活動に参加できる機会の提供に関する取組の充実や、文化関係団体のネットワークづくり、情報発信等の中間支援機能の強化の取組等が位置づけられました。

その様な背景のなか、令和元年度から文化芸術の中間支援体制の構築に向けて、市とともに文化芸術施策を推進するパートナーである川崎市文化財団が中心となっており、①情報発信やネットワーク構築等によるパラアートにおける中間支援の取組、②「音楽のまち・かわさき」推進協議会による音楽事業における中間支援の取組を担っています。

【組織図】



【連携状況】

川崎市は、川崎市文化財団が実施する「パラアート推進事業」及び「音楽のまちづくり」における中間支援などと連携しています。

■パラアート推進事業

「障がいのある・なしに関わらず親しめる芸術文化活動＝パラアート」と捉え、公募型事業委託や他団体との連携によるパラアートの普及啓発、作品展覧会の開催を行うほか、中間支援として、専用ホームページやSNSを活用した情報発信、交流会等の開催によるネットワークの構築、相談窓口の運営、調査研究等の事業

■音楽のまちづくり

音楽事業の中間支援として、ホームページの運営や広報誌の発行等を通じた広報支援やコーディネート、相談支援

【令和4年度予算】

川崎市文化財団への補助金

401,143,000円

※事業費、施設管理運営費、施設整備費等含む

【担当部署】

■川崎市 市民文化局市民文化振興室

TEL. 044-200-2280 メール 25bunka@city.kawasaki.jp

神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル9階

■川崎市文化財団パラアート推進事業担当

TEL. 044-272-7366 メール para-art@kbz.or.jp

■音楽のまち・かわさき推進協議会事務局

TEL. 044-544-9641 メール kawasaki@ongakunomachi.jp

【組織形態】（法人格など）
公益財団法人金沢芸術創造財団事業課の事業として開始

【構成員】 令和4年度
統括ディレクター 黒澤伸
ディレクター 金谷亜祐美
ディレクター 齋藤恵太

【自己紹介】
アーツカウンシル金沢（ACK）は、金沢市が令和3年3月に策定した金沢市文化芸術アクションプランの基本理念である「文化芸術にさらに磨きをかけ、未来へつなぐ世界の文化都市金沢」の実現に向け、多彩な文化芸術の担い手・支え手の取り組みを支援し、誰もが芸術文化に親しみ活動しやすい環境を醸成するための事業プログラムとして、公益財団法人金沢芸術創造財団が運営するものです。

<アーツカウンシル金沢の機能>
文化芸術活動に対する相談・助言
文化芸術活動の情報収集・発信
文化芸術活動の支援に関する調査・研究
文化芸術の「担い手」「支え手」の育成
文化芸術の「担い手」「支え手」の活動・交流機会の創出

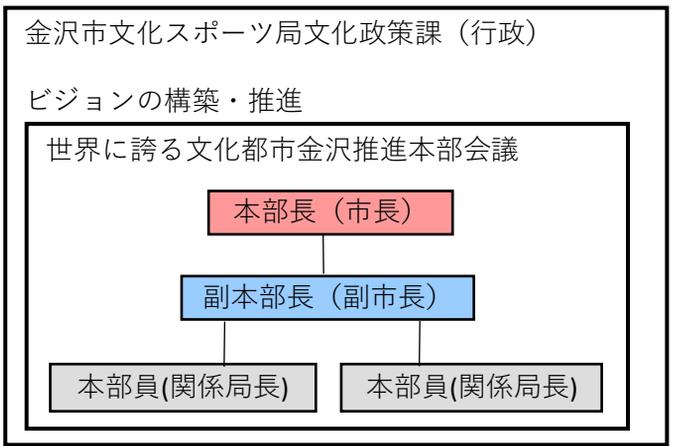
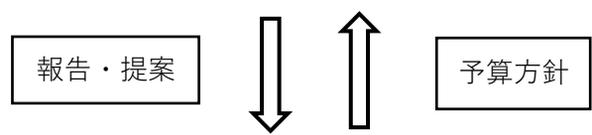
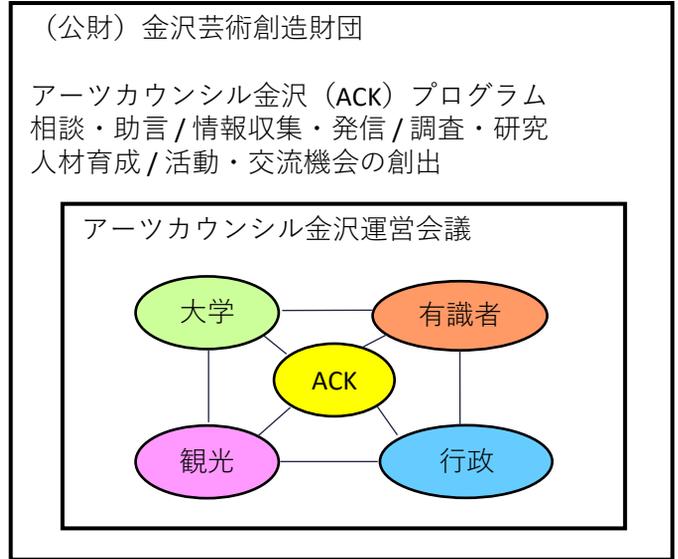
【ミッション】
•文化芸術の担い手・支え手の活動に伴走・支援し、活動や新しい挑戦のしやすい環境を醸成する。
•文化芸術への関心を一層高めるための情報の集約や提供を行う。
•文化芸術活動がまちづくりや観光、福祉、教育などの分野とも連携する創造的な地域づくりに貢献する。

【連絡先】 076-223-9898
【所在地】 石川県金沢市柿木島1番1号
金沢市役所第二本庁舎2階
【担当者】 黒澤伸
【ロゴ】



【沿革】
2022年
・（公財）金沢芸術創造財団事業課の事業として開始（7月1日～）
・文化芸術活動に関する相談窓口の設置
・広報小口支援申請受付開始

【組織図】



【ビジョン】
文化芸術の継続的な振興・発展に向け、「市民」、「文化芸術団体」、「実演家」、「文化施設」、「教育機関」、「民間企業」等の多様な主体の連携、協働を促すプラットフォームとして、文化芸術を通して人と人がつながる新しい価値やネットワークの構築を目指します

【助成事業】（広報小口支援）

予算：1,500,000

金沢市における文化芸術活動の発信強化を図るため、文化芸術事業の広報活動に対して小額の助成金を交付する。

助成金額：上限30,000円

対象経費：広報活動に関する費用

（印刷製本費、Web・YouTube広報制作費、デザイン費など）の1/2

審査基準

- ① 文化芸術活動の新たな可能性や多様性を提示する取り組みかどうか
- ② 文化芸術活動の発展や裾野の拡大に資する取り組みかどうか
- ③ 文化芸術活動をととした社会課題への優れた取り組みかどうか
（採択件数：各期間毎に5～10件程度）

【制作事業】（コンサートプログラム）

予算：2,500,000

①「市民アンサンブルの日」

市民演奏家の活動発表機会の創出を目的に、公募で集まったクラシック等のアンサンブル団体が出演するコンサートを開催する。

②「ランチタイムコンサート」

市内で活躍するアーティストを中心に市庁舎で月1回、ランチタイムコンサートを開催する。

③「まちなかコンサート」

金沢駅や企業局庁舎等を会場にコンサートを開催し、まちなかで気軽に文化芸術に触れる機会を創出する。

【調査研究事業】

予算：100,000

相談対応や各種事業に活用、また必要な施策について検討・検証するために市内外で起きている文化芸術に関する活動を調査し情報共有する。

【ランチタイムコンサートの様子】



【相談窓口の様子】



【情報発信】

WEB

アーツカウンシル金沢WEBページ

<https://artscouncil-kanazawa.jp/>

金沢芸術創造財団Facebook

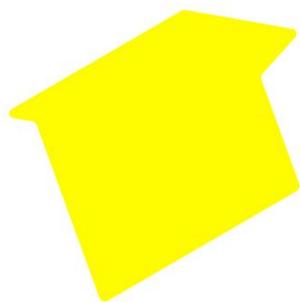
<https://www.facebook.com/kapadf/>

金沢芸術創造財団LINE

<https://lin.ee/wA5ewJE>

※現在アーツカウンシル金沢ポータルサイトを制作中

アートカウンシル金沢 (ACK)
事業周知用リーフレット表紙
公式WEBページデザイン



ア-ツ
カウ-ンシル
金沢 Arts Council
Kanazawa

アーツカウンシル金沢 (ACK)
市民アンサンブルの日チラシ



音楽って
こんなに楽しい。

The ensemble day for citizens

第1回 市民 アンサンブルの日

このまちには、たくさんの演奏家があります。
アンサンブルの織りなす音色が、わくわくする気持ちや心に響く音を奏でます。
「市民アンサンブルの日」は、そんな彼らが主役となる、
特別な一日です。

2023.1.15 SUN

13:00開演(12:30開場) / 17:00終演予定

会場: 金沢市アートホール
(金沢市本町2丁目15番1号 ポルテ金沢6F)

入場
無料
(申込不要)

※ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。※入場の際、来場者カードにお名前と連絡先をご記入ください。※入退場は自由となっておりますが、曲間での移動のご配慮をお願いします。

主催: 金沢市 / 公益財団法人金沢芸術創造財団
後援: 北國新聞社 / 一般財団法人石川県芸術文化協会 / MRO北陸放送 / エフエム石川

アーツカウンシル金沢
Arts Council Kanazawa

【アーツカウンシル設置の背景・目的】

浜松市では平成25年3月に「『創造都市・浜松』推進のため基本方針」を策定し、創造都市の意義を明確にし、目指す創造都市の姿や実現のための取組みイメージを示した。また、平成26年12月には、ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野に加盟した。本市固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われ、その活動が新しい価値や文化、産業の創出につながり、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく「創造都市・浜松」を推進するため、平成30年4月に浜松版アーツカウンシル「浜松アーツ&クリエイション」を設置。市民が主体となった文化活動の活性化を図るとともに、文化芸術がもたらす効果をまちづくり、観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立、創造産業の振興及び地域課題解決に向けた活用を目指す。

【アーツカウンシルとの連携状況】

委託先：公益財団法人浜松市文化振興財団
(浜松アーツ&クリエイション)

「浜松市創造都市推進事業補助金」

→[浜松アーツ&クリエイション](#) 60ページ

【連絡先】

電話 053-457-2301

【所在地】

〒430-8652
浜松市中区元城町103-2

【担当者】

浜松市 市民部 創造都市・文化振興課早苗 真史

【アーツカウンシル設置に向けての現在の検討状況（背景など）】

京都市には多くの芸術系大学があるが、芸術系大学の卒業生や若手芸術家の地域への定着などの課題がある。また、伝統芸能文化等の継承発展や、人口減少社会・少子高齢化の進展などの社会構造変化を受け、将来の担い手・支え手の確保に係る課題がある。

さらに、京都市芸術文化協会、京都市音楽芸術文化振興財団、東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス実行員会（HAPS）が、対象分野や運営施設といった団体の特色や専門性を生かして、芸術家や文化関係者への支援や文化芸術振興を行ってきたところであるが、それらを総合的、一元的に監修し、実施する、地域アーツカウンシル組織は存在していない。

こうした中、現在、京都市は「長期化する新型コロナの影響」と「危機的な財政状況」という2つの大きな危機を迎えており、文化分野においても、これらの危機に対して持続可能な政策を実現していくことが喫緊の課題となっているため、本市及び各外郭団体等の専門人材なども参画した持続可能な文化芸術政策を実現していくための体制の検討を行っている。

【アーツカウンシル機能の現状】

アーツカウンシルに求められる主な機能（以下）は京都市総体としては概ね充足しているものの、総合的・一元的な体制は構築できていない。

○行政への専門的知見の提供

京都芸術センター等で現場をよく知るアートコーディネーターや、民間文化財団での勤務実績のある方を京都市文化芸術企画課の会計年度職員として登用。さらに、外部人材としてオークションハウスやギャラリー等で活動してきた方をアート市場活性化アドバイザーとして登用し、文化行政を推進中。

○助成

現在実施している助成制度

・京都市芸術文化特別奨励制度

事業への助成ではなく、担い手育成を目的に京都市内で活動する芸術家を推奨する制度。

1個人又はグループにつき300万円を交付（年1組）

・京都市 連携・協働型文化芸術支援制度補助金（通常支援型）

京都市への寄付を財源として京都市内で行われる事業を公募・採択。

1事業につき50万円を交付（年間20件程度）。補助金の一部はアーティストフィーにも充当可能。

○相談・コンサルティング**・京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）**

文化芸術活動全般に係るアドバイス、各種補助金の紹介等、幅広く相談に対応

・伝統芸能文化アーカイブ&リサーチオフィス（TARO）

伝統芸能の継承や保存、用具・用品とその材料の確保、普及・創造・発信活動など、伝統芸能文化の総合的な活性化の観点から、ネットワークの構築や基礎調査等を進める。

・HAPS（東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス）

芸術家や芸術家を支える人からの居住、制作、発表等、創作活動に関わる様々な相談に対応。

「SW/AC（Social Work/Art Conference）」では、芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応している。

○人材育成

HAPS、京都芸術センター、京都市立芸術大学等で芸術家・芸術関係者の育成を支援。

○調査研究・パイロット事業

HAPSにおいて、福祉等と文化芸術の融合・連携に係る先進事例の調査を実施。

○施設運営・指定管理者の選定・評価

京都市直営の京都市京セラ美術館、二条城、動物園、

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、公益財団法人京都市芸術文化協会が指定管理者となっている公的施設（京都芸術センター、京都コンサートホール、ロームシアター京都、京都市文化会館（5箇所））等を運営

（支出予算）アーツカウンシル検討に特化した予算はなし

【連絡先】 TEL：075-222-3119 FAX：075-213-3181

【所在地】 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 分庁舎地下1階

【担当者】 林、天野

【アーツカウンシル設置に向けての現在の検討状況】

宝塚市では平成25年7月に、文化芸術の持つ重要性を鑑み、市民と市の協働の下、積極的に文化芸術の振興に努め、文化の薫り高い宝塚の実現を目指して「宝塚市民の文化芸術に関する基本条例」（以下「文化芸術基本条例」）を制定、文化芸術基本条例の内容を具体化し、文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために文化芸術振興基本計画（以下「基本計画」）を策定している。

この第1次基本計画において宝塚市文化財団を文化芸術振興の推進母体として明文化。また令和3年7月に策定された第2次基本計画では、「文化財団は、長期的により安定した文化芸術振興の推進母体として、文化芸術振興の中心的役割を担います。公共の文化施設の運営に留まらない広い視野を持って、専門的なノウハウや経験、ネットワークを活かした支援を行います」と明記されている。

宝塚市文化財団では、令和4年3月に第2次基本計画を受けた「第3次中期振興ビジョン」を策定し、この中で文化芸術振興の推進母体として「地域のつなぎ手」の役割を果たしていく上で、地域アーツカウンシル的役割を担い、市全域での文化芸術振興を推進することを明記した。

【現在実施している助成制度等、アーツカウンシル機能の現状】

○調査等

- ・文化に関する勉強会の開催（年1～2回）
「文化から宝塚を考える勉強会」
平成30年度より宝塚市文化団体連絡会と共催で開催
※令和元年は「地域のアーツカウンシルを考える」と題して開催
- ・「宝塚市内の文化芸術活動へのコロナ禍の影響についてのアンケート調査」
令和2年度5月 WEB調査として実施
- ・「くらしの中のアート発見プロジェクト」
令和3年度実施 市、市国際観光協会と共催の事業で、WEBアンケート、オンライン講演会、冊子作成などを実施
- ・「アーツカウンシルネットワークミーティング」オブザーバー参加
各地の地域アーツカウンシルについての情報収集
- ・市内文化団体、個人の文化芸術活動に関する相談窓口など

○助成制度等

- ・文化芸術活動創造支援事業 令和3年度実施（市受託事業）
コロナ禍において文化芸術活動に制約があるなかでライブ配信や屋外コンサートなど「新しい生活様式」を取り入れた活動をおこなう、団体、個人に対して技術的、専門的に支援
- ・文化芸術活動に関する助成金情報などの情報提供
- ・宝塚市文化団体連絡会加盟団体へウェブサイトでの情報集約、サイト作成支援

【事業の担当者、支出予算等】

各事業、業務に応じて、企画総務課、事業担当者などで実施。
現段階において専任者はおいていない。

【連絡先】

電話 0797-85-8844

【所在地】

〒665-0845

宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1・3F

【担当者】

（公財）宝塚市文化財団 事務局次長 三戸 俊徳

【組織形態】（法人格など）
公益財団法人広島市文化財団内に設置予定

【構成員】 令和4年度

アーツカウンシル広島準備チーム

統括責任者（常勤・市OB）
統括副責任者（常勤・市OB）
チームリーダー（常勤・財団OB）
スタッフ（常勤・市派遣）

運営アドバイザー（委嘱）

【自己紹介】
広島市がまちづくりの最高目標として掲げる「国際平和文化都市」の実現を目指し、文化振興の更なる推進や文化芸術を通じた「平和文化」の普及・啓発に一層取り組んでいくため、文化財団へのアーツカウンシル機能導入により、専門人材を活用した中間支援体制の構築に向けて検討を進めています。

【沿革】

2021年4月

- ・文化財団に市職員1名が派遣され、アーツカウンシル機能導入に向けた調査・研究を開始

2022年4月

- ・市からの受託事業として事業内容や組織体制等を検討するためアーツカウンシル広島準備チームを発足（～現在）
- ・外部有識者を運営アドバイザーに委嘱（～現在）

【連絡先】

公益財団法人広島市文化財団
文化事業部企画事業課
電話：082-244-0750
メール：bunka@cf.city.hiroshima.jp

【所在地】

広島市中区加古町4番17号

【担当者】 前田苑美（スタッフ）

【助成事業】（総予算）※文化財団の既存事業
令和4年度予算 2,879,000円

- ・助成目的
市民の多様な文化活動に対して財政的な支援を行い、その自主的な活動の盛り上がりを図るため、団体又は個人が行う文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成
- ・対象分野
音楽、美術、演劇、民俗芸能等
- ・内容（助成事業費）
印刷費、会場使用料、舞台・会場設営費に係る経費の合計額の2分の1以内で上限20万円
年2回（上期、下期）公募 ※一つの団体又は個人への助成は同一年度内に1回
- ・助成件数
令和4年度採択件数 8件（令和4年度下期実施事業のみ）
※令和4年12月に令和5年度上期実施事業を公募予定
- ・助成期間
上期：4月1日～9月30日 下期：10月1日～翌年3月31日
- ・評価体制 なし
- ・相談体制 文化事業部企画事業課

【調査研究事業】
令和4年度予算 235,000円

2022年
市民等の文化芸術活動に関する実態調査
※令和4年11～12月に大学と連携して実施予定

【他機関との連携】
行政機関

- ・広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
- ・広島県環境県民局文化芸術課
（広島県公立文化施設ネットワーク）

文化芸術団体

- ・広島市文化協会

その他

- ・エリザベト音楽大学

【情報発信】※文化財団の既存事業

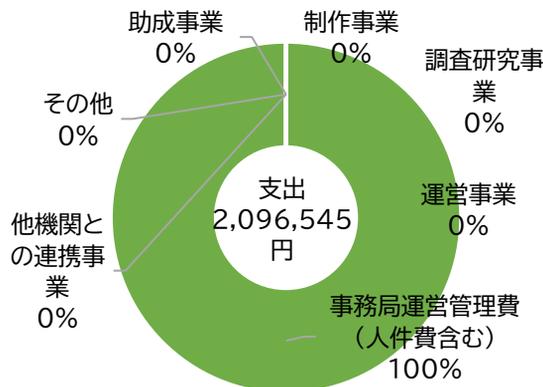
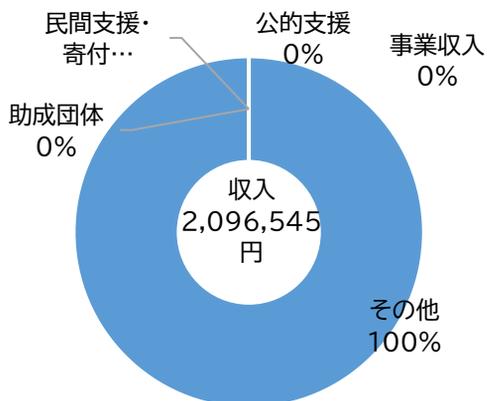
- ・ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>
※令和4年度中にリニューアル予定
- ・ Facebook
<https://www.facebook.com/bunkazaidanjigyoka/>
- ・ YouTube (公財)広島市文化財団企画事業課
- ・ Twitter @bunka_jigyou

発行物

文化情報マガジンto you



【収支】（令和3年度決算額）



2023年3月
アーツカウンシル・ネットワーク
編集：アーツカウンシル新潟

独立行政法人日本芸術文化振興会
令和4年度アーツカウンシル・ネットワークに関する運営業務委託事業